

平成28年度  
神戸大学附属図書館年次報告

平成29年 7月

編集：神戸大学附属図書館評価委員会

\* 附属図書館ホームページ掲載 \*

<https://lib.kobe-u.ac.jp/about/facts/reports/>



## 刊行のご挨拶

附属図書館長 萩原泰治

平成29年1月に「神戸大学オープンアクセス方針」が学長裁定されました。

学術成果の多くは論文の形態で発表され、後に続く研究者はそれらを参照してさらに研究を促進させてきました。論文は学術雑誌に掲載されますが、商業出版社により刊行される学術雑誌は高価なものも少なくありません。さらに近年、電子ジャーナルが支配的となり、また商業出版社の寡占化の進展とともにさらに高価になり、自由な論文の閲覧が困難になりつつあります。このような研究発展への障害に対して、読者は費用を払うことなしに学術成果にアクセスできるべきだという「オープンアクセス」という考え方が広がりつつあります。我が国では自由なアクセスを保証するために「機関リポジトリ」という仕組みを推進しています。

本学でも、学術成果リポジトリ **kernel** により学内研究成果の公開を行ってきましたが、学術雑誌掲載の論文の登録数はまだそれ程多くはありません。今回決定されたオープンアクセス方針により、今後は登録数が増加していくことが期待されます。現在、部局の教授会等で本方針をご説明する機会をいただき、教員の皆様のご理解とご協力をお願いしているところです。

大学を巡る環境の変化やネットワーク技術の進展に伴って、大学図書館は様変わりしています。学生の学習スタイルが大きく変わってアクティブラーニングによる教育の推進が進められており、図書館においてもラーニングコモンズの整備など、「場（空間）の提供と活用」を重要な課題として取り組んでいます。また、学生との協働企画も進められ、一昨年に発足した「附属図書館学生チーム ULiCS（うりくす）」との懇談会を持って、学生主体の書庫マップ作成等の活動に結びつきました。附属図書館マスコットキャラクター「うりこ」の LINE スタンプを制作・販売したのも、学生からの投書がきっかけだったそうです。電子ジャーナルに代表される学術情報基盤の整備など重要課題に対処するとともに、様々な関係者の協力をいただいて図書館機能の強化を図っていきたいと考えています。

本報告書では、平成28年度の附属図書館が行った幅広い事業をまとめ総括しています。図書館に限らず、大学における事業の評価のためには客観的な数値やエビデンスが不可欠です。本報告書は、利用者サービス、コレクション構築、情報リテラシー、学生協働、情報発信、社会貢献など、多岐にわたる図書館事業について、必要な統計データを揃えて、各々の実績について自己評価を行い、大学内外に対する説明責任を果たすことを意図しています。

この報告書を通して、より多くの方に、学術情報基盤としての附属図書館の活動をご理解頂くとともに、今後の図書館運営について忌憚のないご意見を頂戴できましたら幸いです。



# 平成28年度神戸大学附属図書館年次報告

## 刊行のご挨拶

<u>1. 平成28年度の取り組みの概要</u> . . . . .	p. 1
------------------------------------	------

## 2. 学習・教育支援

(1) 開館サービス . . . . .	p. 6
(2) 学生用資料整備 . . . . .	p. 8
(3) 資料提供サービス . . . . .	p. 9
(4) 図書館相互利用 (ILL) サービス . . . . .	p. 14
(5) 学生との協働及び学生参加型の取組 . . . . .	p. 15
(6) 情報リテラシー教育の推進支援 . . . . .	p. 16

## 3. 学術研究支援

(1) 研究用資料の整備 . . . . .	p. 21
(2) 電子的情報基盤の整備 . . . . .	p. 23
(3) 蔵書目録データベースの整備 . . . . .	p. 27
(4) 資料の保存 . . . . .	p. 28

## 4. 社会連携・情報発信

(1) 一般市民への資料提供サービス・展示会の開催 . . . . .	p. 29
(2) 震災文庫 . . . . .	p. 31
(3) 電子図書館システムによる情報発信 . . . . .	p. 32
(4) 機関リポジトリによる情報発信 . . . . .	p. 34
(5) 国際連携 . . . . .	p. 35
(6) 大学文書史料室 . . . . .	p. 37

## 5. 管理運営等

(1) 図書館組織と運営	p. 43
(2) 事務組織と人事管理	p. 44
(3) 予算及び財務会計業務	p. 48
(4) 施設整備・システム整備	p. 49
(5) 図書館界での諸活動	p. 51

## <付録>

達成度評価（第3期中期目標・中期計画・年度計画管理表より）	p. 54
-------------------------------	-------

### 基本統計表

蔵書・受入等の現況（各館室別）	p. 56
サービス業務の現況（各館室別）	p. 57
電子的情報サービスの現況	p. 58

図書館組織図・事務組織図	p. 59
附属図書館諸会議（議題一覧、委員名簿）	p. 60
附属図書館予算・決算表（運営経費、資料費）	p. 67
附属図書館活動日誌	p. 69

## 1. 平成28年度の取り組みの概要

### ◆学習・教育支援

#### (1) 開館サービス

年間総入館者数は約 93.4 万人で前年度より約 0.7%減り、1 日あたりの平均入館者数も若干減少している。本年度から神戸大学教育改革がスタートし、2 学期クォーター制が導入されたことに伴い、総合・国際文化学図書館を中心とした 3 館で第 1・第 3 クォーター試験期にも対応した開館拡大を試行した。次年度以降も学年進行に伴うクォーター制の広がりに応じ、ニーズ・利用状況・経営面を考慮しながら、全館的視野で適正な開館を行っていく必要がある。

#### (2) 学生用資料整備

各館室の学生用資料整備は図書館予算から各館室に配分した経費と各館室のサービス対象部局から拠出された経費を合わせて実施されている。本年度の図書館予算は、全学運営費交付金の減額に伴い前年度より 13%減の 45,860 千円とした。また、前年度に整備した学生用図書の選定評価を実施し、構成と利用の面で選定が適切に行われたことが確認された。今後も厳しい予算状況が続くと見込まれるが、教育・学習活動の支援のため現行の予算規模の維持を目指すと共に、より適切な資料選定を行うよう留意する必要がある。

#### (3) 資料提供サービス

学生への年間貸出総冊数は約 23.3 万冊で前年度から約 8%減少した。デリバリ（図書館間資料配送）サービスもこれに連動する形で前年度並みの数にとどまった。利用促進の取組は、テーマ図書展示で新たに「コラボ展示」を試行するなど、前年度以上に積極的に展開した。引き続き従来のサービスを安定的に提供することに努めるとともに、利用促進活動に一層力を入れていく必要がある。

#### (4) 図書館相互利用（ILL）サービス

図書館相互利用（ILL）について、全体として複写は減少、貸借は増加の傾向にある。社会科学系図書館は、複写は全体の約 40%、貸借は約 50%を受付けており、全学の中で ILL 受付の大きな部分を担っており、同館が人文社会科学系の外国雑誌センター館としての責務を果たしていることがわかる。外部機関との提携においては、アジア経済研究所図書館との相互利用、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス実施など、国内外の図書館との協力連携・研究支援に貢献している。

#### (5) 学生との協働及び学生参加型の取組

学生との協働を目的に前年 10 月に発足した「附属図書館学生チーム ULiCS（うりくす）」は本年度末時点で 12 名が参加し、学生協働交流シンポジウムへの派遣、館長との懇談会、社会科学系図書館の書庫マップの作成等の活動を行った。また、学生からの投書がきっかけとなり、附属図書館マスコットキャラクター「うりこ」の LINE スタンプを制作し、12 月に販売を開始した。学生参加型のイベントとしては、総合・国際文化学図書館でのクイズラリー、鶴甲第一キャンパスラーニングコモンズ（以下、ラーニングコモンズ=LC）での読書会を実施した。

#### (6) 情報リテラシー教育の推進支援

全学共通教育必修科目「情報基礎」では、1 コマ（90 分）を図書館職員が担当し、計 23 回の講義を行い、2,627 名が受講した。同じく必修科目として本年度より新しく始まった「初年次セミナー」

では、図書館を活用した授業が計 28 回実施され、596 名が受講した。セミナー・ガイダンス・オリエンテーションは、情報リテラシー係を中心に、情報リテラシー教育支援 WG メンバー等が担当し、計 183 回、3,079 名が受講した。4 回に渡って実施したライティングセミナーには 137 名が参加し、前年度から倍増した。また、学習支援の一環として、パスファインダー「KULiP」の運用を継続している。広報は、公式ツイッターを活用し、情報共有の輪を広げつつある。ホームページについては、本年度 9 月に新装され、利用者にとってより使いやすいものとなった。

## ◆学術研究支援

### (1) 研究用資料の整備

本年度は、「教育研究基盤資料整備費」3.59 億円（決算ベース）が措置され、電子ジャーナル及びデータベースは平成 26 年度の規模を維持することができた。しかしながら、海外電子配信への消費税導入や為替レートの変動、電子ジャーナルパッケージの価格上昇により所要額が上昇の一途をたどっている。学生用図書費を含む附属図書館運営経費は本年度大幅な減少となったが、今後も同様の傾向は続くと思定されるため、電子ジャーナル・データベースとともに図書費の確保も課題である。当館の外国雑誌センターは、所在する社会科学系図書館の ILL 年間受付件数が全国的にも上位にあることから、わが国の学術情報流通基盤において一定の役割を果たしていると考えられるが、本年度は電子ジャーナルのみの契約に一部変更せざるを得ない状況となった。今後も図書館予算の減額が予測されることから、外国雑誌センター館の維持そのものが厳しくなってくる見通しである。

### (2) 電子的情報基盤の整備

本年度末における電子ジャーナル購読数は 26,061 タイトル、総ダウンロード数は教育研究基盤資料整備事業によるもので約 109 万件と、総体として非常によく利用されており、必須の教育研究基盤資料となっている。附属図書館審議会答申をうけ、平成 19 年度以降、全学経費を投入して学術情報基盤の維持を図ってきたが、答申に示された上限枠は既に超過しており、前年 10 月からは海外電子配信への消費税課税が開始された影響も受けて電子ジャーナル購読数は前年度より減少した。

### (3) 蔵書目録データベースの整備

目録遡及入力の本年度入力実績は、前年度で終了した遡及入力事業の対象外だった特殊資料（和漢古書、洋古書、マイクロ資料など）と研究室からの返納図書等を合わせ約 14,600 冊で、全蔵書数約 377 万冊のうち約 321 万冊（約 85%）が OPAC（オンライン目録）で検索できるようになった。本年度からは特殊資料を計画的に入力している。特に和古書は、国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業のデータベース構築にあたり目録データ作成が不可欠なため、重点的に入力を行っている。

### (4) 資料の保存

貴重資料の保存対策として「大阪メリヤスタオル商工新聞」15 年分（1907-1921）を脱酸・修復した上で、デジタル化した。住田文庫古地図「肥前國平戸城繪圖」他計 5 件(7 点)を修復の上、デジタル化した。費用の一部を国文学研究資料館の撮影管理費から拠出して、横井文庫資料他計 10 点を修復した。収容スペース狭隘化解消のため、「資料収容力確保策の見直し」（平成 24 年度制定）にもとづいて資料の廃棄をすすめている。総合・国際文化学図書館と自然科学系図書館と保健科学図書室では目標とした約 5 年間の受入量にあたる収容力を確保できた。

## ◆社系連携・情報発信

### (1) 一般市民への資料提供サービス

総合・国際文化学図書館と海事科学分館において一般市民への貸出サービスを実施しているが、本年度の利用登録者数は前年度より2名増加した。貸出冊数は前者において前年度比11%減であり、後者においては微増であった。資料展については、本学の経済経営研究所により作成された新聞切抜資料で、附属図書館がデジタル化を進めている「新聞記事文庫」を取り上げ、大正から昭和戦前期の神戸と阪神間の様子を紹介した。一般市民の関心も高い地元の歴史に関わる展示内容であり、地域・社会貢献に寄与したと評価する。また他組織主催の展示への会場提供の機会が前年度より増したことで展示ホールの稼働率がさらに上がり、展示を通じた地域貢献を推進できた。

### (2) 震災文庫

熊本地震(4月)、鳥取県中部地震(10月)と相次いで大きな地震が起こったためか、前年に比べ取材や見学等が増えた。来館者数も前年より、約1割増加し「震災文庫」が注目された様子が窺われる。所蔵資料総数は5万6千件を超え、震災文庫データベースへの本年度のデータ入力は4,883件、レコード総数は29万4千件を超えた。また、HPへは約1万2千件のアクセスがあった。視聴覚資料のメディア媒体変換も進めており、本年度はVHSテープ33点が完了した。媒体変換は優先順位を決め継続して行っているが、作業完了までには数年間かかる見込みである。

### (3) 電子図書館システムによる情報発信

平成11年より「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築を行っており、「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内研究成果」を3本柱に事業を推進している。「経済関係資料」では「新聞記事文庫」の電子化公開を進めている。本年度は科学研究費補助金の採択を受け、約4,600記事を電子化した。記事数は累計約30万件にのぼり、その規模の大きさと希少性から高い評価を得ている。「学内研究成果」の博士論文では平成25年4月以降の学位授与分についてリポジトリからのインターネット公開が原則となった。前年度学位授与分の博士論文について、非公表・公表延期が決定している論文以外はリポジトリにて全文公開した。

### (4) 機関リポジトリによる情報発信

平成18年度に稼働を始めた「神戸大学学術成果リポジトリ(Kernel)」も11年目となり、比較的順調に成長を続けている。本年度は1,106件登録し総コンテンツ数は24,551件、年間ダウンロード数は約122万件となった。1月には「神戸大学オープンアクセス方針」が採択され、今後もより一層学内での認知度を高めるための広報活動が重要である。また、9月のシステム更新に合わせ、学位論文データベース、紀要目次情報データベースを「Kernel」に統合し利便性が高まったが、神戸大学研究者紹介システム「KUID」との連携は手作業による論文へのリンク付与にとどまっており、今後の連携方法が課題となっている。

### (5) 国際連携

国立大学図書館協会海外派遣事業経費及び学内経費により、職員2名を英国の情報システム合同委員会(Jisc)と大学図書館(3大学)に調査のため派遣した。また韓国海洋大学校図書館との協力協定にもとづく職員交流を引き続き行い、今回は本学から館長及び職員2名を派遣し、韓国海洋大学とソウルの3機関の図書館を視察した。このほか、海外の最新動向を知る機会として、シャロン・ドマイヤー氏を講師に招き図書館職員研修講演会を開催した。

## **(6) 大学文書史料室**

公文書管理法施行 5 年後の本年度は、室の課題やあるべき姿について検討を行い、「附属図書館大学文書史料室の体制整備について」をまとめると共に、レファレンスに注力し 215 名(前年度比 24.3% 増)の照会に対応した。また、政令指定機関としての法的義務を全うするため、歴史公文書等の受入れ、目録入力、利用請求処理、展示活動、研修、電子化事業、内閣総理大臣への状況報告、見学受入れ等を実施すると共に、本学の記念事業、大学史等関連授業、広報・同窓会活動に協力して資料作成、講師派遣、寄稿、講演等を行った。また、今後の緊要な課題としては、円滑な利用を促進するための「利用審査マニュアル(仮称)」の策定、書庫収蔵スペースの深刻な狭隘化への対応が挙げられる。

## **◆管理運営等**

### **(1) 図書館組織と運営**

前年 4 月より部局長経験者である野海正俊館長(理学研究科教授)がその任に当たっている。3 名の副館長の役割分担も前年度より継続している。附属図書館運営委員会は 5 回開催した。引き続き教育研究基盤資料の整備が懸案事項となっているほか、本年度の当初経常予算額は前年度より 9.1% の大幅減額となり、非常に厳しい予算運営を余儀なくされた。また、1 月に「神戸大学オープンアクセス方針」が採択された。学内で「神戸大学出版会」設立の動きがあり、事務担当部局として計 5 回の準備委員会を開催した。(平成 29 年 4 月 1 日設立が決定)

### **(2) 事務組織と人事管理**

5 月現在、附属図書館事務部は 2 課 18 係、定員 47 名、非常勤職員 40 名の 87 名となっている。事務職員(図書系)の学内募集により、4 月に 1 名を登用した。経済経営研究所図書係は定員 3 名を配置、大学文書史料室は定員 1 名、非常勤職員 3 名を配置している。他機関・団体等の主催する各種研修、主題専門知識の研修等に職員を派遣し、スキルアップに努めるとともに、附属図書館職員の知識習得を目的とした内部研修も開催した。研修成果は、報告書の提出により他の職員の能力開発に役立てている。また、係横断的な業務や課題解決のため 6 つのワーキンググループを組織して成果をあげた。時間外開館業務のアウトソーシングは、自然科学系図書館の土・日開館を加え一歩進めた。業務改善の一環として事務組織改編の検討を行い、次年度よりグループ制を導入することとした。

### **(3) 予算及び財務会計業務**

経常運営費・経常事業費の当初予算総額は 289,195 千円で、前年度の 318,291 千円より 9.1%、29,096 千円の大幅減額で、非常に厳しい予算運営を余儀なくされた。教育研究基盤資料整備費として確保した 3.59 億円(全学経費と間接経費)により、外国雑誌を含む電子ジャーナル・データベースの維持及び整備を実施した。学内ワースタディ実施経費(458 千円)により、総合・国際文化学図書館、人文科学図書館、人間科学図書館で SA(ステューデント・アシスタント)を雇用した。

### **(4) 施設整備・システム整備**

厳しい予算状況のなか、医学分館 2 階閲覧室の空調設備の 1 台については緊急を要するため図書館予算で更新した。平成 29 年度も引き続き限られた範囲で適切に対応する必要がある。なお概算要求に、学習支援機能の強化を目的とした自然科学系図書館での LC 設置と、資料収容力強化とスペース効率向上のための自然科学系図書館と六甲台 1 地区の高度専門国際人材育成拠点 II 期における自動化書庫設置をあげており、実現に向け計画を推進する必要がある。システムについては、リブレースが完了し、予定通り 9 月に運用を開始した。

## **(5) 図書館界での諸活動**

国立大学図書館協会では第 63 回総会において、「国立大学図書館協会ビジョン 2020」が採択された。係員 1 名が前年度に引き続き海外派遣事業（短期）に採択された。兵庫県図書館協議会では企画委員会当番館として、施設見学会、研修会を企画実施した。いずれも参加者より好評をいただき、地域の大学図書館活動に貢献できた。国立情報学研究所とは大学との連携として、2 部会の委員を務めている。他機関・団体等が開催する 7 つの研修や講習会に、講師をのべ 7 名派遣した。図書館諸団体の活動・運営に貢献するのみならず、参加する職員の資質向上につながるものであり、今後も推進が期待される。

## 2. 学習・教育支援

### (1) 開館サービス

#### ◀開館状況▶

- 平成 28 年度の開館時間帯は下表のとおりである。

		総合・国際	社会科学系	自然科学系	人文科学	人間科学	研究所	医学分館	保健科学	海事分館
通常期	平日	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-21:00	8:45-21:00	8:45-17:00	8:45-21:00	8:45-21:00	8:45-20:00
	土曜	10:00-18:00	10:00-19:00	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	休館	9:00-17:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	日曜	休館	10:00-19:00(注1)	10:00-18:00	休館	休館	休館	休館	休館	休館
休業期		平日 17:00まで 土日休館	通常期と同じ	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	通常期と同じ	通常期と同じ	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館
試験期 特別開館		日祝 10:00-18:00	祝 10:00-19:00	祝 10:00-18:00	日祝 10:00-18:00	日祝 10:00-18:00	通常期と同じ	通常期と同じ	日祝 10:00-18:00	平日 21:00 まで延長 日祝 10:00-18:00

(注1) 原則奇数月第1日曜日は除く

- 時間外開館については、以下の館で拡充及び拡充に向けての試行を実施した。

項目		実施館	内容
日曜開館	本運用	自然科学系図書館	通常期日曜日の 10 時～18 時開館
夜間開館時間延長	本運用	人文科学図書館	通常期平日の開館時間を 20 時までから 21 時までに 1 時間延長
定例休館日の廃止	試行	海事科学分館	原則毎月第 1 水曜日 8 時 45 分～12 時の定期清掃による休館を廃止し、全日開館

- 本年度から 2 学期クォーター制が導入されたことに伴い、試験期の開館拡大を試行した。
  - 総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館の 3 館では、従前の前・後期試験期間に加えて、第 1・第 3 クォーターの第 7 週及び第 8 週（試験期間）においても日祝日開館を実施した。通常開館日以外の開館日は下表のとおりである。

	総合・国際文化学図書館	社会科学系図書館 自然科学系図書館
第 1 クォーター	5/29(日)、6/5(日)	
第 2 クォーター(前期)	7/17(日)、18(月祝)、24(日)、31(日)、8/7(日)	7/18(月祝)
第 3 クォーター	11/20(日)、23(水祝)、27(日)	11/23(水祝)
第 4 クォーター(後期)	1/22(日)、29(日)、2/5(日)	

- 上記 3 館以外の館は、従前どおり前・後期（第 2・第 4 クォーターに相当）試験期間に対して試験期特別開館を行った。

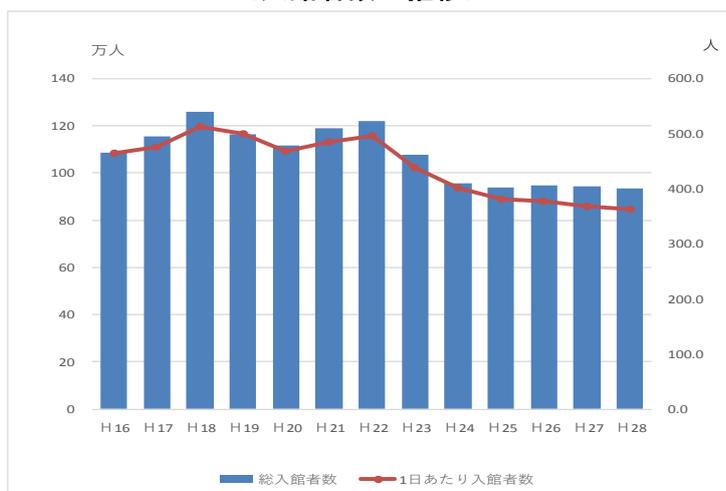
## 《入館状況》

### ＜入館者数経年推移＞

平成 16～28 年度の総入館者数及び 1 日あたりの入館者数の経年推移を右に掲げた。

平成 16～25 年度の間で減少している年は、改修工事（総合・国際、社会系）及び入退館管理システム導入の影響があった。平成 26 年度以降は、ほぼ横ばい状態である。

### ＜入館者数の推移＞



### ＜全館入館者数＞

	総入館者数	1日あたり入館者数
H28/H27	0.99	0.98
H27 年度	940,894	368.0
H28 年度	933,960	362.0

- ・表は、全館の平成 28 年度の入館者数を平成 27 年度と比較したものである。
- ・総入館者数、1 日あたり入館者数ともに若干減少した。

### ＜通常開館＞

平日 8:45～17:00 時間帯の 1 日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H28/H27	0.96	0.99	0.99	1.00	0.98	1.08	1.07	0.94	1.01	0.99
H27 年度	1,012.3	629.9	339.3	287.8	257.4	20.4	273.6	190.8	100.7	345.3
H28 年度	975.3	623.0	337.2	287.2	251.2	22.1	292.3	179.4	101.5	341.4

- ・表は、平日 8:45～17:00 の時間帯の 1 日あたりの入館者数を平成 27 年度と比較したものである。
- ・館室によって増減はあるが前年度から大きな変化は見られず、一定数の利用があった。

### ＜夜間開館＞

平日夜間（17:00～）時間帯の 1 日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H28/H27	0.96	0.89	0.99	0.97	0.94	—	0.93	1.08	0.83	0.94
H27 年度	190.3	121.9	93.7	75.6	42.6	—	86.8	36.3	14.3	84.6
H28 年度	183.3	108.5	92.4	73.1	39.9	—	80.7	39.1	11.9	79.8

- ・保健科学図書室を除く各館で前年度より減少しており、次年度以降も注意深く見ていく必要がある。なお、総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館の平成 27 年度の数値には、前期試験期間に実施した「朝開館」の入館者数を含んでいる。

## <土曜・日祝開館>

土曜・日祝日の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H28/H27	1.02	0.94	1.20	0.87	0.93	—	1.00	1.10	0.90	1.00
H27年度	148.9	307.9	124.6	98.6	39.5	—	100.0	61.2	31.8	136.4
H28年度	152.4	289.3	149.4	86.0	36.9	—	100.1	67.0	28.7	135.9

- ・ 館室によって増減はあるが、全体としては前年度並みの利用があった。自然科学系図書館で増加しているのは、前年度から開始した通常期の日曜開館が定着してきたためと思われる。

## <24時間開館>

- ・ 自然科学系図書館でのサービスは平成27年度末をもって中止し、本年度からは医学分館のみで実施している。
- ・ 平成28年度の利用者数は20,896人で、前年度の21,244人より2%減少した。主に自習や試験準備のために学部2年次以上の学生が利用している。

## ◆評価と課題

平成28年度の入館者数は933,960人で前年度より約0.7%減り、1日あたりの平均入館者数も若干減少している。要因は特定できないが、平成26年度以降微減傾向が続いており、次年度以降も動きを注意深く見ていく必要がある。

本年度から神戸大学教育改革がスタートし、2学期クォーター制が導入された。総合・国際文化学図書館では、新たに第1クォーター、第3クォーターの試験期に対応した日・祝日開館を5日増やした。社会科学系図書館、自然科学系図書館でも第3クォーターの試験期に対応した祝日開館を実施した。次年度以降も学年進行に伴うクォーター制の広がりに応じ、ニーズ・利用状況・経営面を考慮しながら、全館的視野で適正な開館を行っていく必要がある。大学の「教育学修資源」の一つとしての役割を果たすため、大学全体の教育プログラムに沿い、カリキュラムと連動した開館サービスを、関連部署と連携を図りながら展開していかなければならない。

## (2) 学生用資料整備

館室別の蔵書数、受入図書冊数、資料費総額等は別添基本統計の通りである。

## <資料費予算と重点整備>

- ・ 各館室の学生用資料の整備は、図書館予算（図書館セグメント）から各館室に配分した経費と、各館室のサービス対象部局から拠出された経費（部局セグメント）を合わせて実施することとなっている。
- ・ 平成28年度の図書館予算は45,860千円であった。全学運営費交付金の減額に伴い13%の減額となった。
- ・ 平成28年度よりE-Study事業費（5,345千円）は独立した予算項目とした。
- ・ 平成18年度より震災文庫資料費（450千円）は独立した予算項目となっている。
- ・ 平成16年度より実施している装備付納品を、引き続き総合・国際文化学図書館（1,389冊）、社会科学系図書館（1,337冊）、自然科学系図書館（812冊）、人間科学図書館（408冊）、保健科学図書室（141冊）において実施し省力化・合理化を進めた。

### <各館室の整備状況>

H28 受入	総合	国際	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
図書冊数	3,375	328	3,728	1,425	499	981	209	833	886	1,405	13,669
雑誌種数	92	13	27	132	22	266	0	154	92	120	918

- 各館室では配分された資料費をもとに関係部局のシラバス掲載図書の購入をはじめ参考図書、授業関連図書等の資料整備を行った。

### <選書体制と収集方針>

- 平成 16 年度に「学生用資料整備計画大綱」（附属図書館運営委員会決定）に基づき各館室図書委員会にて学生用図書資料の範囲、選定体制・方法等の整備計画の策定を行った。
- 総合図書館では「総合図書館学生用資料整備計画」を策定するとともに学生用資料整備を推進するため「総合図書館資料選定委員会」（構成委員は職員）を立ち上げて具体的な選書スケジュール、選書手順などについて検討し、資料整備を進めた。
- また、総合図書館では、学生の声を資料選定に反映させるための試みとして、「学生選書ツアー」（学生が図書館に置いてほしい図書を、書店の店頭で直接手にとって内容を確認しながら選定するというもの）を平成 22 年度より実施している。平成 28 年度は、6 月 9 日にジュンク堂書店三宮店において店頭選書を行った。あわせて 13 名の学生（学部生 11 名、院生 2 名）が参加して選書を行い、115 冊を購入した。学生が必要とする資料の一層の充実を図るため、今後も、こうした取り組みを継続する方針である。

### <選書評価>

- 平成 18 年度から、前年度に整備した学生用図書について、利用状況の分析等による収集資料の評価を開始し、平成 21 年度からは、各館室とも共通したフォーマットによる選定評価を行っている。本年度末には、平成 26 年度に整備した学生用図書の選定評価を実施し、構成と利用の面で選定が適切に行われたことが確認された。（平成 28 年度第 5 回附属図書館運営委員会で報告）

### ◆評価と課題

平成 26 年度以降、全学運営費交付金の減額に伴い、学生用資料費も前年度比 1.3%の減額が続いたが、本年度は 13%の削減となった。今後も厳しい予算状況が続くと見込まれるが、教育・学習活動の支援のため予算規模の維持を目指すと共に、より適切な資料選定を行うよう留意する必要がある。また選定評価についても、現状の利用面の評価に他の評価視点を加え、収書の PDCA サイクルの強化を検討する必要がある。

### （3）資料提供サービス

貸出及びデリバリ図書配送冊数等の詳細は、付録「基本統計表」（p 57）のとおりである。相互利用サービスについては、2（4）に後述する。

### 《貸出サービス》

運用面について、以下のとおり利用細則第 7 条を改正した。

- 人間科学図書館の「貸出を行わない図書」を運用実態に合わせて変更し、「視聴覚資料」を削除した。

### <貸出冊数（学部生・院生）経年推移>

平成 16 ～28 年度の経年推移を 右に掲げた。

- 本年度の貸出冊数は、前年度より約 19,000 冊減少し、232,816 冊だった。
- 学生 1 人当たりの貸出冊数も 13.9 冊（前年度：15.0 冊）になった。

### <貸出冊数(学部生・院生)>



### <館室別学部生・院生貸出冊数>

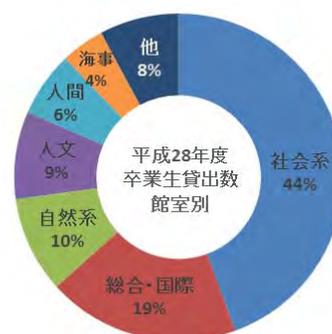
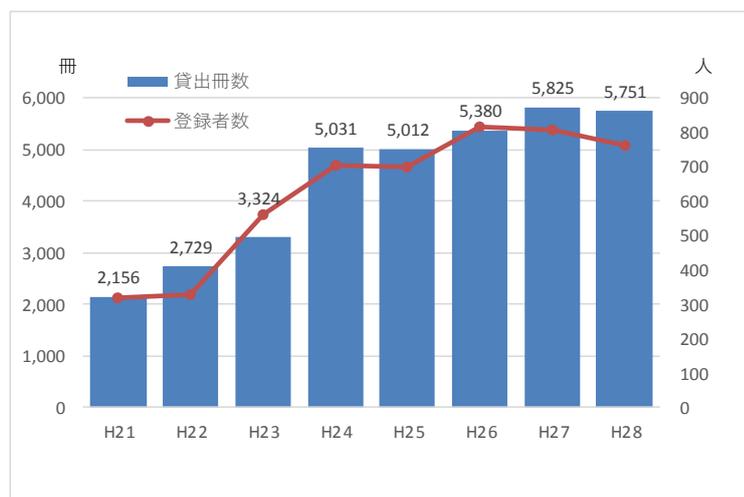
	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H28/H27	0.95	0.89	0.95	0.90	0.91	0.96	0.99	0.95	0.89	0.92
H27 年度	67,066	58,260	39,224	20,982	24,597	809	7,204	14,051	19,606	251,799
H28 年度	63,427	52,067	37,309	18,785	22,501	780	7,147	13,358	17,442	232,816

- 全館室で前年度より減少した。社会科学系図書館、人文科学図書館、人間科学図書館、海事科学分館では、前年度に比べ約 10%減少している。

### <卒業生及び修了者に対する貸出>

本学卒業生及び修了者への貸出サービスは、平成 21 年 3 月から始まった。本年度の登録者数は前年度より約 50 人減少して 761 人、貸出冊数も約 1%減少し 5,751 冊となった。これまでの傾向と変わらず、社会科学系図書館の図書を中心に、各館室の図書も適宜利用されている。

### <卒業生貸出の推移>



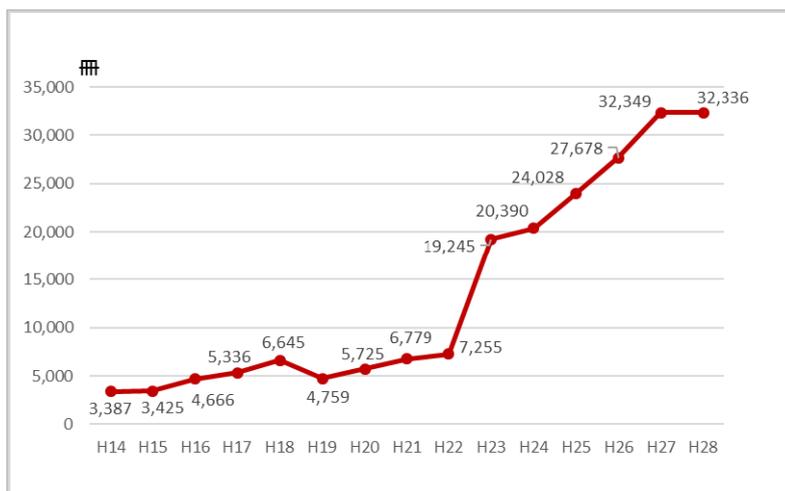
## 《デリバリ（図書館間資料配送）サービス》

### ＜デリバリサービスの推移＞

デリバリサービスは、平成 12 年度後期に院生、教職員（異キャンパス間は学部学生も）を対象に始まった。平成 23 年度に激増したのは、六甲台キャンパス内の学部学生にサービスを拡大したことによる。平成 27 年度には経済経営研究所図書館が加わり、全館室でサービスを利用できる体制が整った。

本年度は、全館貸出総冊数が約 17,000 冊減ったことに呼応する形で、前年度とほぼ同数の約 32,000 冊にとどまった。

### ＜デリバリサービス貸出冊数推移＞



### ＜館別デリバリ取扱冊数＞

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H28/H27	1.07	0.94	1.05	1.01	0.95	—	0.88	0.86	1.13	1.00
H27 年度	15,164	13,835	6,216	11,497	8,500	1,095	1,358	2,632	4,401	64,698
H28 年度	16,269	12,957	6,522	11,603	8,092	791	1,193	2,267	4,978	64,672

- ・ 上の表は、平成 28 年度に他館室へ発送した冊数と他館室から受け取った冊数を館別に合算し、平成 27 年度と比較したものである。
- ・ 発送冊数と受取冊数を合算しているため、貸出冊数（発送冊数）の 2 倍の数値になっている。
- ・ 海事科学分館の冊数が増加しているのは、受取冊数の増加によるものである。

### ＜附属中等教育学校への図書貸出サービス＞

平成 24 年度から総合・国際文化学図書館、人間科学図書館の 2 館が所蔵する図書を附属中等教育学校へ貸出するサービスを行っている。これは「中等教育学校図書室」に後期課程生徒（高校生）向け図書の整備ができる平成 28 年度まで、5 年間限りの特別措置として実施しているものである。

本年度が最終年度となり、5 年間の貸出総冊数は 626 冊となった。平成 28 年 2 月、附属学校部長と附属中等教育学校長の連名で、附属図書館長に対する本サービスの延長を含めた要望書が提出された。これを受け、平成 29 年度以降も本サービスを継続するため、新たな「申し合わせ」を締結した。

### ＜貸出冊数＞

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	合計
総合・国際	134	11	0	246	135	526
人間	7	25	7	7	54	100

## 《利用促進》

### ＜テーマ図書展示＞

平成 26 年度から全館で共通テーマを設定して、所蔵図書からテーマに沿った図書を館員が選び、期間を決めて展示する取組を始めた。平成 27 年度からは総合図書館資料選定委員会のもと、春には「レポート・論文の書き方」を共通テーマとして設定、秋には全館統一テーマではなく、2 館ずつペアにしてテーマを設定するコラボ展示を試みた。コラボ展示とは、例えば社会科学系図書館と人文科学図書館が「世界遺産」といった共通テーマを設定して行うものである。それ以外の時期にも各館室の特色やイベントに合わせた展示を積極的に行い、年間合計 44 回を次の表のとおり実施した。

展示の種類	実施館	テーマ	実施月
共通テーマ展示	社会科学系図書館	レポート・論文の書き方～How to write research papers～	4 月
共通テーマ展示	人文科学図書館	レポート・論文の書き方	4 月
共通テーマ展示	自然科学系図書館	評価アップ！の レポート作成、と プレゼンに役立つ図書	5 月
共通テーマ展示	人間科学図書館	レポート・論文の書き方	4 月
共通テーマ展示	医学分館	論文・レポート-書く力を養う・鍛える-	4 月
共通テーマ展示	総合・国際文化学図書館	大学生になってまず最初に知っておきたい！レポートの書き方	4 月
共通テーマ展示	保健科学図書室	レポート・論文の書き方	4 月
共通テーマ展示	海事科学分館	レポート・論文の書き方	4 月
-	人文科学図書館	神戸のまちを知る本 -神戸の“まち”とつながる 関連展示-	4 月
-	自然科学系図書館	先輩がリクエストした図書	4 月
-	総合・国際文化学図書館	ULiCS 文庫:大学生活で印象に残った本 / 新入生にお勧めしたい本	4 月
-	人間科学図書館	発達障害について知る本_入門編	6 月
-	医学分館	本に学ぶヘルス・コミュニケーション	6 月
-	総合・国際文化学図書館	アニメーションは手のかかる恋人～日本と世界のアニメを巡る旅～	6 月
-	海事科学分館	水、流れ行くもの	6 月
-	社会科学系図書館	第二次大戦から現在までのアメリカ大統領総まとめ	7 月
-	総合・国際文化学図書館	学生選書ツアー2016 選定図書	7 月
-	人間科学図書館	スポーツ・運動の本	8 月
-	医学分館	映像化された医療小説・マンガ	8 月
-	総合・国際文化学図書館	まごまご読書倶楽部 -水にまつわる本を読む・話す-	8 月
-	総合・国際文化学図書館	祝リオ五輪開催！知られざる南米大陸の世界	8 月
コラボ展示	社会科学系図書館	コラボ展示 世界遺産	10 月
コラボ展示	人文科学図書館	コラボ展示 世界遺産	10 月
コラボ展示	自然科学系図書館	コラボ展示 自然と人間のつきあい方	10 月
コラボ展示	人間科学図書館	コラボ展示 自然と人間のつきあい方	10 月
コラボ展示	医学分館	コラボ展示 チーム医療	10 月
コラボ展示	保健科学図書室	コラボ展示 チーム医療	10 月
コラボ展示	総合・国際文化学図書館	コラボ展示 大航海時代	10 月
コラボ展示	海事科学分館	コラボ展示 大航海時代	10 月
-	総合・国際文化学図書館	「職業と学び」講師のおすすめ図書【キャリアセンターコラボ展示】	10 月
-	経済経営研究所	これから 経済・経営の世界に踏み入れる人へ—教員がおすすめする本—	10 月

-	経済経営研究所	国連寄託図書館 展示企画「今月の1冊:世界人口白書」	11月
-	自然科学系図書館	就活応援	12月
-	人間科学図書館	統計学	12月
-	医学分館	学生図書委員が選んだ本	12月
-	総合・国際文化学図書館	第2回書評・キャッチコピーコンテスト受賞作品	12月
-	海事科学分館	教員推薦図書	12月
-	経済経営研究所	神戸ゆかりの企業 ～歴史と物語を行き来する15冊～	1月
-	経済経営研究所	出光佐三特別展示会	1月
-	社会科学系図書館	社会科学の古典	2月
-	人間科学図書館	映画をみる 映画からみる	2月
-	総合・国際文化学図書館	神戸開港150年	2月
-	人文科学図書館	院生さんオススメ本 POP 展示	3月
-	経済経営研究所	国連寄託図書館 展示企画「国連のあゆみと事務総長」	3月

## <イベント>

### ・BOOKISH FES 書評・キャッチコピーコンテスト

附属図書館の資料活用の活性化を図る企画の一環として平成27年度から始まった。自分の伝えたいことを表現する機会を設けるとともに、他者の読書体験を通して多様な読み方に触れてもらうことを目的として、比較的長文の書評部門と短文のキャッチコピー部門の2部門で募集した。本年度は書評部門に14編（前年度12編）、キャッチコピー部門に50編（同31編）の応募があった。投稿された作品は総合・国際文化学図書館内に掲示し、利用者と職員による投票により優秀作品を決定した。利用者の投票数は書評部門26票、キャッチコピー部門79票であった。

### ・手作りPOPワークショップ

（日程：7月15日、会場：総合・国際文化学図書館、参加：12名）

「学生選書ツアー」（2（2）参照）の参加者を対象に平成26年度にスタートした。選書ツアーで選定された図書は展示コーナーに一定期間展示するとともに、手書きPOPも作成しているが、それを職員だけではなく、選定した学生自身にも作ってもらう企画である。当日は職員の指導のもと、学生と職員の有志が、選定した資料をわかりやすく推薦するPOPを作成した。設置後半年間のデータをみるとPOPのある図書12冊の平均貸出冊数がPOPのない資料の約1.2倍になっており、学生との協働作業によって選書資料のアピールをすることができた。

## ◆評価と課題

平成28年度の学部生・院生への貸出総冊数は約233,000冊で、前年度から約19,000冊、約8%の減少となった。内訳をみると、大学院生より学部生の方が大きく減っている。若者の活字ばなれや電子書籍の普及など、読書行動そのものが時代の流れによって変化しているとはいえ、平成27年度、平成28年度と2年連続して学生用図書資料費が前年度から減額となり、新刊書購入冊数が減少したことが影響していると思われる。次年度以降も注意深く動きを見ていく必要がある。

利用促進の取組みは前年度以上に積極的に展開した。これまで選書ツアーなどのイベントを実施し

	学部生	院生	合計
H28/H27	0.91	0.94	0.92
H27	148,555	103,244	251,799
H28	135,372	97,444	232,816

てきた総合図書館資料選定委員会が、テーマ図書展示についても全館共通企画を見直し、秋季に新企画「コラボ展示」を試行した。また各館室ごとに企画する展示の回数も前年度を上回った。本年度で2回目となる書評・キャッチコピーコンテストも好評で、応募数は前回より伸びている。

今後も厳しい予算状況が続くと想定されるが、教員及び教育関連部署との情報交換や連携に努め、カリキュラム・授業と連動した適切な資料提供を行っていかねばならない。また所蔵資料の活用を図るべく、利用促進活動に一層力を入れていく必要がある。

#### (4) 図書館相互利用 (ILL) サービス

##### <相互利用サービス>

区分			総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
複写	受付	H28/H27	0.65	0.99	1.63	0.85	0.77	0.74	0.87	0.76	0.89	0.95
		H27 年度	272	3,058	668	536	495	253	1,595	799	203	7,879
		H28 年度	176	3,023	1,089	456	382	188	1,392	604	180	7,490
	依頼	H28/H27	1.27	1.20	0.95	0.78	0.67	0.69	0.88	1.14	0.94	0.97
		H27 年度	614	1,669	507	1,000	1,377	13	657	710	82	6,629
		H28 年度	778	2,007	481	778	918	9	575	812	77	6,435
貸借	受付	H28/H27	1.15	1.02	1.20	0.98	1.11	1.67	1.89	2.25	0.59	1.04
		H27 年度	449	1,513	124	572	206	15	9	4	110	3,002
		H28 年度	517	1,546	149	563	228	25	17	9	65	3,119
	依頼	H28/H27	1.24	1.33	1.25	0.94	1.04	0.84	0.80	1.00	0.89	1.09
		H27 年度	242	289	112	639	165	19	10	13	9	1,498
		H28 年度	299	385	140	600	171	16	8	13	8	1,640

- ・館室によって増減はあるが、全体として前年度と比べて文献複写の受付は 5%減、依頼は 3%減、現物貸借の受付は 4%増、依頼は 9%増となっている。

#### ◆評価と課題

平成 28 年度の利用は全体として複写は減少、貸借は増加となっている。これは、前年に引き続き同じ傾向にあり、今後の推移に注目していきたい。

社会科学系図書館は、複写は全体の約 40%、貸借は約 50%を受付ており社会科学系の外国雑誌センター館として、また地域の中核となる図書館として、その責務を果たしていくことが求められていると言える。

平成 23 年 4 月 1 日より、中華民国（台湾）の国立成功大学図書館と相互利用を開始した。また平成 24 年 9 月 1 日より海事科学分館と公益財団法人日本海事センター海事図書館（東京）との間で相互協力を開始した。平成 26 年度は、5 月 12 日にアジア経済研究所図書館と「相互利用に関する覚書」を締結した。また、6 月 4 日より国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスを「社会科学系図書館」「総合・国際文化学図書館」「人文科学図書館」「人間科学図書館」の 4 館室にて実施した。平成 28 年度は、国立公文書館アジア歴史資料センターと「神戸開港文書」についてシステム連携に関する協定書を締結した。このような国内外の図書館との協力を含め、今後はより多様化するニーズに応えるサービスを展開していかねばならない。

## (5) 学生との協働及び学生参加型の取組

### <附属図書館学生チーム ULiCS>

学生との協働を目的に平成 27 年 10 月に発足した「附属図書館学生チーム ULiCS (うりくす)」は本年度末時点で 12 名が参加している。定例会として職員とのミーティングをひと月に一度程度定期的に開催し、その以外に学生のみもしくは活動中のグループごとの打合せは随時行っている。本年度の活動状況は、以下のとおりである。

4～6 月	総合・国際文化学図書館において ULiCS 文庫テーマ展示「大学生活で印象に残った本、新入生にお勧めしたい本」を実施。メンバーが大学生活で印象に残った本、新入生にお勧めしたい本計 43 冊を、自作の POP を添えて展示した。
6/30	鶴甲第一キャンパス LC での職員の自主企画である「まごまご読書倶楽部」に、ポスター作成、当日運営などを協力した。
8/12	国際人間科学部のオープンキャンパスにあわせて、図書館のガイドツアーを実施、職員とともに案内を行った。メンバー 3 名参加、ツアー回数計 6 回、参加者計 11 名。
9/15,16	学生協働交流シンポジウム(開催地・香川大学)に学生メンバー 2 名、職員 1 名が参加し、ポスター展示及びショートプレゼンテーションを行った。
11～3 月	社会科学系図書館の書庫マップを作成した。
12/19	館長懇談会にメンバー 6 名が参加した。

上記以外に、図書館グッズの検討、メンバー募集のための新歓ポスターの作成や Twitter による広報を行っている。

ULiCS の活動に関する職員側の対応は、アウトリーチ WG が担当している。アウトリーチ WG の本年度の活動には、それ以外にライティングセミナー実施やホームページ改訂があるが、それらは情報リテラシー教育の項で述べる。

### <附属図書館マスコットキャラクター「うりこ」LINE スタンプ化>

学生からの投書がきっかけとなって、附属図書館マスコットキャラクター「うりこ」の LINE スタンプを制作し、12 月に販売を開始した。

企画から制作に至るまでのすべてをアウトリーチ WG が行った。また ULiCS もアイデア出しの段階から完成図案の確認まで、様々な場面で参画した。

売り上げも一定数(3 月末現在 300 以上)まで伸び、購入者の間でも使用がある程度継続されている模様である。

今後は状況を見て、他の活動とも関連させながら活用していきたい。



(うりこ)

### <その他の企画>

#### 1. 「クイズラリー」

(日程：5 月 16 日～6 月 11 日、会場：総合・国際文化学図書館はじめ学内全館、ラリーゴール人数：51 名)

総合・国際文化学図書館では平成 25 年度から、主に新入生を対象に、ラリーマップと図書館利用案内を手がかりにして館内をめぐり、OPAC 検索を交えたクイズに答えると景品がもらえるイベントを行っている。本年度は学内の他の図書館 5 館を回るとさらに景品がもらえるルールを設定した。ゴールした人数は総合・国際文化学図書館内が 51 名で、そのうち 13 名がそれ以外の図書館 5 館を訪問していた。ゴールした人数は前年度（86 名）・前々年度（64 名）と比べて減少したが、その原因は、開始時期が遅かったことや実施期間が第 1 クォーターの試験期間に重なってしまったことが考えられる。この反省を生かし、今後も新入生に複数の図書館を訪問するための機会となるようより充実させたい。

## 2. 「まごまご読書倶楽部」

（日程：6 月 30 日、会場：鶴甲第一キャンパス LC、参加 14 名）

テーマに沿った本や最近読んだ本にまつわるアレやコレやまごまごつらつら話し合う座談会を開催した。気軽に参加できる読書会を催すことで、学内における身分や分野の壁を排したコミュニケーションの場を創造することを目的とした。企画には学生チーム ULiCS に関わってもらい、本企画を彼らの今後の活動に取り入れてもらえるよう継続的な開催の実現性についても検討した。

### ◆評価と課題

附属図書館学生チームは、発足 2 年目を迎え、自然科学系図書館に部室を確保することもでき、活動のための環境は整いつつある。参加学生数の多寡や個人々の忙しさによって、多少の浮き沈みは予想されるが、チームが自発的に活動できるよう引き続きサポートに努めたい。

学生参加型のイベントとしてのライティングセミナーは、前年度述べたように、情報リテラシー教育の枠組みに位置づけるようにしたため、本項ではクイズラリーと読書会を挙げた。これらの図書館や資料へ興味を持つきっかけとなるような催しも継続して開催する予定である。

本年度 LC 専門委員会連絡会が利用ポリシーを制定した。この中で本学 LC の基本コンセプトを「教室とは異なるオープンな場であり、学生が自由に出入りして多様な人と交流しつつ、学問の垣根を超えた議論を通じて、開かれた協同の学びを实践する場である」としている。この考え方に沿った鶴甲第一キャンパス LC や各図書館 LC の利用促進について、専門委員会連絡会や鶴甲第一 LC 若手チームと連携した取り組みが今後も必要である。

## （6）情報リテラシー教育の推進支援

### <情報基礎>

- 全学共通教育必修科目「情報基礎」では、平成 20 年度より 1 コマ（90 分）が「情報の活用：レポート・論文作成のための情報リソース活用法」にあてられ、図書館職員が担当することになった。本年度は、5 月を中心に計 23 回（補講・再履修を含む）の講義（実習を含む）を行った。
- 担当当初から、情報リテラシー係と各館室のサービス係員で構成される「情報リテラシー教育支援 WG」を組織し、WG メンバーで分担して講義を行っている。本年度は、学部新入生全員に補講受講者を加え、2,627 人が受講した。
- 授業内容は、図書館ホームページや各種 Web サービス、データベースの紹介をはじめ、OPAC・CiNii Books の検索実習、レポート執筆方法等を中心とした。
- 次年度に向けて、授業内容やテキスト・課題・理解度テストの再検討を行った。

### <初年次セミナー>

- 本年度より新たに設けられた各学部専門必修科目「初年次セミナー」において、図書館を活用した

授業は以下の通りである。

- 各館サービス係が中心となり、図書館ツアーや検索ガイダンスの計画・実施を担当した。

実施日	内容	回数	人数	場所
4/8-4/22	経済学部 図書館ツアー	9	265	社会科学系図書館
4/14	理学部化学専攻 検索ガイダンス・図書館ツアー	1	29	自然科学系図書館
4/15-5/6	国際文化学部 図書館ツアー	12	149	総合・国際文化学図書館
5/2	法学部 検索ガイダンス・図書館ツアー	2	44	社会科学系図書館
5/20-5/27	文学部 検索ガイダンス・図書館ツアー	4	109	人文科学図書館
合計		28	596	

### ＜ライティングセミナー＞

- 鶴甲第一キャンパス LCにおいて、協同学修シリーズの一環として、「大学生のためのRPG：うりと学ぶ大学生のレポート・論文の書き方」と題し、4回に渡ってライティングセミナーを実施した。前年度は全3回で66名参加だったところ、本年度は137名と参加者が倍増した。第1回は職員が、第2回から第4回までは教員が講師を務めた。計画・広報・実施等についてはアウトリーチWGが担当した。

実施日	内容	回数	人数
5/19	「論じる」の正体	1	44
5/23	論理的に書く/考えるという作法	1	44
5/26	論理的なコミュニケーション	1	28
5/30	実際に書くための文章構成法	1	21
合計		4	137



### ＜学術英語スキルアップセミナー＞

- 前年度に引き続き、2月15日、附属図書館と大学教育推進機構国際コミュニケーションセンター・学術研究推進本部・男女共同参画推進室との共催により、大学院生や若手研究者を対象としたワークショップ「Take a New Step! 学術英語スキルアップセミナー」を開催した。参加者は73名だった。アンケート回答には「テクニカルな部分で勉強になったが、それに加えモチベーションにもつながった」「話がわかりやすく実体験に基づいていた内容で聞きがいがあった。」等といった声が寄せられ、充実したものとなった。



## <ガイダンス等>

- ・ 情報リテラシー係と情報リテラシー教育支援 WG メンバーが中心となり、以下のガイダンス等を実施した。
- ・ 一部を除き、各データベース説明会はベンダーから外部講師を招いて実施した。その他は職員が講師を務めた。
- ・ 4 月には、新入生を対象として、各館室で図書館ツアーを集中的に実施した。
- ・ 図書館主催ガイダンスは、7 館で実施した。また、教員からの依頼によるオーダーメイド・ガイダンスも多数実施した。
- ・ 実施会場は iMac 端末の設置場所、または LC とし、参加者が端末操作して実習できるようにしている。広い会場には、スクリーン・プロジェクター・スピーカーやマイク等を持ち込んで使用し、参加者が理解しやすくなるように努めた。

◆図書館主催ガイダンス・図書館ツアー(職員講師担当)				
実施日	内容	回数	人数	場所
5/11	雑誌論文の探し方(海事科学編)	2	27	海事科学分館
5/23-6/3	図書館利用入門：医学職員向け	8	37	医学分館
5/24	参考文献の書き方・見方(自然科学編)	2	16	自然科学系図書館
5/25-6/21	雑誌論文の探し方(自然科学編)	4	26	
6/14-6/29	雑誌論文の探し方(社会科学編)	4	12	社会科学系図書館
6/15	参考文献の書き方・見方(社会科学編)	2	14	
7/6	雑誌論文の探し方(人文科学編)	2	6	人文科学図書館
7/8	雑誌論文の探し方(人間科学編)	2	12	人間科学図書館
10/18	雑誌論文の探し方(自然科学編)	2	11	自然科学系図書館
10/19	参考文献の書き方・見方(自然科学編)	2	8	
10/20	EndNote basic 説明会	2	12	社会科学系図書館
10/25	雑誌論文の探し方(社会科学編)	2	1	
10/26	参考文献の書き方・見方(社会科学編)	2	1	
10/27	EndNote basic 説明会	2	2	総合・国際文化学図書館
11/1	図書館 HP で学術情報を手に入れよう!	2	5	
11/2	雑誌論文の探し方(国際文化学編)	2	3	
4 月	新入生図書館ツアー	73	300	各館
4 月-1 月	オーダーメイド・ガイダンス/ツアー	41	923	各所
小計		156	1,416	
◆図書館主催ガイダンス(外部講師担当)				
実施日	内容	回数	人数	場所
5/25	Web of Science 説明会	2	26	海事科学分館
6/9	SciFinder 説明会	2	35	情報基盤センター分館
6/22	EndNote basic 説明会	2	14	自然科学系図書館
6/28	EBSCO 海外データベース説明会	2	9	社会科学系図書館
7/13	ジャパンレヅジ Lib 説明会	2	5	人文科学図書館
小計		10	89	
合計		166	1,505	

◆その他				
実施日	内容	回数	人数	場所
4月-10月	オリエンテーション等 (資料配布の上、職員が説明するもの)	12	1,364	各所

### <パスファインダーKULiP>

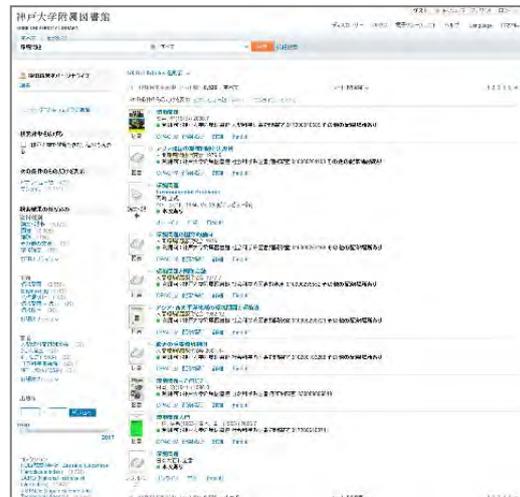
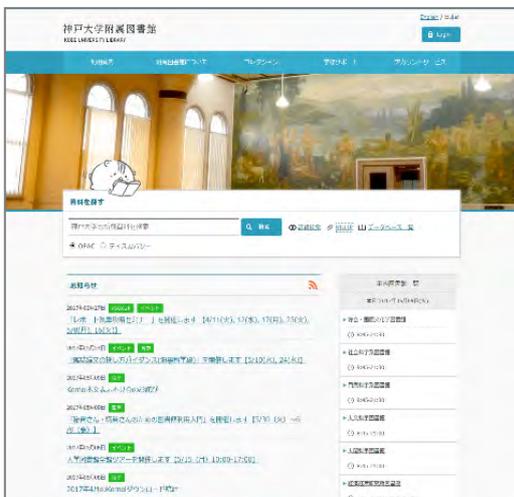
- 平成 25 年度より、図書館による学修支援の一環として、授業シラバスに沿った指定書や、授業内容に関連した資料を紹介する「シラバス型パスファインダー」として、「授業資料ガイド KULiP (Kobe University Library Pathfinder)」を運用してきた。本年度後期よりは、従来の「授業資料ガイド」の他に、「セルフラーニング (セミナー・ガイダンス等配布資料)」「セミナー紹介図書」「テーマ図書展示」「資料／情報の探し方ガイド」を加え、総合的パスファインダーとして発展させることになった。(本年度作成数：53 ガイド)

### <広報>

- 平成 21 年 6 月から開始したメールマガジン「神大図書館 NEWS」は、新ホームページやツイッターなど他の広報ツールの充実により、一旦役割を終えたものとして配信を終了した。8 年間で No.1-No.208 まで発信した。
- 平成 27 年度より運用を開始した公式ツイッターでは、速報性を重視し、ユニークな発信を心がけた。本年度終了時点でツイート数が約 4,300 回、フォロワー数は約 3,000 名となり、人気も高く、着実に情報共有の輪が広がっている。

### <図書館ホームページ>

- 本年度 9 月に新ホームページが開設された。デザイン・機能設計や、旧ホームページからの移行作業については、主にアウトリーチ WG と情報システム係が担当した。
- WordPress をプラットフォームとして採用。水色を基調としたデザインとし、利用者にとって使いやすいホームページとなるよう心掛けた。
- 同じく 9 月より、ディスカバリー統合検索システム「Primo」(Ex Liblis 社)が導入された。今後の利用者への周知が課題である。



## ◆評価と課題

必修科目「情報基礎」は13年目に入ったが、滞りなく運営できた。図書館ガイダンスに参加できる利用者は、会場の狭小やテーマの専門性もあり、ある程度限られてくる。そのため、新入生全員を対象とした必修授業を担当することは、図書館にとって大学教育に直接的な貢献ができるだけでなく、図書館利用者の教育という面でも大きな効果を得ることに繋がっている。授業の課題については、「テーマに従って検索した図書を実際に図書館で探す」という、より実践的な内容として、授業内容の定着を図っている。新入生にとっては、図書館に初めて足を運ぶ機会にもなり、その経験が新鮮なためか、良好な反応がアンケートにも多数うかがわれる。また、授業内容についても、学生の理解度を増すとともに、授業中の注意力が散漫にならないよう工夫し、絶えず改善を施す努力を続けている。

本年度より開始された「初年次セミナー」では、導入当初、授業での図書館活用が呼びかけられたこともあり、従来行われていた館内ツアーと共に、初歩的な検索実習を組み合わせた形での依頼が複数あった。今後、「情報基礎」と共に、新入生が図書館利用法を学ぶ貴重な機会となることが期待される。

図書館主催ガイダンスについては、実施回数、参加人数ともにやや増加した。全体の学生数から見れば、ガイダンスへの参加者数の割合はまだ少なく、広報の工夫や、学生の授業日程を踏まえた開催時期・曜日・時間等の検討が常に必要である。また、前年度後期から引用・参考文献についてのガイダンスも開始し、春のライティングセミナーと共に、従来の「検索」のみに止まらず「ライティング」へも講義内容を拡充していく予定である。

オーダーメイド・ガイダンスの依頼は引き続き増加している。学科・専修単位で毎年実施している例もあり、専門分野における情報リテラシー教育支援の一例として、今後も継続していく意義があると考えられる。また、オーダーメイド・ガイダンスでは、依頼者が所属する学部・研究科のサポート館職員ができるだけ講師を担当するようにしており、職員の教育能力向上に資する機会ともなっている。

パスファインダー「KULiP」の「授業資料ガイド」について、参加授業数は着実に増加している。ただ、引き続き学生・教員の両者に対する周知が必要である。また、作成に伴う教員との連携業務が、やがては学修支援担当者＝リエゾン・ライブラリアンとしての職員養成に資することが期待される。本年度より「KULiP」は、セルフラーニング資料等を含めた総合的パスファインダーに発展させることとなり、今後の更なる展開が期待される。

広報については、掲示物・ホームページに加え、公式ツイッターによる速報性を重視した広報も合わせて展開した。特に公式ツイッターは、職員による個性あふれるユニークな発信も多く、高い人気があり、フォロワーも増加し続けている。新ホームページと共に、様々なツールを組合せることにより、広報の更なる充実を図りたい。

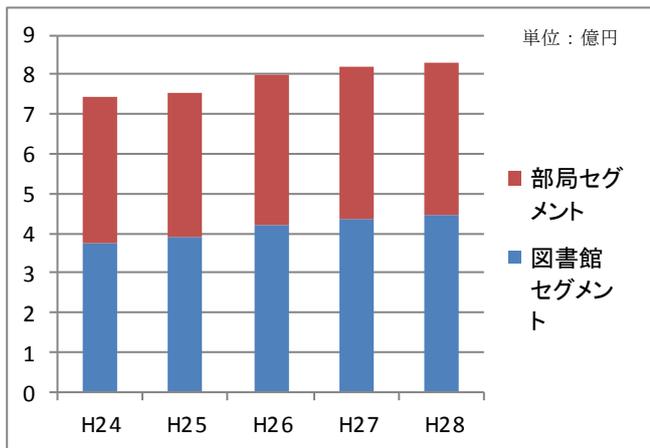
### 3. 学術研究支援

#### (1) 研究用資料の整備

各館室の蔵書数、受入図書冊数、資料費等は統計（p 56）のとおりである。

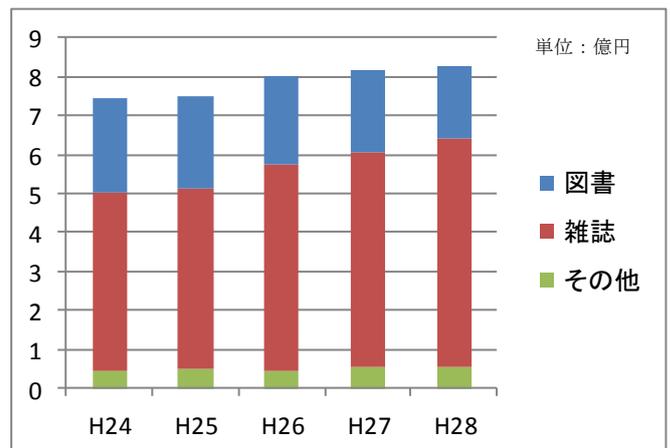
#### <資料受入状況>

(図1) <資料費経年推移>



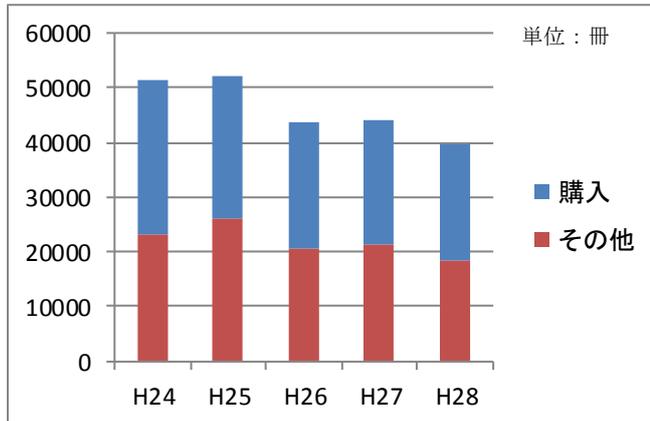
\* 教育研究基盤資料整備費は図書館セグメントに含む

(図2) <資料費の用途別内訳推移>



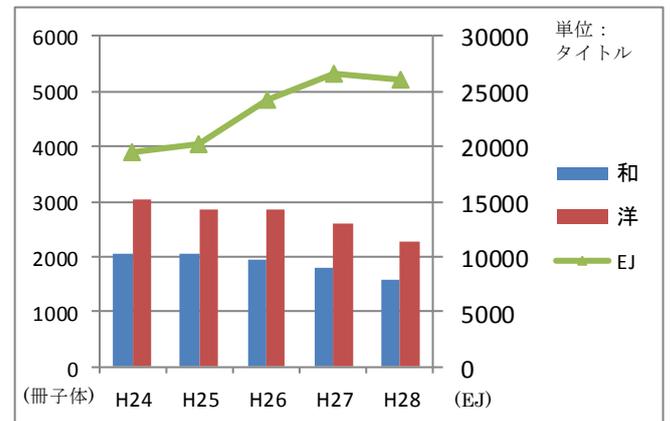
\* 電子ジャーナル等は雑誌として計上

(図3) <受入図書冊数経年推移>



\* 「購入」は一般財源のみ、科研費等は「その他」とした

(図4) <購入雑誌数経年推移>



\* 「購入」は一般財源のみ

- 資料費において、電子ジャーナル・データベース等の提供維持のための経費である「教育研究基盤資料整備費」を含む図書館セグメント分が平成24年度比で0.66億円増加し、約4.4億円となっている。部局セグメント分も平成24年度比0.19億円増加し、約3.9億円である。(図1)
- 資料費は、図書が平成24年度比で0.57億円減少し、雑誌(教育研究基盤資料を含む)が1.29億円増加している。大学全体の資料費は平成26年度から約8億円を維持している。(図2)
- 受入図書冊数は図書購入費に比例して減少傾向が続いている。その他受入が平成27年度比で2,600

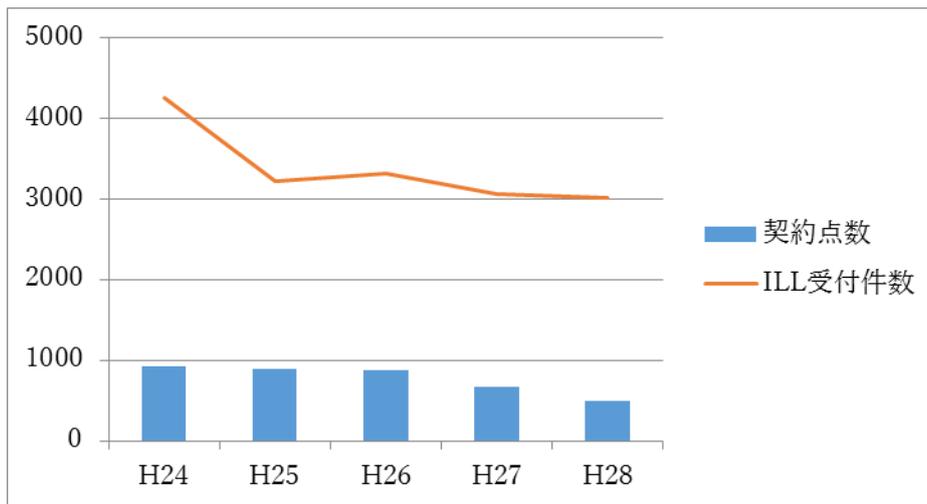
冊減少しているが、製本予算の縮減による約 1,500 冊減が影響している。(図 3)

- 雑誌の購入タイトル数は減少を続けている。一方、電子ジャーナルタイトル数は約 2.6 万タイトルで平成 27 年度比微減となり、増加傾向に歯止めがかかっている。(図 4)

### <外国雑誌センター館>

- 昭和 61 年度より「人文・社会科学系外国雑誌センター館」の指定を受け、国内での所蔵館が 3 館以内の外国雑誌を体系的に収集し、全国共同利用に供している(配架は社会科学系図書館)。分野別の外国雑誌センター館は全国で計 9 大学に設置され、人文・社会科学系は一橋大学と神戸大学の 2 大学に設置され、分担収集を行っている。
- 平成 26 年度まではタイトル数を大きく減少させることなく維持してきたが、主として為替変動の影響により平成 26 年度に購読タイトルの見直しを行い、所蔵館が 3 館以上となっていた雑誌を中心に約 150 誌の中止を決定、さらに図書館予算全体の縮減を受け、平成 28 年度予約点数は 490 誌となった。
- ILL 複写サービスについては、他機関からの複写依頼を常時受け付け、迅速な対応により外国雑誌センター館としてのサービス体制を継続している。

<契約点数と ILL 受付件数(社会科学系)の推移>



### ◆評価と課題

平成 28 年度は、「教育研究基盤資料整備費」3.59 億円(決算ベース)が措置され、電子ジャーナル及びデータベースは平成 26 年度の規模を維持することができた。しかしながら、海外電子配信への消費税導入や為替レートの変動、電子ジャーナルパッケージの価格上昇により所要額が上昇の一途をたどっている。学生用図書費を含む附属図書館運営経費は平成 28 年度大幅な減少となったが、学内各部局一律に減額となったもので、相対的に大学全体の総資料費に占める図書費の割合が下がり続けている。今後も同様の傾向は続く想定されるため、電子ジャーナル・データベースとともに図書費の確保も課題である。

外国雑誌センター館においては、従来のいわゆるレア・ジャーナル(国内での所蔵が稀少な雑誌)を主な対象としている。紙ベース資料の保存もセンター館の責務であったが、毎年の図書館予算削減に対応するため、平成 28 年度は電子ジャーナルのみの契約に一部変更せざるを得ない状況となった。今後も図書館予算の減額が予測されることから、外国雑誌センター館の維持そのものが厳しくなってくる見通しである。

なお、当館の外国雑誌センターは、所在する社会科学系図書館の ILL 年間受付件数が全国的にも上位にあることから、わが国の学術情報流通基盤において一定の役割を果たしていると考えられる。

## (2) 電子的情報基盤の整備

### <外国雑誌と電子ジャーナル>

有料で導入している主な電子ジャーナルは次のとおりである。

	分野	導入年	誌数	範囲	備考
Elsevier 社 ScienceDirect	全分野	H14	2,400	1995～	コンソーシアム契約によるフリーダムコレクション 講読規模維持が条件
Elsevier 社 ScienceDirectBackFile	全分野	H21	2,000	(分野による)	
Springer 社 SpringerLINK	多分野	H14	1,600	2000～	発行のほぼ全タイトル(主要部分は 創刊号から)講読規模維持が条件
Wiley-Blackwell 社 WileyInterScience	多分野	H14	1,400	1997 前後～	発行のほぼ全タイトル 講読規模維持が条件
JSTOR	自然科学 及び社会 科学	H14	1,500	創刊号～ (最近3～5年 は対象外)	Arts & Sciences I (H14～) Arts & Sciences II (H17～) Arts & Sciences III (H19.3～) Arts & Sciences IV (H18.3～) Arts & Sciences V (H23.1～) Arts & Sciences VI (H23.1～) Arts & Sciences VII (H21.4～) Arts & Sciences VIII (H23.1～) Arts & Sciences IX (H23.1～) Life Sciences (H15～) Business III (H23.1～)
Nature 社	自然科学	H15	40	創刊号～	
AAAS Science Online	自然科学	H15	1	過去5年	
APS	物理系	H16	9	2001～	米国物理学会。 *H16 よりライセンス料要 (以前から利用可能)
Cell Press	生命科学	H16	9	1996～	ScienceDirect で利用
LWW via Ovid	医学臨床	H16	11	1996～	パッケージ購読は 2015 年度まで
ACS	化学系	H16	40	1996～	米国化学会
Oxford University Press	多分野	H17	260	1996～	2014 年刊行タイトル(うち 171 誌は 創刊号から)講読規模維持が条件
Cambridge University Press	多分野	H18	300	1997～	発行のほぼ全タイトル(うち 89 誌は 創刊号から)

- ・ その他、単体で購読しているもの等も加えて、平成 28 年度末における電子ジャーナル購読数は 26,061 タイトルとなった。
- ・ 総体として非常によく利用されており、必須の教育研究基盤資料となっている。

- 電子ジャーナル等については平成 17 年度及び平成 20 年度に出された附属図書館審議会答申に基づき本学の教育研究における基盤資料として維持・整備が行なわれ、これまで一定の水準を維持してきた。しかし急激に進展した円安、税制変更に伴う税負担などにより、購読予算の増加は想定を超え、平成 28 年度からパッケージ契約を中止、あるいは解体しタイトル契約に切り変えたものがある。このため、購読数は前年度より減少した。

平成 28 年度における電子ジャーナル等の提供内容は次のとおりである。

(1) 電子オンリー中心の包括利用契約

大手 5 社 (Elsevier 社、Wiley-Blackwell 社、Springer 社、Oxford 社、Cambridge 社) 発行のものについては、基本的に各社発行電子ジャーナル全タイトルが利用できる電子オンリー中心の包括利用契約をおこない、その対象となる冊子体の購読はオプションとする。

なお、冊子体の購読を希望する場合は、購読額の 25% 程度の特別価格で購読できるが (Oxford を除く)、これに関しては、雑誌購読補填は行わない。

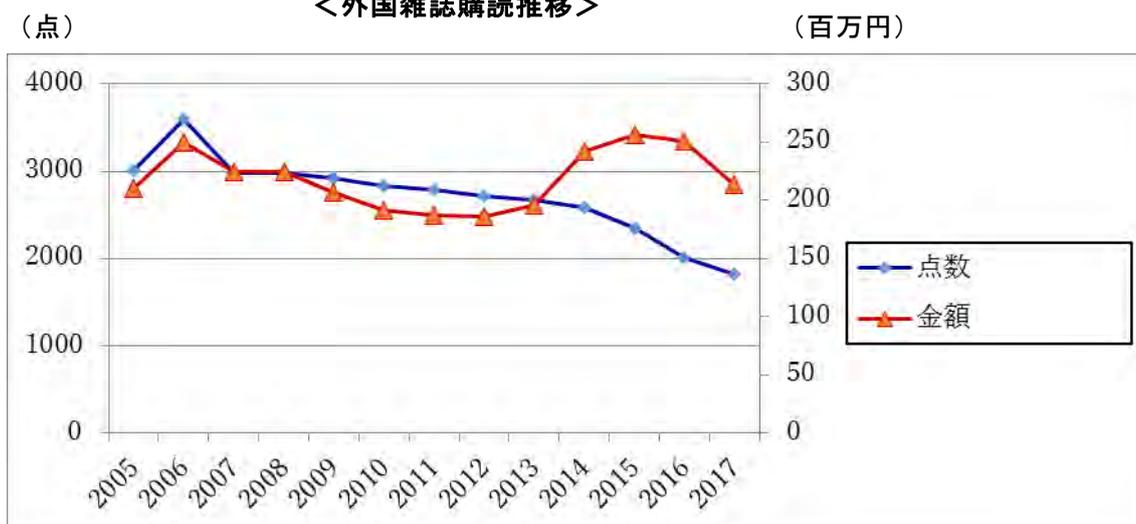
(2) 上記以外の外国雑誌購読に係る経費補填

冊子体を各図書館室に配置し、全学共同利用が可能なものについては、全学経費から、当該雑誌購読所要額の 15% を補填する。予算超過を避けるため、新規タイトルへの補填は凍結している。なお補填率は平成 27 年度まで 20% であった。

- 平成 29 年外国雑誌の契約は、点数・契約金額とも前年よりも減少している。契約金額の減少幅が点数に比較して大きい、これは契約レートが平成 28 年に比較し大幅な円高となった影響である。

平成 28 年契約点数 2,011 点 → 平成 29 年 1,814 点 (9.8%減)  
 平成 28 年契約金額 約 251 百万円 → 平成 29 年 約 214 百万円 (14.7%減)

＜外国雑誌購読推移＞



## ＜データベースの整備＞

主な導入データベースは次のとおりである。(全てウェブアクセス)

	分野等	導入	範囲	備考
Web of Science SCIE	自然科学 (引用索引)	H15	1900～	H22 バックファイル追加
Web of Science SSCI	社会科学 (引用索引)	H21	1900～	H22 バックファイル追加
Web of Science AHCI	人文学 (引用索引)	H21	1975～	H22 バックファイル追加
JCR Web	全分野	H17		
MathSciNet	数学	H13	1940～	
SciFinder Academic	化学	H16	1840～	利用申請が必要
Readers' Guide to Periodical Literature	一般雑誌	H6	1983～	H18.4 より Web 版に変更 同時アクセス 1
EconLit	経済学	H3	1969～	同上 同時アクセス 4
Index to Legal Periodicals & Books	法学	H3	1981～	同上 同時アクセス 1
EBSCOhost (Business Source Premier, PsycInfo, PsycArticles, CINAHL)	経営学 心理学 看護学	H22		
HeinOnline	法学	H22		アクセス制限なし
Lexis.com	法学	H22		利用申請が必要
Westlaw International	法学	H22		
OECD iLibrary	多分野	H22		H22 に「Source OECD」より名称変更
ProQuest Dissertations & Thesis	多分野	H22		抄録と索引のみ
CiNii	多分野	H15	多種	機関別定額制 H28 で提供中止
医学中央雑誌	医学	H5	1983～	Web 版は H14 から 医学・保健にサービス
メディカルオンライン	医学	H22		
官報	官報記事	H18	1947.5～	同時アクセス 2→1
日経テレコン21	新聞記事等	H18	1975～	H19.7 より全学利用可 同時アクセス 20
*JapanKnowledge	全分野 (辞典等)	H17		同時アクセス 5 H28 からアクセス数 1 追加
*ざっさくプラス	国内雑誌記事	H26	1867～	同時アクセス 1 MAGAZINEPLUS から切替
*JDreamIII	科学技術・医学・薬学	H19		同時アクセス 10 H25 JDreamII から変更
*聞蔵 II ビジュアル(朝日新聞)	新聞記事	H12	1879～	同時アクセス 3
*ヨミダス歴史館	新聞記事	H21	1874～	同時アクセス 1
*毎索	新聞記事等	H21	1872～	H23「毎日 News パック」より名称変更 同時アクセス 2

- 平成 15 年度途中に導入した引用索引データベース Web of Science SCIE (自然科学系) は、平成 18 年度までは間接経費、平成 19～28 年度は教育研究基盤資料整備費で契約を維持した。
- タイトル先頭に\*を付したものは、平成 18 年度より学生資料費として措置されている「e-study」

資料費により契約している。

- 各データベースの利用は別添統計のとおりである。学術分野やデータベースの特性から、個々の利用度は大きく異なっている。

### <電子ブックの整備>

学内で利用できる主な電子ブックは次のとおりである。(全てウェブアクセス)。利用可能な総タイトル数は平成 28 年度現在で約 2 万タイトルである。

	分野	購入年度	タイトル数
*Elsevier Handbooks in Economics	経済学	H20-(継続)	30
*Emerald Business, Management and Economics eBook Series Collection	経営学、経済学	H21-	450
LWW Doody's Core Collection	医学	H21	129
**NetLibrary: ネットライブラリー	多種	H22-(随時)	750
**Oxford Handbooks Online	経営学、哲学、政治学、宗教学、言語学	H22 ,H27	146
ScienceDirect レファレンスワークス	多分野	H23	21
*Springer eBooks	数学、経営学、社会科学	H17-	5,000
*群書類従(正・続・続々)	国文学、国史	H27	

注) \*部局予算による購入

\*\*部局予算による購入分を含む

### ◆評価と課題

電子ジャーナル及びデータベースは研究者(大学院生を含む)にとって、今や必要不可欠な学術情報基盤である。神戸大学では平成 17 年度及び平成 20 年度に出された 2 つの附属図書館審議会答申に基づき電子資料に関わる基盤整備を行ってきており、平成 22 年度からは部局負担分を間接経費(全学共通分)に切り替え、電子ジャーナルを含む教育研究基盤資料は全学共通経費と間接経費を財源として提供されることとなった。なお契約金額の上昇に伴い、平成 27 年度からは全学負担分をすべて間接経費に切り替えている。

答申では同時に所要額の上限も設定されたが、平成 24 年まではピーク時に 1 ドル 70 円台に達する円高という外部環境により、この上限額を超えることなく教育研究基盤資料の維持・整備を行うことが可能であった。しかし平成 25 年から始まった急激な円安により、平成 26 年度は間接経費を増額してかろうじて従来水準を維持、平成 27 年度については部局負担を一時的に復活し、ようやく従来水準を維持した。平成 28 年度には部局負担は求めなかったものの、従来半額補填を行っていた特定主題に係る電子ジャーナル・データベースの補填率は 35%に引き下げられ、これを機に一部の資料は中止となった。

平成 28 年に入って円安傾向が一服したものの、外国雑誌の契約点数は減少の一途を辿っており、電子ジャーナルの購読数も減少に転じた。電子ジャーナルのいわゆる包括契約については、負担額の増大に伴いその維持可能性が数年前から疑問視されてきてはいるが、包括契約に代わる新たな購読モデルは見いだせていないのが現状である。また平成 29 年度は教育研究基盤資料整備費のおよそ 5 割を占める ScienceDirect の価格据置の最終年にあたる。平成 30 年以降の契約モデルはまだ公にされていないが、ScienceDirect の動向が平成 30 年以降の教育研究基盤資料整備に大きな影響を及ぼすことは確実であろう。

電子ブックについては、海外図書館と比べると、国内図書館において普及が全般的に遅れているのが現状であり、本学においては部局予算による購入がこれまで中心であった。しかし国内出版物の電子版は徐々に増えつつあり、学術書においても一部の出版社において前向きな動きがみられる。今後の電子ブック出版の動向には注意する必要がある。

### (3) 蔵書目録データベースの整備

#### <目録遡及入力事業>

目録遡及入力は学内予算措置を得て平成4年度から事業を開始し、第2次中期計画最終年度の平成27年度に全蔵書のうち館室配置図書の入力を完了した。この間、科学研究費補助金（社会科学文献・画像データベース作成事業）の獲得や国立情報学研究所との共同事業への参加など外部資金による入力にも努め、平成27年度末で蔵書数約375万冊のうち約318万冊の所蔵データを入力、全蔵書の約85%がOPACで検索できるようになった。残る未入力冊数は約57万冊で全蔵書の約15%にあたる。

未入力冊数のうち、約31万冊（約55%）が製本雑誌、約15万冊（約27%）を研究室所蔵の未登録資料が占める。残る約10万冊（約18%）の大半は特殊資料であり、これらは第2次中期計画の遡及入力事業対象外であった。

平成28年度からは、このうち特殊資料の入力を計画的に行っている。主な資料群は「和古書」「漢籍」「洋古書」「マイクロ資料」等である。特に和古書は、当館が拠点大学である国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業のデータベース構築にあたり目録データ作成が不可欠なため、重点的に入力を行っている。

- 平成28年度計画

平成28年度は社会科学系図書館貴重書室所蔵の和漢古書と洋古書の一部、医学分館の荘田文庫、横井文庫の入力を計画した。

- 平成28年度入力実績 14,574冊

研究室戻り等		各館室	9,026冊
特殊資料	マイクロフィルム	社会科学系図書館	2,651点
	和古書	社会科学系図書館、医学分館、総合・国際文化学図書館、人文科学図書館	914冊
	漢籍	社会科学系図書館	709冊
	洋古書	社会科学系図書館	1,274冊

#### ◆評価と課題

平成28年度は予定していた社会科学系図書館貴重書室所蔵の和漢古書と洋古書の一部、医学分館の荘田文庫、横井文庫の入力が完了した。また、研究室所蔵の未登録資料も返却時にデータ入力しており、前年度とほぼ同じ冊数を登録した。

現在、蔵書数約377万冊のうち約321万冊の所蔵データが入力済みで、全蔵書の約85%がOPACで検索できるようになっている。残る未入力冊数は約55万冊である。

特殊資料は入力に専門知識の習得が不可欠であるが、研究上重要な資料が多数ある。今後も未登録データ入力によって一層の利用者へのサービス向上、図書管理業務の効率化が期待される。

#### (4) 資料の保存

##### <貴重資料の保存>

- ・ デジタル化事業の一環として、社会科学系図書館所蔵の「大阪メリヤスタオル商工新聞」15年分(1907-1921)を脱酸・修復した上で、電子化を行った。
- ・ 社会科学系図書館所蔵の住田文庫古地図「肥前國平戸城繪圖」他、計5件(7点)を修復の上、電子化を行った。
- ・ 拠点大学として参加している国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業のデータベース構築準備のため、横井文庫資料他、計10点(医学分館所蔵)の修復を行った。(費用の一部は国文学研究資料館の撮影管理費から拠出した)
- ・ 社会科学系図書館所蔵の「浄土寺縁起」を奈良国立博物館の特別展「快慶」(H29年4月8日～6月4日)出陳のため3月に貸出した。
- ・ 12月28日に職員研修「保存箱製作講座」(参加者9名)を開催した。

##### <一般資料の除却>

- ・ 学内各館室で重複所蔵や教員の転出、及び蔵書点検後3年以上所在不明による図書・製本雑誌、計24,232冊の廃棄を行った。

##### ◆評価と課題

貴重資料の電子化は保存対策としての意味も持っており、順調に進められている。また、内部研修を実施し、資料保存について職員の知識習得に努めている。

収容スペース狭隘化解消のため、平成24年度第7回附属図書館運営委員会において協議・了承された「資料収容力確保策の見直し」指針に従い、狭隘化の逼迫度が高い館室について重点的に人員・費用を充てて集中的に整理作業を実施している。平成26年6月に定めた実務指針にて作業優先順位1位と定めた総合・国際文化学図書館と5位の保健科学図書室では平成27年度末に、2位の自然科学系図書館では本年度末に、目標とした約5年間の受入量にあたる収容力を確保できた。全館規模での達成は難しい現状であるが、図書資料の選択的廃棄の推進は本年度からの第3期中期目標・中期計画期間においても取組内容に位置付けられており、引き続き進めていく必要がある。

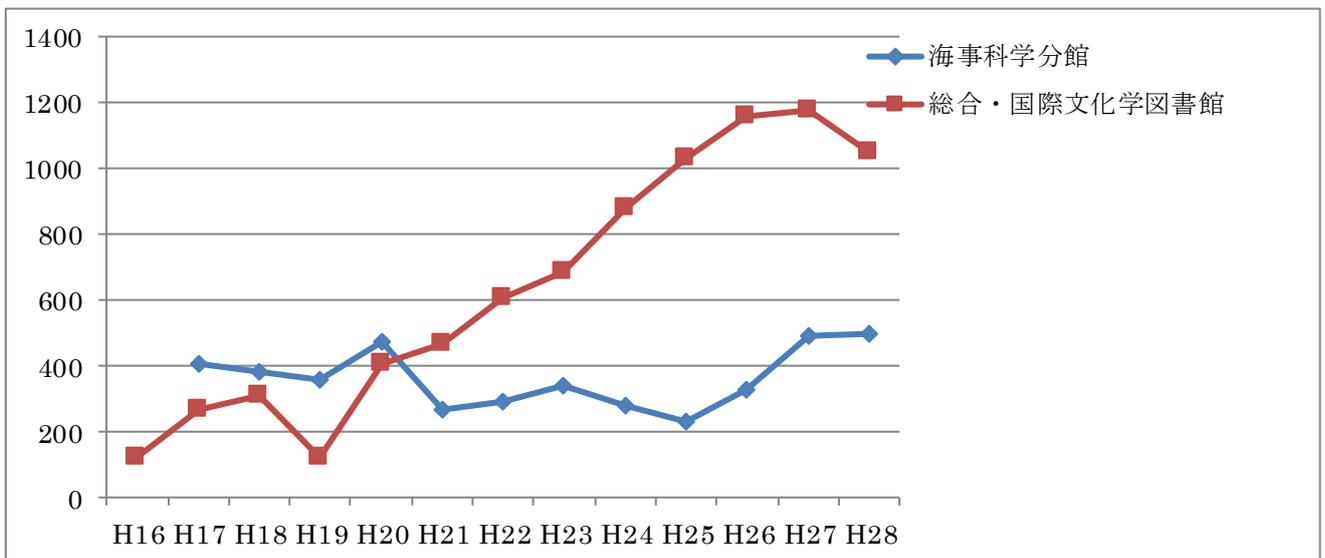
## 4. 社会連携・情報発信

### (1) 一般市民への資料提供サービス・展示会の開催

#### <一般市民の図書館利用>

- 総合・国際文化学図書館と海事科学分館において一般市民への貸出サービスを実施している。平成28年度の利用登録者数は253名で、前年度より2名増加した。  
貸出冊数は総合・国際文化学図書館で前年度と比べて11%減の1,051冊になった。海事科学分館では微増の498冊になった。

#### <貸出冊数の推移>



#### <公共図書館との協力>

- 前年度に引き続き、兵庫県大学図書館協議会で加盟館の図書館相互協力便覧や一般市民への公開状況を取りまとめ、同協議会ホームページ上で情報公開を行った。
- 平成20年度から、兵庫県立図書館で公開されている兵庫県内図書館横断検索に参加し、県内公共図書館等との横断的な所蔵検索が可能となっている。

#### <展示会の開催>

- 資料展「モダン神戸の光と影 ～「新聞記事文庫データベース」より～」

会期 平成28年10月14日(金)～12月20日(火)

会場 社会科学系図書館 2階 展示ホール

時間 月～金曜日 8:45～21:30

土・日・祝日 10:00～19:00 (11/3は休館)

共催 経済経営研究所

内容 本学の経済経営研究所により作成された明治末から昭和45年までの新聞切抜資料で、附属図書館がデジタル化を進めている「新聞記事文庫」を取り上げ、大正から昭和戦前期の神戸と阪神間の様子を紹介した。

神戸大学附属図書館 主催: 神戸大学附属図書館  
平成28年度 資料展 共催: 神戸大学経済経営研究所

## モダン神戸の光と影

～「新聞記事文庫データベース」より～

【入場無料】

平成28年10月14日(金)～12月20日(火)

会場: 神戸大学附属図書館 社会科学系図書館2階 展示ホール  
 時間: 月～金曜日 8:45～21:30 土・日・祝日 10:00～19:00 (11/3は休館)  
 交通: 阪神(御影)12(大甲)駅より徒歩約10分  
 市バス8系統(神大甲門前)下車 キャンパス内を北へ徒歩約5分

神戸大学附属図書館 社会科学系図書館  
 〒650-8001 神戸市灘区大甲門前2-1  
 お問い合わせ: 情報リソース課 TEL: 078-803-5313  
 E-mail: literacy@sh.kobe-u.ac.jp

以下の4つのサブテーマに分けて、関連図書や記事の切抜帳を展示した。

- 1) 新聞記事文庫について
- 2) 神戸ゆかりの財界人
- 3) 労働者階級の目覚め
- 4) 神戸の街と暮らし

加えて、新聞記事を印刷して綴じたファイルや検索性PCも用意して、「新聞記事文庫」に実際に触れて、その意義と史料的价值を体感できる展示を目指した。

- ・ 学内各部局、及び近隣の地方自治体・公共図書館・公立学校等へチラシ、ポスターを送付して広報した。
- ・ 図書館ホームページで展示品目録や紹介した記事のリストを公開している。
- ・ 会期は10月29日(土)開催の「神戸大学ホームカミングデイ」に合わせ、当日は職員による館内案内と展示案内を実施した。
- ・ 人文学研究科の「景観文化財学」授業での見学を受け入れ、職員が展示内容を説明した。
- ・ 会場は通路部分であるため、正確な来場者数をカウントすることはできないが、開催期間中に社会科学系図書館に来館した利用者の多くが資料展を観覧したものと思われる。
- ・ アンケート回収数は137件(うち学外者31名、上記授業の見学学生77名)で、多数の回答が寄せられた。ほとんどの回答が展示に対して好意的であった。

#### ＜その他の展示、及び他組織主催の展示の受入＞

- ・ 前年度と同様、阪神・淡路大震災の発生した1月17日にあわせ、平成26年度の資料展「つたえる・つながる～阪神・淡路大震災20年～」のリバイバル展示を、今回パネルをポスター状のものに再作成して社会科学系図書館展示ホールで実施した。(会期：平成29年1月12日(木)～2月1日(水))
- ・ 前年度に続き本年度も、一橋大学、大阪市立大学、本学の社会科学系学部の学生による合同ゼミ「三商ゼミ」の開催にあわせ、各大学と三商ゼミの経緯・歴史を関連図書やパンフレット等の資料と解説パネルで紹介する合同企画「三商大図書館連携企画展示」を社会科学系図書館2階壁画前で実施した。(会期：平成28年12月2日(金)～12月14日(水))
- ・ 海事博物館や人文学研究科と連携した展示企画「神戸大学サテライト巡回展」の一環として、以下の展示を社会科学系図書館展示ホールにて受入れた。  
「災害と文化財保存の歴史地理学」  
(主催：人文学研究科地理学研究室、会期：平成28年5月9日(月)～6月30日(木))  
「神戸における海技者教育100年の歩み(前編)」  
(主催：海事博物館、会期：平成29年3月6日(月)～4月6日(木))
- ・ 総務部広報課主催の「映画「海賊とよばれた男」写真展示特別展」を社会科学系図書館で受入れた。  
(会期：平成28年12月26日(月)～平成29年3月8日(水)、会場：1/11まで展示ホール、1/12以降は開架閲覧室手前の通路)

#### ◆評価と課題

一般市民への資料の貸出サービスの開始以来、総合・国際文化学図書館では平成19年度に改修工事の影響で一時的に貸出数は落ち込んだものの増加を続けていたが、平成28年度は減少となった。一時的な現象のようにも思われるが、今後の推移に注視が必要である。一方、海事科学分館でも平成21年度に書庫立ち入り制限の実施により大きく減少し、その後はほぼ横這い状態であったが、回復傾向にあることが認められる。地域社会への貢献活動のひとつとして定着していると評価できる。

資料展については、本年度からの第3期中期目標・中期計画において、社会及び地域への貢献の

一環として資料展の開催が位置付けられており、その充実が重要となっている。本年度の資料展は地元の歴史に関わるテーマで一般市民の関心も高く、地域・社会貢献に寄与したと評価する。また本年度は図書館全体で「新聞記事文庫」データベースの普及と広報に注力しており（p 33参照）、資料展は中核となる取組として、そのアピールに役立ったと考えられる。図書館主催のものに加え、他組織主催の展示への会場提供の機会が前年度より増したことで展示ホールの稼働率がさらに上がり、展示を通じた地域貢献を推進できた。

## （２）震災文庫

### <資料収集と一般公開>

- ・ 引き続き、様々なチャンネルからの情報収集を行い、購入や寄贈依頼等の積極的な収集活動に努めた。2,036 件（平成 27 年度は 1,296 件）を収集し、資料所蔵総数は 5 万 6 千件を超えた。
- ・ ビデオ(VHS)テープ 33 点についてメディア媒体変換作業を行った。

	全件数 (タイトル数)	H28 新着		全件数 (タイトル数)	H28 新着
図書資料	8,066 (7,065)	181 (163)	地図資料	137 (131)	0 (0)
雑誌資料	13,852 (3,390)	121 (15)	動画資料	318 (263)	2 (2)
新聞・広報誌資料	20,332 (8,519)	1,514 (1,401)	音声資料	107 ( 87)	2 (2)
パンフレット資料	6,185 (6,021)	85 ( 85)	コンピュータ資料	96 ( 92)	3 (2)
一枚もの資料	6,982 (6,975)	128 (128)	www	10 (4)	0 (0)
写真資料	112 (94)	0 (0)	総合計	56,197 (32,641)	2,036 (1,798)

注) 雑誌等の各号を 1 冊ずつ数えた数が「件」、同一タイトルを 1 と数えたのが「タイトル」。

写真資料はコレクション単位（概ね撮影者単位）を 1 としているため件数が少ないが、写真 2 万枚強のコレクションも含まれている。

### <震災デジタルアーカイブ>

- ・ 資料全体のタイトル等だけでなく掲載されている記事情報等からも検索できるよう、詳細なデータを継続的に作成している。本年度は 4,883 件を入力し、その結果、データベースのレコード総数は 29 万 4 千を超えた。
- ・ 著作権の許諾が得られた資料 42 点をデジタル化公開した。
- ・ 各機関から、防災資料作成等のための転載許可願いが写真を中心に 12 件（前年度 19 件）あり、著作権者へ許諾確認を行い回答した。
- ・ 平成 21 年 1 月より開始した人と防災未来センターと震災文庫の「震災資料横断検索」は兵庫県立図書館を加えて 3 機関での横断検索を継続中であり、年 4 回データ更新を行った。
- ・ 平成 24 年 10 月に連携を開始した「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）」に継続してデータを提供している。

### <震災文庫の活動>

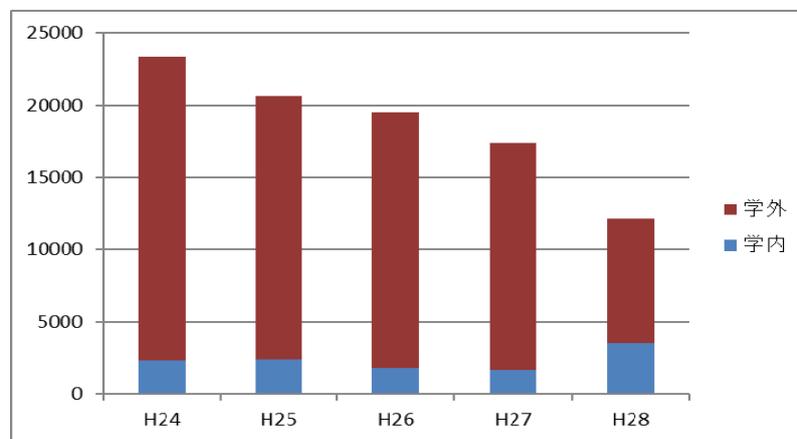
- ・ 14 回（99 名）の見学や取材の依頼があり、電子図書館係を中心に対応した。
- ・ 1 月 23 日に、「第 6 回被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」を人文学研究科と協力して開催し、電子図書館係職員が震災文庫について報告を行った。会には計 33 名が参加した。

## ◆評価と課題

本年は、熊本地震(4月)、鳥取県中部地震(10月)と相次いで大きな地震が起こったためか、前年に比べ取材や見学等が増えた。来館者数も前年より、約1割増加し「震災文庫」が注目された様子が窺われる。震災文庫トップページへのアクセス数は年々減少しているが、これは横断検索サイトや震災資料サイトの増加に伴うアクセスの分散化によるものと考えられる。

課題として、引き続き収集資料の媒体の問題が挙げられる。デジタルデータの中にはハードウェアの生産終了やファイルフォーマットのサポート終了などの要因により再生環境が失われ、利用不可能となる恐れのあるデータが生じつつある。貴重な資料を今後も利用可能な状態で保存することが大切であり、早急に収録メディア及びデータの変換作業(マイグレーション)を行う必要がある。変換作業完了までには数年間かかる見込みである。

### <震災文庫トップページアクセス数経年推移>



※H28.9 図書館システムリプレース

## (3) 電子図書館システムによる情報発信

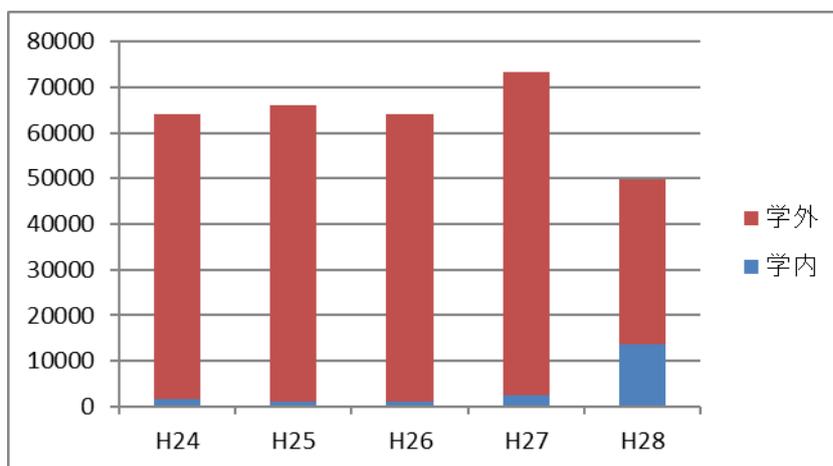
### <「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築>

- ・ 同システムは当初全国5大学に「先導的電子図書館プロジェクト」として予算措置されたもので、本学には平成10年度補正予算で措置され、平成11年から稼働している。法人化後は電子図書館事業費として学内経費化され、運営を続けている。
- ・ 「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内研究成果」を3本柱に事業を推進し、デジタル化した資料をWeb上で公開してきた。経費には上記の電子図書館事業費と、科学研究費補助金研究成果公開促進費(平成11-15年度 震災デジタルアーカイブに措置、平成16-23,25,27,28年度 戦前期新聞経済記事文庫に措置)を充ててきた。
- ・ コンテンツのうち震災関係資料については、前節で述べたとおりである。
- ・ 拠点大学として参加している国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業のデータベース構築のため、砂治文庫・荘田文庫資料(医学分館所蔵)217点(517冊)の電子化を行った。電子化した画像は「新日本古典籍総合データベース」より順次公開される予定である。
- ・ 国立公文書館アジア歴史資料センターより、システム連携と、デジタルアーカイブにて目録と画像を公開中の「神戸開港文書」の、先方によるテキスト化の申し出があり、3月に協定書を取り交わした。次年度以降実施を進めていく。

### ＜経済関係資料デジタル化＞

- ・ 新聞記事文庫（戦前期記事切抜）デジタル化については、科学研究費補助金研究成果公開促進費（「戦前期新聞経済記事文庫データベース」）を獲得した（配分額 870 万円）。「教育」分野約 4,600 記事を全文テキスト化し、公開に向けて準備中である（累計約 30 万記事）。
- ・ 平成 24 年 5 月より当文庫データベースの「活用事例集」ページを HP 上で公開し、また活用事例を Twitter で照会するなど、より一層の普及と有効活用の支援を図っている。
- ・ 本年度は特に当文庫データベースの普及と広報に注力し、附属図書館資料展はこれをテーマに実施した。また、図書館総合展のポスターセッションに出展し（11 月 8 日～10 日）、国立国会図書館関西館主催の「レファレンス協同データベース事業フォーラム」にて事例報告を行った（2 月 17 日）。
- ・ 住田文庫から「肥前國平戸城繪圖」ほか計 5 件(7 枚)の絵図を電子化公開した。
- ・ 平成 24 年 1 月より公開された「国立国会図書館サーチ (NDL Search)」とは、前身のデジタルアーカイブポータル (PORTA) に引き続いて連携を行っている。

### ＜新聞記事文庫トップページアクセス数経年推移＞



※H28.9 図書館システムリブレース

### ＜学内研究成果資料デジタル化＞

- ・ 機関リポジトリは開設 11 年目となり、平成 29 年 3 月末現在 24,551 件（前年度末 23,445 件）の学術成果を一般公開している。詳細は次項に述べる。
- ・ キク科の染色体数データベース（渡邊邦秋名誉教授作成）のデータ更新を続けている。更新頻度は月 1 回、本年度のレコード増加数は 13,686 件で、累計レコード数は 145,796 件である。

### ◆評価と課題

新聞記事文庫はその規模の大きさと希少性（戦前の記事切抜きはほとんど残っていない）から高い評価を得ており、HP へのアクセス数は継続してデジタルアーカイブ中トップである。また、記事画像の転載申請も他のデジタルアーカイブと比較すると多く、広く利用されていることが窺われる。引き続き電子化をすすめ、戦前期の完成を目指したい。

国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業による電子化は次年度以降も継続され、「新日本古典籍総合データベース」より順次公開される予定である。

「学内研究成果」については、学術論文は機関リポジトリ（次項）へ、その他成果はデジタルアーカイブへ登録している。今後も継続してコンテンツ収集に努めたい。

#### (4) 機関リポジトリによる情報発信

##### <コンテンツ収集活動>

- 平成 18 年度に稼動を始めた神戸大学学術成果リポジトリ (Kernel) は、比較的順調に成長を続けている。平成 28 年度末現在のコンテンツ数は 24,551 件となり、1 年間で 1,106 件増加した。

##### <機関リポジトリコンテンツ種別件数>

一般雑誌記事	94(94)	図書	76(77)
会議発表論文	48(48)	データセット	2(2)
紀要論文	17,630(39,048)	学術雑誌論文	3,039(3,141)
教材	18(18)	会議発表用資料	395(395)
研究報告書	123(123)	テクニカルレポート	669(669)
博士学位論文	2,161(10,211)	その他	287(287)
プレプリント	9(9)	合計	24,551(54,122)

注) 括弧内は書誌情報のみ(本文ファイルなし)も含んだデータ数

- 学位規則改定後の平成 25 年 4 月以降に学位授与された博士学位論文は要旨・全文ともに原則としてリポジトリからインターネット公表することとなったため、非公表・公表延期を除く論文を公開した。また、学位規則改定前の学位授与論文についても全文公開のため著作権調査を行い、可能なものについて電子化公開を行った。本年度は合計 171 件の本文を公開した。
- 神戸大学研究者紹介システム「KUID」や「Web of Science」より抽出したデータを元に、学内研究者に論文登録照会作業を行い学術雑誌掲載論文の収集に努めた。
- 9 月 1 日のシステム更新に合わせて、紀要目次データベース、博士学位論文データベースの機関リポジトリへの統合を行った。これにより紀要目次・博士論文情報を含む学内研究成果の書誌情報を一度に検索することが可能となった。

##### <広報活動>

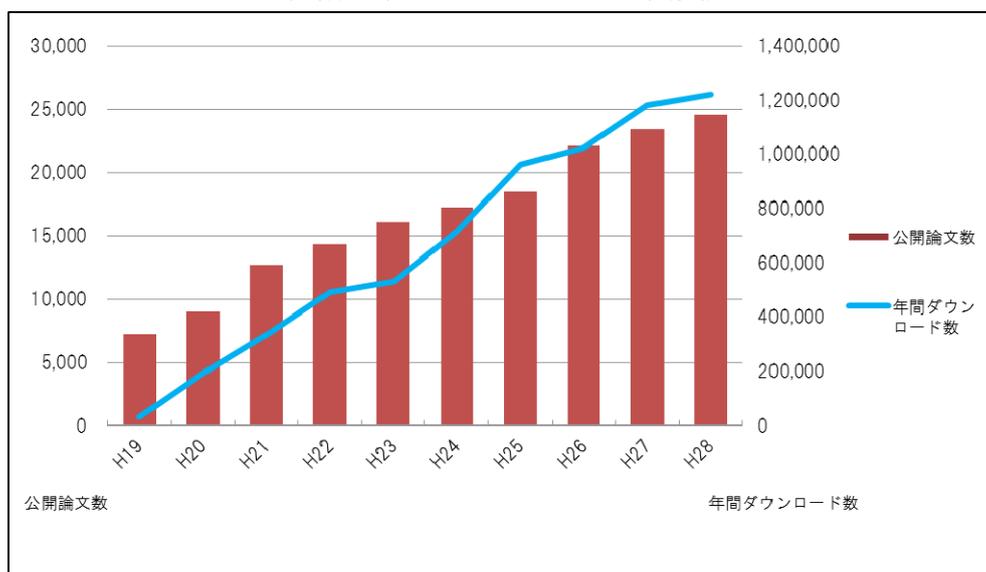
- 学内教員への浸透を図るため、『Kernel 通信』の第 16 号を発行した。
- 登録者へのサービスとして、毎月 1 回ダウンロード数お知らせメールの配信を継続して実施している。

##### ◆評価と課題

リポジトリ開設から 10 年が経過し、公開論文数の増加とともにダウンロード数も比較的順調に増加している。1 月 10 日には「神戸大学オープンアクセス方針」を採択し研究成果を広く世界に発信していくことを改めて宣言した。今後もより一層学内での認知度を高めるための広報活動が重要である。また、学位論文を円滑にリポジトリ公表するため、関係諸機関と連携して作業を進める必要がある。紀要等の学内刊行物についても引き続き重点的に収集を進める。

学位論文データベース、紀要目次情報データベースの「Kernel」への統合により利便性が高まったが、神戸大学研究者紹介システム「KUID」との連携は今なお手作業による論文へのリンク付与にとどまっており今後の連携方法が課題となっている。

### <Kernel 公開論文数及びダウンロード数推移>



## (5) 国際連携

### <海外派遣>

国立大学図書館協会海外派遣事業経費及び学内予算により、9月27日～9月30日の期間、大学図書館における利用統計の活用及びオープンアクセスの推進体制を調査対象に、職員2名を英国へ派遣した。訪問先は、9月27日がインペリアル・カレッジ・ロンドン、28日がロンドン大学バークベック校、29日がJisc、30日がオックスフォードブルックス大学であった。

利用統計については、Jiscが出資・運営し、電子ジャーナル・電子ブックの利用統計を一元的に提供するJisc Usage Statistics Portal (JUSP)の現状と課題、参加機関がJUSPを活用することで、各図書館においてどのような業務改善がもたらされたかについて、インペリアル・カレッジ・ロンドンとロンドン大学バークベック校を訪問し、インタビュー調査を行った。利用統計は電子リソースの購読や利用状況把握のために活用されており、JUSPは各大学の意思決定を支援する重要なツールになっている。国内における電子リソース管理の改善にとっても参考になる事例であると考えられる。この調査の結果については、『カレントアウェアネス-E』(316号)、『大学図書館研究』(107号掲載予定)での報告及び平成29年6月に開催された国大図協総会での口頭発表において報告された。

オープンアクセスについては、主要な研究助成機関により論文のオープンアクセスが義務化される中でのワークフロー及び組織・運営体制の整備について、インペリアル・カレッジ・ロンドン、オックスフォードブルックス大学及びJiscにインタビュー調査を行った。英国において、教員の論文出版情報やオープンアクセスの達成状況、そのために要した論文投稿料(APC)の把握が課題となる中、Jiscはそれらの業務の効率化のために各大学が利用できるサービスを開発・提供しており、インペリアル・カレッジ・ロンドンはCRIS(最新研究情報システム)や独自のAPC管理システムを活用してワークフローを改善していた。また、両大学では、サブジェクトライブラリアンや図書館以外の学内関係者と連携した上でオープンアクセスが推進されていた。この調査の結果は『カレントアウェアネス』(332号)及び2017年3月の大学図書館問題研究会関西3地域グループ合同例会での口頭発表において報告された。

### <韓国海洋大学校図書館との協力推進>

前年度に続き韓国海洋大学校図書館との協定にもとづく職員交流を行った。本年度は図書館長と職員2名を韓国海洋大学校へ派遣した。先ず10月26日、韓国海洋大学校において、図書館概要と特色ある取り組みについて説明を受けた。それに引き続き、両館長及びスタッフで、1)図書館職員の人事・研修、2)電子ジャーナルの契約、3)大学改革と図書館への影響、4)図書館での教育支援など、日韓で共通する課題について意見交換を行った。次に、翌日ソウルに移動して2日間にわたり、国立中央図書館（国立デジタル図書館・国立障害者図書館も含む）、ソウル大学中央図書館・冠廷館（新館）、延世大学サムスン学術情報センター・中央図書館を訪問した。国立中央図書館に併設して新たなサービスを展開する国立デジタル図書館と国立障害者図書館、また多額の寄付を集めて新館を完成させたソウル大学など、自信を持って積極的な運営を進めている姿が印象的であった。運営費交付金の削減や施設整備の進まぬ日本の状況は非常に厳しく消極的になりがちだが、隣国から学ぶべき点があろう。またソウル大学は図書館サービスプラットフォーム（LSP）として注目されている Ex Libris 社の Alma をアジアで初めて導入しており、導入に至る経緯や電子リソースの管理について担当者から説明を受けた。



（韓国海洋大学校図書館にて）



（韓国国立中央図書館にて）

### <シャロン・ドマイヤー氏招聘>

7月27日、来日中のマサチューセッツ大学アマースト校東アジア研究担当司書シャロン・ドマイヤー氏を講師に招き、社会科学系図書館において、「UMass における学習支援と図書館の変革」と題した図書館職員研修講演会を開催した。館長、学外者1名を含む25名の職員が参加した。氏はまず、IT 担当者と教員の間を取り持つ教育学の専門家を配置した教育メディアラボ（Instructional Media Lab）やライティングセンターなど UMass の学習支援の実際について、多数のスライドを見せながらエピソードを交えて話された。また、データマネジメント、指標・統計、広報などの専門職に加え、著作権及び情報政策司書が OA や権利関係の相談を受けるなど、専門性の多様化が進んでいる実態に話が及んだ。その後、参加者との活発な意見交換が行われたが、その中で、変革の時代に図書館職員が今後すべきこととして、研究テーマを持つことと図書館から出て行くことの2点を上げられた。氏からのエールとして耳を傾けたい。

### ◆評価と課題

韓国海洋大学校とは平成21年度以来連続で相互に職員を派遣し合い、研修を行っている。本年度は、韓国海洋大学にて両館長が共通する課題での意見交換を行うとともに、ソウルで韓国を代表する3機関の図書館を訪問し、韓国の最新の図書館事情について理解を深めることができた。

別の海外派遣事業として、本年度も国立大学図書館協会海外派遣事業経費及び学内経費により2名の職員を英国に派遣した。NIIに似た機関である Jisc と3大学を訪問し、電子リソースの利用統計の

活用とオープンアクセスの推進体制について調査を行った。調査結果は日本でも参考になる事例があり、論文等に発表して情報提供を行った。

また米国で日本研究を行っている図書館司書、シャロン・ドマイヤー氏を招聘する機会があった。マサチューセッツ大学アマースト校の取り組みを講演してもらい、米国の学習支援や専門職制について最新動向を知ることができた。

海外派遣事業や海外図書館員等の招聘には予算が必要となるが、単に先進の事例を学ぶに留まらず、人的ネットワークを確立することによって継続的な交流と情報交換の可能性が広がる。人材育成の観点に加え、グローバルな視点を持って図書館界の動きに関わっていくためにも、外部資金等の獲得などによって引き続き国際連携を進める機会を作り出して行くことが必要であろう。

## (6) 大学文書史料室

大学文書史料室では、公文書管理法に基づき、内閣総理大臣指定「国立公文書館等」の機関としての責務を全うし積極的な社会貢献を図るため、平成 28 年度においては次の事業を実施した。

### <法人文書移管協議>

- 平成 28 年度法人文書移管協議は、神戸大学法人文書 2,634 件を対象に 2 月 13 日から 3 月 22 日までの約 1 ヶ月間実施され、移管 515 件、廃棄 2,119 件が決定された（移管率 19.6%）。この協議結果に基づき、移管の受入れを平成 29 年度に実施予定である。

移管協議の対象	総件数	協議結果 (注)		移管率	移管年度
		移管決定	廃棄決定		
平成 28 年度末(2017 年 3 月 31 日)保存期間満了分	2,634 件	515 件	2,119 件	19.6%	H29

(注)「移管決定」の数値は、分冊や関連文書等をまとめて1件とする場合があるため、実際の受入れ件数や目録入力件数とは異なる。

### <法人文書等の受入れ状況>

- 平成 28 年度における法人文書等の受入れ状況は、学内移管文書等 1,529 件、個人・団体からの寄贈寄託文書等 623 件（以上、公文書管理法 2 条 7 項が規定する「特定歴史公文書等」に該当。）、他大学史等の参考図書 127 件、計 2,279 件である。

受け入れた法人文書等			受入れ件数	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書（移管協議に基づく移管）	954 件	2,152 件
		法人文書（上記以外の移管）(注)	9 件	
		学内印刷刊行物	566 件	
	(小計)	1,529 件		
	個人・団体からの寄贈寄託文書等	623 件		
参考図書	寄贈図書のうち上記に該当しないもの（他大学史等）		127 件	
合計			2,279 件	

(注)「上記以外の移管」とは、神戸大学法人文書ファイル管理簿(神戸大学法人文書管理規則第 10 条)に未掲載の古い法人文書を対象とした、移管協議を経由しない移管を指す。

### <目録入力>

- 平成 28 年度における目録入力の件数は 2,980 件であり、目録総件数は 51,638 件となった。
- インターネット上の目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」を毎月定期的に更新した。

対象		目録入力件数 (注)		
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書 学内印刷刊行物	1,286 件 632 件	2,778 件
		(小計)	1,918 件	
	個人・団体からの寄贈寄託文書等	860 件		
参考図書	寄贈図書のうち上記に該当しないもの (他大学史等)	202 件		
[上記合計] 平成 28 年度目録入力件数 (①)		2,980 件		
[参 考] 平成 22-27 年度目録入力件数 (②)		48,658 件		
目録総件数 (①+②)		51,638 件		

(注) 「目録」とは、「神戸大学特定歴史公文書等データベース」のことを指す。なお、「目録入力件数」の数値は、移管寄贈寄託受入れ時点の件数とは異なる場合がある。その理由は、移管寄贈寄託受入れ時点では、分冊や関連文書等をまとめて 1 件とする場合があるため。

### <利用状況>

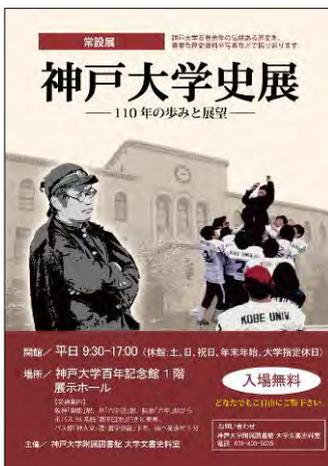
- 平成 28 年度の資料利用件数は 389 件 (前年度比 64.4%減)、利用者数 88 名 (同 16.2%減) であり、その内訳は下表のとおり。
- 一般利用者の利用に供するため、展示会及びレファレンス等に積極的に対応した (次項以降参照)。

	利用者数	利用件数			
		閲覧 (①)	写しの交付 (②)	合計 (①+②)	
本 学	教員	3 名	72 件	7 件 (49 枚)	79 件
	教員以外の職員	35 名	89 件	14 件 (1,224 枚)	103 件
	学生	14 名	25 件	30 件 (998 枚)	55 件
	旧教員	5 名	15 件	5 件 (19 枚)	20 件
	旧教員以外の職員	0 名	0 件	0 件 (0 枚)	0 件
	卒業生	6 名	12 件	7 件 (78 枚)	19 件
他大学	教員	3 名	9 件	6 件 (19 枚)	15 件
	教員以外の職員	0 名	0 件	0 件 (0 枚)	0 件
	学生	1 名	0 件	1 件 (4 枚)	1 件
一 般	マスコミ	6 名	25 件	8 件 (277 枚)	33 件
	その他	15 名	35 件	29 件 (108 枚)	64 件
合計		88 名	282 件	107 件 (2,776 枚)	389 件

### <展示会の開催>

- 収蔵物を広く学内外に紹介するため、常設展「神戸大学史展—110 年の歩みと展望—」を常時開催 (特別展の開催期間は除く) し、百有余年にわたる神戸大学の歴史に関する文書や実物資料、写真など 206 点を展示公開した。来場者数は 2,729 名 (前年度比 22.4%減) であった。
- 平成 28 年度特別展及び巡回展 (東京 1 回・神戸 2 回) は、「近代にみる港町の神戸大学—神戸開港 150 年記念—」をテーマに、神戸港とともに発展した近代神戸大学の歩みについて、主に神戸病院・神戸高等商業学校・神戸高等商船学校に焦点を当てて貴重な文書・写真・実物史料 (一部は初公開) などで取り上げた。来場者数は計 9,398 名 (前年度比 18.9%減) であった。

種類	展示テーマ	開催期間	会場	来場者数
常設展	神戸大学史展 —110年の歩みと展望—	常時(特別展開 催時を除く)	神戸大学百年記念館 1階 展示ホール	2,729名
特別展	近代にみる港町の神戸大学 —神戸開港150年記念—	H28.10.27(木)– H28.11.11(金)	神戸大学百年記念館 1階 展示ホール	1,090名
特別展 (神戸Ⅰ)	近代にみる港町の神戸大学 —神戸開港150年記念— パネル展	H28.11.28(月)– H28.12.14(水)	神戸大学海事博物館	241名
巡回展 (東京)	近代にみる港町の神戸大学 —神戸開港150年記念— パネル展	H29.01.16(月)– H29.01.26(木)	神戸大学東京六甲クラブ	2,066名
巡回展 (神戸Ⅱ)	近代にみる港町の神戸大学 —神戸開港150年記念—	H29.02.06(月)– H29.02.24(金)	神戸大学社会科学系図書 館2階 展示ホール	6,001名
合計				12,127名



(常設展の案内チラシ)



(特別展の案内チラシ)



(特別展における来場者の様子)



(特別展)



(巡回展 (神戸Ⅱ))

### <レファレンス>

- ・ 学内外から 610 件（昨年度比 33.8%減）、215 名（同 24.3%増）の照会があり情報提供を行った。

対 象		件数(人数)	対 象		件数(人数)	
本 学	教員	82 件( 9 名)	他大学	教員	21 件( 7 名)	
	教員以外の職員	174 件(76 名)		教員以外の職員	3 件( 3 名)	
	学生	60 件(22 名)		学生	5 件( 3 名)	
	旧教員	23 件( 9 名)	一 般	マスコミ関係	65 件(20 名)	
	旧教員以外の職員	3 件( 1 名)		その他(周辺住民等)	100 件(29 名)	
	卒業生	61 件(25 名)		合 計		610 件(215 名)
	関係諸団体(同窓会等)	13 件( 11 名)				

### <研修の実施>

- ・ 公文書管理法第 32 条に基づき、本学職員及び大学文書史料室員に対して、次の研修を実施した。

研修名	対象者	テーマ	開催日	受講者数	備考
新任教職員研修 (講師派遣)	神戸大学の新任教職員	神戸大学法人文書管理について	H28. 04. 07	134 名	総務部人事企画課主催の研修に講師派遣
文書管理者研修	神戸大学の文書管理者及び文書管理担当者等	神戸大学法人文書の適切な管理に向けて	H29. 02. 06	39 名	総務部総務課との共催
大学文書史料室研修	大学文書史料室員	①大阪大学アーカイブズ及び総合学術博物館の見学 ②神戸市文書館及び竹中大工道具館の見学 ③レッド・ロット状態になった所蔵史料の処置について	①H28. 07. 05 ②H28. 07. 28 ③H29. 03. 07	① 4 名 ② 4 名 ③ 4 名	大学文書史料室利用等要項 30 条 1 項の規定に基づく室員研修

### <デジタル・アーカイブの充実>

- ・ デジタル・アーカイブの充実を図るため、①『「松下講師問題」について—神戸大学教養部紛争の記録—(神戸大学教養部広報第 22 号)』(神戸大学教養部広報委員会、昭和 45 年 8 月 8 日刊) 1 冊のデジタル画像 67 点、②『続「松下講師問題」について—神戸大学教養部紛争の記録—(神戸大学教養部広報第 25 号)』(神戸大学教養部広報委員会、昭和 46 年 2 月 10 日刊) 1 冊のデジタル画像 23 点、③『神戸大学教養部紛争の記録 第 II 部(神戸大学教養部広報第 30 号)』(神戸大学教養部広報委員会、昭和 46 年 10 月 15 日刊) 1 冊のデジタル画像 137 点、④『神戸大学総合雑誌 展望』創刊号(昭和 35 年 2 月刊)～第 5 号(昭和 36 年夏刊)計 5 冊のデジタル画像 395 点及び記事見出し一覧 151 件を作成し、①～③は、大学文書史料室ホームページ上で公開した。

<https://lib.kobe-u.ac.jp/libraries/bunsho/da/>

対象	デジタル画像作成	記事の見出し入力
『「松下講師問題」について』 1冊	67点	目次入力
『続「松下講師問題」について』 1冊	23点	目次入力
『神戸大学教養部紛争の記録 第Ⅱ部』 1冊	137点	目次入力
『神戸大学総合雑誌 展望』創刊号～第5号 5冊	395点	151件
合計	622点	151件

### <その他>

#### ・ 内閣総理大臣への状況報告

平成28年7月20日付け神大総第26号により、「平成27年度特定歴史公文書等の保存及び利用の状況」を学長名で内閣総理大臣に報告した。本件は、公文書管理法第26条第1項に規定する報告の義務に基づく。なお、本報告の概要は、平成29年2月に内閣府大臣官房公文書管理課から「平成27年度における公文書等の管理等の状況について」として公表された。

#### ・ 室の今後について検討

平成28年度第1回及び第2回大学文書史料室運営会議において、室の課題やあるべき姿について検討を行い、「附属図書館大学文書史料室の体制整備について」を取りまとめた。

#### ・ 他機関からの見学を受入れ

他機関からの見学（視察）が8機関94名あり、その内訳は下表のとおり。

年月日	大学文書史料室を見学した機関	見学者数
H28.04.25	神戸大学文学部講義「文化財学」（教員1名、受講生20名）	21名
H28.05.31	愛媛県生涯学習センター（学芸員1名）、岩村昇博士協力会（会長1名）	2名
H28.07.27	マサチューセッツ大学アマーフト校（東アジア研究担当司書1名）	1名
H28.08.09	神戸大学医学部（職員1名）	1名
H28.09.09	愛知教育大学教育学部（教員1名、学部生6名）	7名
H28.10.21	京都大学大学文書館（教員1名）	1名
H28.11.01	神戸大学文学部講義「文化財学」（教員1名、受講生60名）	61名
合計		8機関94名

#### ・ 神戸大学同窓会誌等への寄稿

広報の充実を図るため、同窓会誌及び本学広報誌への寄稿を次のとおり実施した。

- ・ 「激戦地フィリピンに散った学生たち —大学文書史料室から(18)—」  
(『凌霜』第409号、神戸大学凌霜会、平成28年4月号、17頁)
- ・ 「六甲台本館の時計台は3代目 —大学文書史料室から(19)—」  
(『凌霜』第410号、神戸大学凌霜会、平成28年7月号、14-15頁)
- ・ 「戦時下の“文系軽視”と神戸経済大学への改組 —大学文書史料室から(20)—」  
(『凌霜』第411号、神戸大学凌霜会、平成28年10月号、32-33頁)
- ・ 「出光佐三と神戸高等商業学校」  
(神戸大学広報誌『風』Vol.8、神戸大学広報室、平成28年12月、22頁)
- ・ 「幻の学歌「六甲台学徒の歌」—大学文書史料室から(21)—」  
(『凌霜』第412号、神戸大学凌霜会、平成29年1月号、18-19頁)

#### ・ 神戸大学沿革図の作成

- ・ 『学生生活案内 平成28年度』（学務部、4月刊）掲載の本学沿革図（西暦版）を作成した。

- ・ 『神戸大学概覧 2016』（総務部広報課、6月刊）掲載の本学沿革図（元号版）を作成した。
- ・ 本学ホームページ掲載の本学「沿革略図」の更新を担当した。

#### ・ 学内記念事業への協力

- ・ 経済経営研究所創立 100 周年記念事業の一つである公開シンポジウム「海賊の選択 出光佐三の企業家精神」（1月23日開催）に協力して、室員を講師派遣し、講演「神戸大学史にみる出光佐三の熱き活躍」を行うとともに、パネルディスカッションにパネリストとして登壇した。

#### ・ 大学史及びアーカイブズ学関連授業への協力

大学史及びアーカイブズ学関連授業への協力として、平成 28 年度は下記を実施した。

- ・ 教養原論「神戸大学史」講義への講師派遣（第 1Q2 回、第 2Q1 回、第 3Q2 回、第 4Q1 回）
- ・ 文学部専門科目「地域歴史遺産保全活用基礎論 A」への講師派遣（第 2Q1 回）
- ・ 文学部専門科目「文化財学」講義への講師派遣（第 1Q1 回、第 3Q1 回）

#### ・ その他の協力等

- ・ 大学広報への協力として、①大学来訪者の学内案内（6回）、②学生広報ボランティアの取材協力、③映画「海賊とよばれた男」公開記念特別展への協力などを実施した。
- ・ 6月10日開催の「平成 28 年度全国公文書館長会議」（国立公文書館主催）に室長及び室員が出席し、「公文書館の利用普及」に取り組む基本的考え方」を議決した。
- ・ 伊勢志摩サミットに伴い 6 月 26 日に開催された第 3 回伊勢寮歌祭（会場：皇學館大学）に、本学の前身校である旧制姫路高等学校同窓会と共に参加した。
- ・ 8 月 10 日開催の神戸凌霜午餐会第 1499 回例会において、卒業生向けの講演「戦時下の学徒出陣と神戸大学」を行った。
- ・ 11 月 27 日開催の「河田光夫さんを偲び『展望』の思い出を語る会」に協力して、1960 年代・70 年代刊行の『神戸大学総合雑誌 展望』創刊号から 22 号までの目次一覧を作成・提供すると共に、同誌バックナンバーの完全収集への協力を呼びかけた。
- ・ 12 月 3 日～3 月 12 日開催の愛媛人物博物館冬期企画展「岩村昇—アジア医療の光となった医師—」（主催：愛媛県生涯学習センター・愛媛県教育委員会）に協力して、本学医学部元教授岩村昇に関する史料調査等を実施した。
- ・ 12 月実施の総務部総務課による平成 28 年度文書管理監査に同行し、学内各部局における法人文書の管理状況等を実地確認した。
- ・ 2 月 3 日放送（30 分間）のインターネットラジオ「神戸大学 Radio！」第 23 回に室員が出演し、「映画「海賊とよばれた男」公開記念！出光佐三と神戸高等商業学校」をテーマに解説した。

#### ◆評価と課題

平成 28 年度は、「国立公文書館等」政令指定施設としての責務を果たすため、室が抱える諸課題を整理・検討し、「附属図書館大学文書史料室の体制整備について」として取りまとめることにより、今後の課題及び室のあるべき姿が明確化された。

また、学内外からの各種問合せや調査依頼（人数は前年度比 24.3%増）に対して、積極的かつ迅速なレファレンス対応により利用者の利便性の向上に努めた。

なお、資料利用件数の減少を背景に、今後の円滑な利用を促進するため、実務上の具体的な「利用審査マニュアル（仮称）」の策定が急務である。また、書庫収蔵スペースの狭隘化が極めて深刻な状況にあり、早急に方策を講じる必要がある。

## **5. 管理運営等**

### **(1) 図書館組織と運営**

#### **<管理運営全般>**

平成 27 年 4 月より部局長経験者である野海正俊館長（理学研究科教授）がその任に当たっている。3 名の副館長の役割分担も以下のとおり平成 27 年度より継続している。

山本 弘副館長（法学研究科教授）	社会科学系図書館担当	国際交流担当
桔梗宏孝副館長（システム情報学研究科教授）	自然科学系図書館担当	基盤センター運営委員
大津留厚副館長（人文学研究科教授）	広報担当、評価担当	大学文書史料室長

#### **<館内諸会議>**

\*開催日時、議事内容等は、巻末添付資料に掲載

##### **① 附属図書館運営委員会**

- ・平成 28 年度は 5 回開催した。

##### **② 附属図書館長・副館長・分館長懇談会**

- ・平成 28 年度は 4 回開催した。

##### **③ 附属図書館評価委員会**

- ・平成 28 年度はメール回議にて 4 回開催した。

##### **④ 附属図書館研究開発室会議**

- ・平成 28 年度はメール回議にて 1 回開催した。
- ・教育研究支援部会は独自に懇談会を 2 回開催した。

##### **⑤ 大学文書史料室運営会議**

- ・平成 28 年度はメール回議を含め 3 回開催した。

##### **⑥ 附属図書館係長会議**

- ・平成 28 年度は係長研修とあわせて 2 回開催した。

#### **<教育研究基盤資料の充実>**

平成 28 年度は全学経費と間接経費をあわせた約 3.59 億円により、約 26,000 誌の電子ジャーナルと 26 種のデータベースを全学に提供した。

#### **<「大学文書史料室」の運営>**

- ・大学文書史料室は平成 22 年 4 月 1 日に附属図書館に設置され、平成 23 年 3 月 30 日付けで、「国立公文書館等」（＝国立公文書館に類する機能を有する施設）として内閣総理大臣の指定を受けている（平成 23 年内閣府告示第 13 号）。活動と評価・課題の詳細は本年次報告 4（6）「大学文書史料室」に記載している。

#### **<神戸大学出版会>**

神戸大学出版会設立の動きがあり、事務担当部局として計 5 回の準備委員会を開催した。（平成 29

年 4 月 1 日設立が決定)

## ◆評価と課題

本年度、学内組織の改組（教員組織と教育研究組織の分離）が行われた。それに伴い、附属図書館規則、運営委員会規程を改正した。（第 2 回運営委員会で承認）

附属図書館運営委員会においては、引き続き教育研究基盤資料の整備が懸案事項となっている。本年度については 3.59 億円が措置され、電子ジャーナル及びデータベースは平成 26 年度の規模を維持することができたが、所要額は上昇を続け、購読数としては減少している。さらに、本年度の当初經常予算額は前年度より 9.1%の大幅減額となり、非常に厳しい予算運営を余儀なくされた。

また、本学の研究成果公開促進を目的とした「神戸大学オープンアクセス方針」が 1 月 10 日に採択され、原則として機関リポジトリを通じて Web 公開することとなった。それに伴い、神戸大学機関リポジトリ運用指針を改正した。（第 4 回運営委員会で承認）

## （2）事務組織と人事管理

### ＜図書館事務組織＞

- 5 月現在、附属図書館事務部は 2 課 18 係、定員 47 名、非常勤職員 40 名の 87 名となっている。また経済経営研究所図書係は、定員 3 名を配置しており、平成 22 年 4 月に設置した大学文書史料室は定員 1 名、非常勤職員 3 名を配置している。
- 5 月現在、職員の配置状況は、以下のとおりである。

地区	館室	配置係数等	定員職員	非常勤職員	計
六甲地区	総合・国際文化学図書館	サービス課長 2 係	6	5	11
	社会科学系図書館	部長 管理課長・補佐 7 係	19	18	37
	自然科学系図書館	サービス課補佐 3 係	8	4	12
	人文科学図書館	1 係	3	3	6
	人間科学図書館	1 係	3	2	5
楠地区	医学分館	サービス課補佐 2 係	3	5	8
名谷地区	保健科学図書室	1 係	2	1	3
深江地区	海事科学分館	サービス課補佐 1 係	3	2	5
		計	47	40	87

六甲地区	経済経営研究所図書館	1 係	3	0	3
	大学文書史料室		1	3	4

- 現在のところ、社会科学系図書館が事実上の中央館として機能しており、企画係・管理係が全館の総務機能を、図書受入係・雑誌情報係・目録情報係は、当該業務に係る全館調整機能と社会科学系図書館及び総合・国際文化学図書館の整理業務を担当している。
- 情報管理課の電子図書館係（社会科学系図書館配置）、同情報システム係（自然科学系図書館配置）及び情報サービス課の情報リテラシー係（総合・国際文化学図書館配置）は、当該業務の全館調整機能を果たしている。
- 情報管理係は、自然科学系図書館及び医学分館に配置し、各館の総務機能と整理部門を担当し、各館室に配置する情報サービス係は、主に各館室のサービス業務を担当している。

### ＜職員の採用と育成＞

- 事務職員（図書系）の学内募集により、4 月に 1 名を非常勤職員から登用した。

- ・ 近畿地区国立大学法人等職員採用試験図書系専門試験受験者の前年 11 月採用者、本年 2 月採用者と 4 月の学内登用者の計 3 名が「神戸大学新任職員研修」及び「兵庫県下教育機関事務系職員（新規採用者）研修」を受講した。
- ・ 大阪大学附属図書館との人事交流を実施中。（係員 1 名、本年 4 月から 2 年間の予定）
- ・ 係員 1 名が、自己啓発休業により英国 Sheffield 大学へ留学中。（平成 28 年 9 月～平成 29 年 9 月）
- ・ 図書館では、事務系職員の「職員調書」とは別に図書系職員の「意向調書」を実施している。本年度も職員のキャリア形成に係わる目標や希望に加えて、業務内容やスキルの分析、業務目標の達成度評価等を盛り込み、よりの確な聴取に努め、その結果研修計画等に反映した。
- ・ 他機関・他団体等の主催する各種研修、大学図書館職員長期研修、主題専門知識の研修等に職員を派遣し、スキルアップに努めた。本年度参加の主な研修は次のとおりである。

区分	研修名	主催	日程	参加者
若手職員向けの基礎研修	大学図書館近畿イニシアティブ初任者研修	近畿イニシア	5/26-27	係員 5
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	9/29-30	係員 2
	大学図書館職員短期研修	京都大学、国立情報学研究所(共催)	10/4-7	係員 2
中堅職員向けの研修	第 75 回近畿地区中堅係員研修	人事院近畿事務局	5/24-27	係員 1
	大学図書館職員長期研修	筑波大学	7/4-15	係長 1
	国立大学協会近畿地区支部研修「キャリアデザイン研修」	国立大学協会近畿地区支部	7/12	係員 1
	国立大学協会近畿地区支部研修「中堅職員研修」	国立大学協会近畿地区支部	10/19-20	係員 1
管理職向けの研修	係長相当職研修	神戸大学	9/5-6	係長 3
	メンタルヘルス検定試験 II 種受験を含む研修	神戸大学	8/29-11/4(通信) 12/5,12	課長 1 補佐 1
個別業務の専門的知識のための研修	学術情報基盤オープンフォーラム	国立情報学研究所	5/25-27	係員 1
	神戸大学事務職員国際業務研修	神戸大学	6/21-9/6 (初級・中級)	係長 1 係員 3 補佐員 3
	第 17 回西洋古典資料保存講習会	一橋大学	6/29-7/1	係長 1
	アプリケーションソフトウェア研修	神戸大学	8/25-26,29-30	補佐員 4
	第 6 回大学図書館学生協働交流シンポジウム	中国四国地区大学図書館協議会	9/15-16	係員 1 学生 2
	漢籍担当職員講習会(初級)	京都大学	10/3-7	係員 1
	日本医図協等共催シンポジウム	日本医図協ほか	10/7	補佐 1 係員 1
	第 18 回図書館総合展	図書館総合展運営委員会	11/8-10	係長 1 係員 2
	第 36 回西洋社会科学古典資料講習会	一橋大学	11/16-18	係長 1
	会計事務研修	神戸大学	11/29-30	係員 3

	公文書管理研修Ⅱ(部分)	国立公文書館	12/2	係長 1
	レファレンスサービス研修	国立国会図書館	12/15-16	係長 1
	障害者サービス担当職員向け講座	国立国会図書館	12/13-14	係員 2
	京都大学大学文書館研修	京都大学	1/24-26	室長補佐 1
	障害者職業生活相談員資格認定講習	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	1/26-27	指導員 1
	アカデミックリンク教育・学修支援専門職養成プログラム(2コース)	千葉大学	2月(通信), 3/9-10 対面実習	係員 1
	第4回オープンサイエンスデータ推進ワークショップ	京都大学	2/28-3/1	係員 1
1日以内の講演会・研修会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ORCID の情報収集</li> <li>・ ジョージア工科大学教員講演会</li> <li>・ 障害学生支援に関する講演会</li> <li>・ ハラスメント相談員研修会</li> <li>・ 人事評価に係る研修会</li> <li>・ 全国遺跡報告総覧実務者会議</li> <li>・ 神戸大学新グループウェアの運用等に関する説明会</li> <li>・ 総務関係実務担当者研修</li> <li>・ 個人情報保護・情報セキュリティ研修</li> <li>・ 経済生活設計セミナー</li> <li>・ 国大図協近畿地区協会講演会</li> <li>・ 第2回 SPARC Japan セミナー</li> <li>・ 大阪大学職員研修</li> <li>・ 県大図協研修会「手作りPOP入門」</li> <li>・ 全国遺跡報告総覧シンポジウム</li> <li>・ 神戸大学スキルアップ研修「窓口対応力向上研修」、「セルフケア研修」</li> <li>・ 第6回被災地図書館情報交換会</li> <li>・ 第13回レファレンス協働データベース事業フォーラム</li> <li>・ 国大図協シンポジウム「これからの大学図書館環境を考える」</li> <li>・ Alma ワークショップ</li> </ul>	国立国会図書館関西館、国立大学図書館協会、兵庫県大学図書館協議会、大阪大学、神戸大学ほか(主に近畿地区で開催されるもの)	各半日～1日	管理職を含め延べ62

上記に加え、附属図書館職員の知識習得を目的として内部研修を次のとおり開催した。

研修名と内容	日程	参加者数	備考
係長研修「NACSIS CAT/ILL 新システム構想について」 (H27 学術情報システム総合ワークショップ報告)	4/22	30	
海外派遣のための事前勉強会(4回)	5/30,6/30, 7/15,9/12	40	

附属図書館職員研修講演会 「UMass における学習支援と図書館の変革」	7/27	25	講師として米国よりシャロン・ドマイヤー氏を招聘
海外出張報告会(英国、韓国)	12/9	40	報告者:部長,係員 3 名
保存箱製作講座	12/28	9	

- ・ 大学文書史料室では、室員が講師となって、学内職員に対する文書管理の研修を次のとおり実施した。
  - ・「神戸大学新任教職員研修」の「法人文書管理について」のコマを担当（受講者数：134名）
  - ・「神戸大学文書管理者研修」（受講者数：39名）
  - ・大学文書史料室職員に対する研修：3回

## ＜業務の改善と効率化・合理化＞

### ① 業務の標準化・合理化

- ・係横断的なワーキンググループ（以下 WG）を組織し、業務の合理化及び質的向上を図った。平成 28 年度は、総合図書館資料選定委員会・情報リテラシー教育支援 WG・アウトリーチ WG（前年度のサービス企画 WG から改称）・業務改善 WG・展示 WG・次期図書館システム検討 WG が活動した。

### ② アウトソーシング

- ・雑誌製本業務、図書装備付納品、社会科学系図書館・医学分館・保健科学図書室の時間外開館業務と自然科学系図書館の土・日開館業務、電子化コンテンツの作成業務、廃棄図書搬出業務のアウトソーシングを実施した。また資産点検業務は、社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、人間科学図書館において計約 38 万冊のアウトソーシングを実施した。

### ③ 業務改善の検討

- ・全学の業務改善は、平成 26 年 10 月を起点として新たな枠組みで推進されている。附属図書館でも業務改善 WG を組織し取り組んでおり、半期ごとに各業務の現状の課題と対策を確認しつつ改善事項を報告している。平成 28 年度は、図書除却時の所蔵データ一括登録・削除における業務システムの機能改善、勤務時間管理簿のエクセル化、図書装備の合理化を実績として報告した。
- ・業務改善の一環として、かねてより懸案事項であった附属図書館事務部の組織改編の検討を行い、次年度より、社会科学系図書館 4 階と自然科学系図書館（情報システム係を除く）と医学分館に、グループ制を導入することとした。

## ◆評価と課題

学外の各種図書館関連研修、情報関連研修、専門主題に関わる研修に職員を派遣した。また、学内の学修・教育支援に関する講演会や安全衛生・メンタル関連の研修を職員に受講させた。その研修成果は、報告書の提出により他の職員の能力開発に役立っている。

ワーキンググループについては、具体的な業務目的を負ったものに絞って設置し、いずれも活発に活動し成果をあげている。時間外開館業務のアウトソーシングによる効率化は、本年度から自然科学系図書館の土・日開館を加え（平日の夜間は従来通り学生補佐員の雇用による）一歩進めた。

全学の業務改善については、ある程度の改善を達成したが、次年度以降も引き続きその推進が必要である。事務組織の改編はグループ制を導入してある程度実現したが、今後も業務の実情に即して、更なるグループ化も含めて検討を続けていく。

### (3) 予算及び財務会計業務

#### <平成 28 年度附属図書館予算・決算>

##### ① 経常運営費

- ・平成 28 年度当初予算 165,685 千円（修正後 163,185 千円）、決算額 161,717 千円であった。
- ・平成 27 年度の当初予算 173,607 千円 決算額 173,503 千円と比較して、予算（修正後）と決算額いずれも減額となった（予算額（修正後） H27 予算比 10,422 千円 6.0%減、決算額 H27 決算比 11,785 千円 6.8%減）。

##### ② 経常事業費

- ・平成 28 年度当初予算 123,510 千円（修正後 126,010 千円）、決算額 129,996 千円であった。
- ・平成 27 年度の当初予算 144,684 千円 決算額 151,456 千円と比較して、予算（修正後）と決算額いずれも大幅な減額となった（予算額（修正後） H27 予算比 18,674 千円 12.9%減、決算額 H27 決算比 21,460 千円 14.2%減）。
- ・平成 28 年度の学生用資料費は、当初配分 42,360 千円（修正後 45,860 千円）、決算額 46,163 千円（前年比 6,953 千円、13.1%減）の大幅減となった。これは運営費交付金の前年度比 9%減の影響により、図書館の経常運営費を最低限確保するために減額せざるを得なかったためである。大学文書史料室管理運営経費も要求額から 2.8%減額の 7,098 千円となった。

##### ③ 臨時的経費

- ・教育研究基盤資料整備費として確保した 3.59 億円（全学経費と間接経費）により、外国雑誌を含む電子ジャーナル・データベースの維持及び整備を実施した。
- ・学内ワースタディ実施経費（458 千円）により、総合・国際文化学図書館、人文科学図書館、人間科学図書館で SA（ステューデント・アシスタント）を雇用した。
- ・機能強化促進分（経済社会グローバル人材）経費（1,400 千円）により、各館室にグローバル関連図書を整備した。
- ・調査委託費（772 千円）により、社会科学系図書館書庫 A 棟、B 棟の外壁調査を実施した。

##### ④ その他の経費

- ・電子図書館事業である新聞記事文庫デジタル化について、「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」（8,700 千円）を獲得した。
- ・国文学研究資料館の「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク」構築のための経費により、画像撮影（2,911 千円）と資料修復（110 千円）を実施した。

※平成 28 年度附属図書館予算及び決算を巻末に添付する。

#### <図書資産の管理>

##### ① 図書資産点検

- ・本年度より第 3 期中期目標・中期計画期間となるにあたり、その 6 年間の資産点検計画を策定した。
- ・平成 28 年度の資産点検は、社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、人間科学図書館の 4 館で実施し、点検総冊数は 380,010 冊である。

### ② 不明資料の追跡調査

- 平成 25～27 年度資産点検時から不明となっている資料について、追跡調査を実施した。  
(資産点検時不明資料 2,154 点、追跡調査による発見資料 355 点、追跡調査後不明資料 1,799 点)

### ③ 不用決定

- 不明後 3 年以上経過している資料(平成 24 年度資産点検時からの不明資料)を不用決定した。(206 点、資産価格 1,125,611 円)
- 重複資料やオンラインで利用可能となった資料等を不用決定した。(22,396 点、資産価格 300,395,095 円)

## ◆評価と課題

平成 28 年度経常運営費・経常事業費の当初予算総額は 289,195 千円で、前年度の 318,291 千円より 9.1%、29,096 千円の大幅減額で、学生用資料費の大幅減額など非常に厳しい予算運営を余儀なくされた。

平成 29 年度は、機能強化促進係数影響分・KHAN2017 対応分及び人事院勧告影響見込分により、当初予算配分額は前年度から約 8.3%の減額と、さらに厳しいものになっている。学生用資料費の減額を 1.6%減(運営費交付金の機能強化促進計数の削減値)にとどめる方針としたため、他の経常経費を前年に増して縮小する必要に迫られている。

図書資産点検は、資産の効率的運用を図るために中期計画期間と同じ 6 年周期で一巡する計画のもと実施している。平成 28 年度は第 3 期中期計画期間(平成 28～33 年度)の初年度であり、その資産点検計画を策定した。それに従い、社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、人間科学図書館の 4 館において、約 38 万冊の図書資産点検をアウトソーシングで実施した。平成 25～27 年度資産点検時から不明となっている資料についても追跡調査を実施するとともに、「不明後 3 年以上経過している資料(平成 24 年度資産点検時からの不明資料)」について追跡調査及び不用決定を実施し、図書資産の管理を継続した。資料収容スペースの確保のため、集中的に資料整理作業を実施していた総合・国際文化学図書館の書庫については図書の床積みが解消し、ある程度目標を達成できた。引き続き全館で資料整理作業を完了し、資料収容スペースの確保に努めていく。

## (4) 施設整備・システム整備

### <各館室の施設整備・設備更新>

- 平成 28 年度における主な事項は、以下のとおりである。

総合・国際文化学図書館	書架増設、掃除機 1 台購入
社会科学系図書館	書庫 B 棟屋上防水シート補修、貴重書庫・マイクロ室空調修理、大閲覧室ブラインド新設、本館 2 階飾窓フィルム貼付
自然科学系図書館	屋上室外機風向改善工事、職員通用口電子錠・ドアノブ取替、書庫扉「温度ヒューズ付ドアクローザ」取付
人文科学図書館	マイクロフィルムスキャナ購入
人間科学図書館	カーペット張替、書庫扉取替、展示書架購入
経済経営研究所図書館	—
医学分館	2 階閲覧室の空調 3 台中 1 台更新、リフレッシュコーナーブラインド更新、プロジェクタ購入、書架見出板追加、館内掲示スタンド類増設、玄関マット更新

保健科学図書室	屋上防水工事、排水管の洗浄、窓・壁面、床下補修工事、AVブース更新
海事科学分館	分館長室空調更新、ワイヤレススピーカー/マイク購入、プロジェクタ購入、ラベルプリンタ購入

### <安全点検>

- ・ 附属図書館安全衛生会議を、構成単位である社会科学系図書館と自然科学系図書館と大学文書史料室の3館室のみならず、附属図書館全体の安全衛生事項の周知・報告の場として運用しており、平成28年度はメール回議にて3回開催した。
- ・ 安全衛生活動計画を策定し、週1回の衛生管理者による巡視を実施した。
- ・ また安全衛生活動計画において、年1回図書館独自の自衛消防・防災訓練の実施を計画し、2月から3月の間に全館室で実施した。特に社会科学系図書館においては、館内で火災が発生したとの想定で、職員の避難・館内アナウンス・初期消火行動の訓練を実施した。
- ・ 火元責任者による防火防災の自主点検を実施した。

### <情報機器の更新>

- ・ 情報基盤センター教育研究用計算機システムの更新（平成28年9月）により、教育用端末及び教育用プリンタが更新された。また、一部の教育用端末に、Adobe Creative Cloud (Illustrator, Photoshop など) を導入した。（総合・国際文化学図書館2台、自然科学系図書館2台、人間科学図書館1台）
- ・ 利用者用PC等の設置台数は次のとおりである。

	総・国	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
PC台数	46	41	38	25	19	1	22	14	16	222
教育用端末(*1)	(37)	(28)	(33)	(16)	(13)	(0)	(17)	(10)	(13)	(167)
蔵書検索用端末等(*2)	(9)	(13)	(5)	(7)	(6)	(1)	(5)	(4)	(2)	(52)
スタンドアロン	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(3)
貸出用PC	12	4	1	0	0	0	3	0	1	21
タブレット(ipad)	(2)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(1)	(9)
ノート	(10)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(12)
情報コンセント	80	19	9	18	9	0	30	2	12	179
無線LANAP(*3)	4	7	3	2	2	0	3	2	2	25

注) (\*1) 情報基盤センター教育研究用計算機システムの教育用端末

(\*2) 「図書館向けデジタル化資料送信サービス」「歴史的音源(れきおん)配信サービス」に対応する端末を含む

(\*3) 附属図書館内に情報基盤センターが設置

### <システム整備>

- ・ 図書館システムのリプレースが完了し、予定通り平成28年9月に運用を開始した。旧システムからの主な変更点は以下のとおりである。
  - 1) 図書館業務システムをバージョンアップし、機能強化を行った。(E-CatsLibrary Ver 4.0→Ver 5.0)
  - 2) OPAC(蔵書検索)のデザインを一新し、スマートフォンでの表示に対応した。
  - 3) SaaS型のディスカバリーサービス(Primo)を導入した。これにより、従来OPACで検索できた図書・雑誌・電子ブック・電子ジャーナルに加えて、これまではデータベースを使ったり専

用のページで検索したりする必要のあった雑誌論文や博士論文などの検索をワンストップで行うことができるようになった。

### <自動貸出装置等>

- ・ 自動貸出装置等の設置台数は次のとおりである。

自動貸出装置	全館室(研究所を除く)
入退館管理システム	全館室(研究所を除く)
BDS(無断持出防止装置)	全館室(研究所を除く)
24時間入退館管理システム	医学分館
セルフ式コピー機(コイン式等)	全館室

### ◆評価と課題

医学分館の空調設備については学内営繕費による更新を事業要求しているが、2階閲覧室の1台については緊急を要するため図書館予算で更新した。

医学分館と海事科学分館で、プロジェクタとワイヤレススピーカー/マイクを購入し、近年開催頻度の増したガイダンス・説明会の実施環境を向上させた。

平成29年度は更に厳しい予算状況となる。限られた範囲で適切に対応する必要がある。

今後の主な課題としては以下のものがある。

1. 自然科学系図書館外壁タイルについて、未施工箇所の改修が必要である。
2. 海事科学分館1階トイレが未改修で残っているが、老朽化も進んでおり改修が必要である。
3. 総合・国際文化学図書館書庫の照明器具は、老朽化しており更新が必要である。
4. 各館室の空調設備に故障が発生しており、利用者サービスや業務に支障をきたしているため更新が必要である。
5. 各館室で発生する雨漏りについては、引き続き調査・補修及び防水工事等の対応が必要である。
6. 海事科学分館のエレベーターが車椅子対応でなく老朽化も進んでおり改修が必要である。

これ以外にも、保健科学図書室の車椅子対応とトイレ配管の修理は、名谷キャンパスとして早急の対応が必要となっている。

神戸大学 LC 検討 WG の報告書に基づき、学習支援機能の強化のため、自然科学系図書館での LC 設置を概算要求している。また資料収容力強化とスペース効率向上のため、自然科学系図書館と六甲台1地区の高度専門国際人材育成拠点Ⅱ期における自動化書庫設置を概算要求しており、その計画の推進と実現が、現在の附属図書館における主要な課題の一つである。

システムについては、リプレースを大きなトラブルなく予定通り完了することができた。また、旧システムより導入金額を約30%削減することができた。今後はシステムの安定した運用の維持と、改善を要する点への対応が課題である。また、平成29年度中に予定されている次期キャンパス情報ネットワークシステム(KHAN2017)への更新、平成31年度中に予定されている次期会計業務システムへの更新について、円滑に移行できるよう対応する必要がある。

## (5) 図書館界での諸活動

### <国立大学図書館協会>

- ・ 「学術資料整備委員会」の委員を務めた(事務部長)。
- ・ 第63回総会(6/17)において、「国立大学図書館機能の強化と革新に向けて～国立大学図書館協会ビジョン2020～」が採択された。

- ・ 係員 1 名（経済経営研究所所属）が平成 28 年度国立大学図書館協会海外派遣事業（短期）に採択され、英国 Jisc、インペリアル・カレッジ・ロンドン、ロンドン大学バークベック校、オックスフォードブルックス大学を訪問調査した。  
（学内予算による同行 1 名、調査研究テーマ：英国の大学図書館における利用統計の活用事例に関する実態調査）

### <国立情報学研究所>

- ・ 係長 1 名が「学術認証運営委員会 図書館系サービス作業部会」委員を務めた。（平成 27 年度から継続）
- ・ 係員 1 名が「機関リポジトリ推進委員会ワーキンググループ 研修、広報作業部会」の協力員を務めた。
- ・ 7 月に設立した「オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)」に入会した。

### <兵庫県大学図書館協議会>

- ・ 平成 27 年度に引き続き、会長館、事務局として協議会の運営にあたった。  
研修事業においては、研修担当館として、下記のイベントを企画・実施した。
  - ・ 施設見学会（立命館大学衣笠キャンパス平井嘉一郎記念図書館）
  - ・ 研修会「図書館職員のための手作り POP 入門」（会場：神戸大学）
- ・ 機関リポジトリ情報交換メーリングリストの廃止を提案し、全会一致にて承認された。（通知は平成 28 年 3 月 9 日付、平成 28 年度総会にて報告）
- ・ 平成 27 年度の活動成果として、障害を持つ利用者への支援の取り組みについて、国際化対応への取り組みについて、図書館の評価について、事例報告と質疑応答を行った。活発に情報交換がなされ、今後の大学図書館の展開を模索する上でも貴重な情報共有ができた。
- ・ 県内の大学図書館にとどまらず、公共図書館や大学図書館近畿イニシアティブ加盟館とも連携強化を図っている。

### <研修等への講師・発表者の派遣>

- ・ 国立情報学研究所等が開催する研修や講習会に、平成 28 年度は次のとおり職員を講師・発表者として派遣した。

研修名	主催	会場	日程	講師等
大学図書館近畿イニシアティブ 初任者研修	大学図書館近畿イニシア ティブ	大阪大学	5/26-27	図書受入係長 (講師)
第 63 回国立大学図書館協会総 会	国立大学図書館協会	ホテルメトロポリタ ン仙台	6/16-17	雑誌情報係員 (海外派遣事業報告)
機関リポジトリ新任担当者研修	国立情報学研究所	松蔭女子学院大学	9/13-14	電子図書館係員 (講師)
第 18 回図書館総合展	図書館総合展運営委員会	パシフィコ横浜	11/8-10	電子図書館係員(機関リポジ トリ推進委員会による招聘)
第 6 回被災地図書館情報交換 会	神戸大学地域連携推進室	神戸大学	1/23	電子図書館係員 (報告)
第 13 回レファレンス協同デー タベース事業フォーラム	国立国会図書館関西館	国立国会図書館関 西館	2/17	情報管理課長補佐 (事例発表)

第 1 回 JPCOAR 総会	JPCOAR	一橋大学	3/8	電子図書館係員 (実施要員)
-----------------	--------	------	-----	-------------------

### <その他>

- ・ 近畿地区国立大学等職員採用図書系専門試験実施委員会の委員を務めた。
- ・ 近畿イニシアティブ運営委員会の委員を務めた。
- ・ 近畿イニシアティブ能力開発専門委員会の委員を務めた（情報サービス課長補佐）。
- ・ 国立国会図書館開催館主催の「海外日本語研修」のプログラムにおいて、館内見学とデジタルアーカイブに関する講義、情報交換会の内容で実習生を受け入れ、研修に協力した。（2月1日）

### ◆評価と課題

国立大学図書館協会や兵庫県大学図書館協議会の活動において、会員間で緊密な連携と協力を図ることによって、それぞれの図書館機能の向上を支援するとともに、学術情報資源の共同整備と相互利用を促進している。

平成 28 年度は兵庫県大学図書館協議会における企画委員会の当番館として、施設見学会、研修会を企画、実施した。いずれも参加者より非常に好評をいただき、地域の大学図書館活動に貢献できたと考えている。

研修事業について、講師を積極的に派遣することは、図書館諸団体の活動・運営に寄与するのみならず、講師として参加する職員の資質向上につながるものであり、大いに評価できる。今後も推進が期待される。

# 1. 達成度評価

(第3期中期目標・中期計画・年度計画管理表より)

全学中期目標/中期計画 (附属図書館担当部分のみ抜粋)	年度計画	自己評価	進捗/実績報告
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>1. 教育に関する目標</p> <p>(3) 学生への支援に関する目標</p> <p>○世界的教育研究拠点としてふさわしい、質の高い教育を実施するための体制を強化する。</p> <p>中期計画</p> <p>3-2: グローバル化やアクティブラーニングの推進など学部・大学院教育における機能強化を実施するため、関係部局・組織が連携した学修支援体制を整備し、ラーニングコモンズやICT教育基盤等の学修の場や設備の拡充、学修に必要な資料の体系的整備、及び学修に関する人的支援の拡充を進める。</p>	<p>・グローバル化やアクティブラーニングの推進、学士力養成を行うために、附属図書館や情報基盤センターが連携して構築する体系的な学修支援として、能動的学修を促進する設備・場の整備、電子的資料を含む学修に必要な図書館資料の体系的整備、情報リテラシー教育の拡充、図書館やラーニングコモンズを利用した学修支援を実施する。</p>	<p>IV</p>	<p>・学生用資料費として当初配分で約42,300千円を確保し、各館室の学生用資料やシラバス掲載資料等の整備を実施した。E-Study事業費は別枠として約5,300千円確保した。</p> <p>・学生用資料の充実のため、学生選書ツアーを6/9に実施した。</p> <p>・全学共通科目「情報基礎」(1年次必修)の1コマ(90分)を、附属図書館各館室の職員で構成する「情報リテラシー教育支援ワーキンググループ」のメンバー10名が担当し実施した。(前期計23回、2,627名受講)</p> <p>・学士力・研究力の養成に必要な人的支援の一環として、5月に全4回のライティングセミナーを鶴甲第一キャンパスLCで開催し、参加者が昨年度より倍増した。(延べ参加者137名、H27年度は全3回で計66名)</p> <p>・今年度よりクォーター制導入に伴い始まった初年次セミナーへの協力として、授業中の図書館見学を5学部に対し計28回(参加者596名)実施した。</p> <p>・上記以外にも、新入生を対象とした図書館ツアー・ガイダンス、留学生オリエンテーション、雑誌論文の探し方ガイダンス、専門講師によるデータベース操作説明会、教員等からの要望にもとづくオーダーメイドガイダンス等を実施した。(ライティングセミナーと初年次セミナーを含めて合計198回、2,238名参加 H29年2月末現在)</p> <p>・若手研究者・大学院生を対象に、学術英語スキルアップセミナーを開催した(参加者73名)</p> <p>・講義の担当教員と図書館が共同で作成したその内容理解に役立つ資料のリストを掲載するシラバス型バスファインダー「KULIP」を拡充し、教員への授業支援に寄与するとともに、学生に参考文献を幅広く提示することで学修支援を実施した。(平成28年度2月末現在、53ガイド、前年度末31件より13件増加で第3期中期目標期間の目標値達成)</p> <p>・自然科学系図書館にLC(Aタイプ)を設置するための検討に着手した。</p> <p>・各館室の施設・設備改善の一環として、医学分館の空調機器の一部を更新した。</p>
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>2. 研究に関する目標</p> <p>(2) 研究実施体制等に関する目標</p> <p>○研究戦略・計画の企画立案機能を強化するとともに、先端研究・文理融合研究の実施、育成及び支援の体制を充実させ、優秀な研究人材が集積する教育研究拠点としての地位を確立する。</p> <p>中期計画</p> <p>8-4: 分野融合・新領域創出等のグローバルな研究の実施を支援するため、電子ジャーナル等の学術情報の利用環境の維持と利用向上を促進するとともに、オープンアクセス等の学術情報流通の潮流を踏まえ、多様な研究成果をデジタル形態で保存し、国際的に発信する体制を強化する。</p>	<p>・外国雑誌を含む電子ジャーナル及びデータベース等の教育研究基盤資料の安定的な維持・提供に努め、「神戸大学学術成果リポジトリ」において雑誌論文や学位論文、教材や研究データ等多様なコンテンツを充実させ、附属図書館の研究支援機能及び情報発信機能を向上させる。</p>	<p>IV</p>	<p>・電子ジャーナルなどの全学共同利用する研究基盤資料を計画的・安定的に提供するためにH29年度整備費を前年度並に確保した。またH30年度に向けて検討のため他大学の実情調査を実施し執行部に報告した。</p> <p>・「学術成果リポジトリ」のコンテンツ収集に努めている。(登録総数:24,551件(H28年度末現在、本文閲覧可能なもの)、ダウンロード数:1,220,534件(H28年度))</p> <p>・オープンアクセスポリシーについて、素案を提示し、学内で調整の結果、H29年1月に学長裁定の上2月1日施行となった。</p> <p>・オープンアクセスの支援体制と、電子リソースの整備に係る利用統計の活用調査のため、各1名英国に派遣し、後日館内で出張報告会を実施した。</p> <p>・新図書館システムを稼働させた。9月1日にサービスイン。ディスプレイサービス(統合情報提供機能)の導入により、電子ジャーナルやデータベース、機関リポジトリ等へのアクセスを向上させ、デジタルアーカイブシステムのバージョンアップと画面デザインの一新により、機関リポジトリの機能を向上させた。図書館HPもスマートフォン表示対応を含むデザイン更新と機能改修により、利便性を向上させた。</p> <p>・収蔵スペースの有効活用を図るため、重複雑誌等の廃棄を実施した。(7館で計22,396冊廃棄)</p> <p>・資産点検における不明図書について毎年追跡調査を行い、不明期間が3年以上経過した資料の不用決定を実施した。(社会科学系図書館、保健科学図書室)</p> <p>・自然科学系図書館改修・増築計画の一環として自動化書庫の設置を計画し予算要求した。</p> <p>・広報・社会連携担当や地域連携推進室長等と事前準備を進めていた、神戸大学出版会を正式に設立することとなり、これに係る事務は附属図書館が担当することとなった。設立にあたり組織した出版会準備委員会に参加し、設立趣意書や関連規則等を策定し、出版と運営に係る予算の確保とその体制を財務部等と協力して整えた。</p>

全学中期目標/中期計画 (附属図書館担当部分のみ抜粋)	年度計画	自己評価	進捗/実績報告
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 3. 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標 ○教育研究を社会と協働して推進し、先端技術の開発や社会実装の促進、研究成果の社会還元においてもハブとなることを目指す。</p> <p>中期計画 10-4: 図書館が所蔵する、阪神・淡路大震災関連資料を網羅的に収集した「震災文庫」、他に現存しない記事を多数含む明治末から戦前の全文データベース「新聞記事文庫」等の特色ある資料を、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」や国会図書館等と連携しながら、電子的発信を含む多様な手法により公開し、社会及び地域への貢献を実施する。</p>	<p>・教育研究成果の社会還元を図るため、「震災文庫」や「新聞記事文庫」等の図書館所蔵資料や学内研究成果のデジタル化を推進し、デジタルアーカイブにおける公開を継続するとともに、図書館所蔵資料による資料展を開催する。</p>	<p>IV</p>	<p>・デジタルアーカイブ・システムのバージョンアップと共に検索画面デザインを一新し、機能と利便性を向上させた。9月1日にサービスイン。 ・電子図書館事業により、「震災文庫」の震災関係資料、「新聞記事文庫」などの経済関係資料及び学内研究成果等のデジタル化を推進し図書館HPで公開した。(震災デジタルアーカイブ、メタデータレコード、総数:287689件(H28年度末現在)、入力件数:4,883件(H28年度)) ・震災文庫における阪神・淡路大震災関係資料の収集・保存・公開及び、「人と防災未来センター」「兵庫県立図書館」との横断検索システムの構築や国会図書館と連携した東日本大震災アーカイブへのデータ提供等他機関との連携を継続中(震災文庫資料総数:56,197(H28年度末現在)、新規受入資料数:2,036(H28年度)) ・H29年度の予定だった、国文学研究資料館の構築する典籍データベースに収録公開のための古典籍電子化が、1年前倒しで予算措置されたため、医学分野の古典籍217点(541冊)の電子化を実施した。 ・国立公文書館アジア歴史資料センターと連携し、神戸開港文庫のテキスト化を実施することとなり、協定を進めた。 ・新聞記事文庫をテーマとし、それを通じて大正から昭和戦前期の神戸と阪神間の様子を紹介し、新聞記事文庫の特徴と意義の広報を目指した資料展「モダン神戸の光と影～新聞記事文庫データベースより～」を開催した(会場:社会科学系図書館展示ホール、10/14～12/20、アンケート回収137枚、目録配布518部)。 ・新聞記事文庫の紹介のため、図書館総合展のポスターセッションに出展した(11/8～10)。また国立国会図書館主催のフォーラムにて事例報告を行った(2/17)。 ・阪神・淡路大震災発生日にあわせ、震災文庫所蔵資料で阪神・淡路大震災の概要と復興や本学の対応等を紹介した平成26年度資料展「つたえる・つながる～阪神・淡路大震災20年～」をリバイバル展示した(会場:社会科学系図書館展示ホール、1/12～2/1) ・学内他部局による展示を社会科学系図書館展示ホールにて受入れた。 「災害と文化財保存の歴史地理学」(主催:人文学研究科地理学研究室、5/9～6/30、災害と復興や経験の伝承等をテーマに展示、地理学講座の授業成果) 「映画「海賊とよばれた男」写真展示特別展」(主催:総務部広報課、12/26～3/8※1/12以降は閲覧室手前通路に展示、ロケ地となった学内施設と主人公のモデルである本学卒業生出光佐三の紹介) 「神戸における海技者教育100年の歩み(前編)」(主催:海事博物館、3/6～4/6、海事科学部の前身川崎商船学校を中心に昭和戦前までの海技者教育について) ・一般市民への図書館開放や資料の館外貸出サービスを継続実施した。(実施館は総合・国際文化学図書館と海事科学分館、利用登録者と貸出冊数:253人/1,549冊、H27年度実績は251名/1,668冊)</p>
<p>IV自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標 2. 情報公開や情報発信等の推進に関する目標 ○社会への説明責任及び大学のブランディングの観点から、神戸大学の様々な活動及び成果等を国内外に広く効果的な手段で情報発信する。</p> <p>中期計画 26-1: 社会への説明責任の観点から、神戸大学における教育研究活動の状況や自己点検・評価に関する情報等を関係者にわかりやすく伝える形式で公表するとともに、大学ポートレートの活用や大学の歴史的文書等を一般利用に供するなど、積極的な情報発信を行う。</p>	<p>・特定歴史公文書等の受入から一般利用に供するまでの文書館専門業務及び職員研修を計画的かつ着実に実行するとともに、公文書管理法施行5年後見直しに対応して規程等の改正を検討する。また、一般利用の促進を図るため、展示会の開催、所蔵資料のデジタル化、国立公文書館との連携による横断検索目録の充実等を行う。</p>	<p>III</p>	<p>・平成28年度事業計画に基づき、全学から移管された歴史公文書等721件の受入れを4月から6月に行った。原則受入れ後1年以内に、一般の利用に供するまでの専門業務を実施し、平成29年1月に利用を開始した。 ・文書館専門業務に必要な知識技能を習得及び向上させるため、室員研修を3回実施した。 ・文書管理従事者に必要な専門的知識を習得させるため、文書管理者研修を2月に実施した。 ・公文書管理法施行5年後見直しに関する内閣府公文書管理委員会の検討報告書(平成28年3月23日)を踏まえ、課題の明確化及び必要な体制整備の実現を図るための提言として「附属図書館大学文書史料室の体制整備について」(平成28年5月13日大学文書史料室運営会議承認)を取りまとめた。 ・神戸大学史についての常設展を実施するとともに、一般のニーズ等を踏まえて神戸開港150年記念に伴う特別展「近代にみる港町の神戸大学」1回(会場:百年記念館1階展示ホール(10/27-11/11))及び巡回展3回(会場:海事博物館(11/28-12/14)、東京六甲クラブ(1/16-1/26)、社会科学系図書館展示ホール(2/6-2/24))を開催した。 ・利用度の高い神大紛争関係刊行物3冊227コマのデジタル画像を作成し、平成29年3月にインターネットでの提供を開始した。 ・国立公文書館など全国の公文書館等全12館との横断検索による連携を充実させるため、目録情報2,978件を追加提供した。 ・大学史関連授業2科目計94回、同窓会主催講演会1回、公開シンポジウム講演会1回、インターネットラジオ出演1回、新任教職員研修1回に講師を派遣した。大学の公式行事の場で、大学史と公文書管理の専門職の立場から職能を生かし解説を担当することで、本学の歴史を広く正しく説明・発信することに貢献した。</p>

附属図書館蔵書・受入等の現況(平成28年度)

		総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計		
蔵書	蔵書数 (冊)	496,825	1,382,547	483,417	311,210	341,692	283,206	152,957	60,797	260,636	3,773,287		
	和洋区分	和漢書	355,345	661,990	257,261	196,572	265,201	125,218	70,348	52,051	202,058	2,186,044	
		洋書	141,480	720,557	226,156	114,638	76,491	157,988	82,609	8,746	58,578	1,587,243	
	遊及状況	入力済	446,454	1,251,484	343,520	269,581	284,331	207,405	94,739	60,311	260,636	3,218,461	
		未入力	50,371	131,063	139,897	41,629	57,361	75,801	58,218	486	0	554,826	
	所蔵雑誌数 (タイトル数)	1,942	16,592	5,507	4,137	3,736	6,481	3,085	1,021	3,454	45,955		
和洋区分	国内雑誌	1,084	6,569	2,509	3,196	2,546	2,844	1,626	822	2,296	23,492		
	外国雑誌	858	10,023	2,998	941	1,190	3,637	1,459	199	1,158	22,463		
図書受入	受入図書数 (冊)	3,740	3,696	14,283	4,299	3,794	3,482	1,287	1,652	1,293	2,044	39,570	
	和洋区分	和漢書	3,314	2,435	8,988	3,161	2,857	3,026	996	1,547	1,223	1,839	29,386
		洋書	426	1,261	5,295	1,138	937	456	291	105	70	205	10,184
	取得手段	購入(一般財源)	3,623	2,118	6,089	2,004	1,710	1,875	470	884	713	1,519	21,005
		補助金による購入	85	1,194	4,725	945	1,494	1,162	424	387	225	243	10,884
		一般寄贈	0	329	1,508	660	320	166	250	141	282	110	3,766
		再受入	0	0	88	4	16	0	0	0	0	0	108
		製本編入	32	55	1,873	454	254	279	143	240	73	172	3,575
		所属換	0	0	0	232	0	0	0	0	0	0	232
	取得目的	学生用図書	3,375	328	3,728	1,425	499	981	209	833	886	1,405	13,669
		図書館備付	158	853	4,970	866	1,523	641	594	381	73	281	10,340
		研究室備付	207	2,515	5,585	2,008	1,772	1,860	484	438	334	358	15,561
	除却・移譲等による減 (冊)	5,493		2,256	12,272	842	2,150	384	196	335	304	24,232	
	和洋区分	和漢書	2,584		922	5,905	770	1,728	358	121	310	101	12,799
		洋書	2,909		1,334	6,367	72	422	26	75	25	203	11,433
	所属換による減 (冊)	232		0	0	0	0	0	0	0	0	232	
	和洋区分	和漢書	10		0	0	0	0	0	0	0	10	
		洋書	222		0	0	0	0	0	0	0	222	
	年間増加数 (冊)	1,711		12,027	-7,973	2,952	1,332	903	1,456	958	1,740	15,106	
	和洋区分	和漢書	3,155		8,066	-2,744	2,087	1,298	638	1,426	913	1,738	16,577
洋書		-1,444		3,961	-5,229	865	34	265	30	45	2	-1,471	
雑誌受入	受入雑誌数 (タイトル数)	107	203	2,237	635	1,225	499	651	464	159	378	6,558	
	和洋区分	国内雑誌	98	168	735	413	1,050	457	396	330	132	304	4,083
		外国雑誌	9	35	1,502	222	175	42	255	134	27	74	2,475
	取得手段	購入(一般財源)	107	72	1,976	456	329	227	291	173	97	147	3,875
		補助金による購入	0	0	20	6	0	0	0	44	0	2	72
		一般寄贈	0	131	241	173	896	272	360	247	62	229	2,611
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取得目的	学生用雑誌	92	13	27	132	22	266	0	154	92	120	918
		図書館備付	5	163	2,055	145	1,203	122	639	247	62	233	4,874
		研究室備付	10	27	155	358	0	111	12	63	5	25	766
その他資料受入	受入新聞数 (タイトル数)	7	0	20	13	6	8	9	5	3	12	83	
	和洋区分	国内新聞	6	0	16	11	4	8	5	4	3	12	69
		外国新聞	1	0	4	2	2	0	4	1	0	0	14
	取得手段	購入	6	0	20	13	6	8	9	5	3	11	81
		寄贈	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	データベース(年間契約点数)	16	0	7	1	0	0	0	5	2	0	31	
電子ジャーナル(利用可能数)					26,061						26,061		
資料購入費	一般財源資料費	376,460,879	13,662,806	158,861,362	58,373,090	20,269,465	13,330,580	22,184,420	42,732,947	9,681,088	10,770,152	726,326,789	
	図書館セグメント	学生用資料費	8,306,288	2,392,957	8,196,667	10,611,993	2,465,041	3,164,569	844,184	4,357,990	2,921,424	2,901,963	46,163,076
		その他資料費	365,419,421	0	31,869,753	69,075	54,077	82,717	0	121,782	68,336	34,917	397,720,078
	部局セグメント	館室備付	1,006,229	4,679,195	107,598,127	3,981,914	13,323,629	5,877,331	21,167,480	36,648,551	5,925,519	6,699,980	206,907,955
		研究室備付	1,728,941	6,590,654	11,196,815	43,710,108	4,426,718	4,205,963	172,756	1,604,624	765,809	1,133,292	75,535,680
	その他の財源 補助金等	6,704,678	8,077,401	43,686,851	14,550,413	12,995,027	5,181,906	1,964,633	6,941,079	879,755	2,287,417	103,269,160	
	図書購入費	9,226,853	16,961,936	79,803,591	17,390,582	21,462,976	10,637,311	7,705,278	8,456,581	4,136,179	7,601,884	183,383,171	
	和洋区分	和漢書	7,689,830	8,624,199	32,038,858	9,970,481	14,026,483	7,791,877	3,436,181	7,089,767	3,433,979	5,299,927	99,401,582
		洋書	1,537,023	8,337,737	47,764,733	7,420,101	7,436,493	2,845,434	4,269,097	1,366,814	702,200	2,301,957	83,981,589
	雑誌購入費	18,133,216	1,716,029	101,499,085	45,386,424	7,537,781	4,998,127	15,520,069	29,143,745	5,378,755	4,717,143	234,030,374	
	和洋区分	国内雑誌	1,304,393	422,470	9,887,289	4,763,938	1,166,893	2,212,622	3,624,964	3,725,809	1,708,414	1,275,520	30,092,312
		外国雑誌	16,828,823	1,293,559	91,611,796	40,622,486	6,370,888	2,785,505	11,895,105	25,417,936	3,670,341	3,441,623	203,938,062
	新聞購入費	303,180	0	1,994,918	626,890	254,736	222,840	503,177	254,736	152,184	507,916	4,820,577	
	電子資料費	355,136,959	0	10,488,869	1,916,917	0	0	0	10,169,026	590,056	12,833	378,314,660	
	その他の資料購入費	365,349	3,062,242	8,761,750	7,602,690	4,008,999	2,654,208	420,529	1,649,938	303,669	217,793	29,047,167	
	資料購入費計	383,165,557	21,740,207	202,548,213	72,923,503	33,264,492	18,512,486	24,149,053	49,674,026	10,560,843	13,057,569	829,595,949	
	電子コンテンツ作成費					5,229,291						5,229,291	
製本費		206,712	4,450,248	1,078,704	603,504	662,904	339,768	570,240	173,448	419,212	8,504,740		

\* 所蔵雑誌数は雑誌包括所蔵数から誌名変遷数を引いた数値とする(平成23年度変更)

附属図書館サービス業務の現況(平成28年度)

		総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計	
施設	施設面積合計(m <sup>2</sup> )	3,558	10,313	3,287	1,288	1,474	1,084	1,612	808	2,170	25,594	
	現行用途別(m <sup>2</sup> )	サービススペース	1,954	2,125	1,577	664	538	141	838	603	719	9,159
		書庫スペース	1,208	5,771	449	535	714	887	431	71	1,051	11,117
		事務スペース	130	627	351	48	89	27	163	35	159	1,629
		その他	266	1,790	910	41	133	29	180	99	241	3,689
	閲覧座席数	閲覧座席数	389	411	266	121	153	24	220	88	170	1,842
		上のうち、教員用	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	書架収容力	棚板延長(m)	12,285	48,605	10,616	8,016	7,857	6,833	6,268	1,792	7,258	109,530
収容可能冊数		341,300	1,350,100	294,900	222,700	218,300	189,800	174,100	49,800	201,600	3,042,600	
利用者端末台数		46	41	38	25	19	1	22	14	16	222	
利用者	利用対象者総数	5,182	4,510	5,800	835	1,369	62	2,798	977	1,301	22,834	
	利用者別	学部学生	4,281	2,168	2,397	371	802	0	591	513	756	11,879
		大学院生	218	1,303	1,810	238	299	0	532	280	188	4,868
		教職員	373	536	1,438	163	191	61	1,562	142	225	4,691
		その他	84	47	11	8	4	1	88	4	28	275
		学外登録者総数	226	456	144	55	73	0	25	38	104	1,121
内訳: 卒業生761、放送大学等107、一般市民 253												
開館入館	開館日数	年間	287	331	313	282	277	238	288	282	282	2,580
		土曜(内数)	36	47	36	36	36	0	50	36	36	313
		休日(内数)	13	46	38	8	8	0	0	8	8	129
	時間外等開館時間数	平日時間外開館	801.0	1,048.5	801.0	712.0	712.0	0.0	944.0	712.0	570.0	6,300.5
		土曜開館	288	423	288	288	288	0	400	288	288	2,551
		休日開館	104	414	304	64	64	0	0	64	64	1,078
	入館者数	年間入館者総数	272,216	201,080	108,085	85,164	67,248	5,255	114,748	52,620	27,544	933,960
		(内訳)時間内(含:土日)	239,595	175,795	91,642	72,147	60,152	5,255	74,567	45,654	25,427	790,234
		平日時間外	32,621	25,285	16,443	13,017	7,096	0	19,285	6,966	2,117	122,830
		閉館時(無人)	-	-	-	-	-	-	20,896	-	-	20,896
		土曜(内数)	5,532	15,832	5,535	3,133	1,290	0	5,003	2,326	967	39,618
		休日(内数)	1,936	11,076	5,520	650	335	0	0	623	297	20,437
		学外者(内数)	5,954	14,526	3,597	1,679	1,800	81	2,113	1,023	1,663	32,436
(内訳)卒業生		1,269	6,934	1,195	720	1,110	18	895	215	301	12,657	
他大学生・研究者等一般市民	944	2,329	1,123	280	112	44	355	194	97	5,478		
		3,741	5,263	1,279	679	578	19	863	614	1,265	14,301	
貸出	貸出総冊数	75,826	65,769	40,780	22,720	25,411	1,703	10,194	15,591	20,863	278,857	
	利用者別	学生	43,823	20,432	24,646	6,474	11,223	203	6,026	9,972	12,573	135,372
		院生	19,604	31,635	12,663	12,311	11,278	577	1,121	3,386	4,869	97,444
		教員	5,330	5,684	1,612	2,733	1,354	781	490	1,186	1,359	20,529
		職員	4,440	3,274	1,020	696	972	127	2,333	819	1,281	14,962
		その他	143	4	2	0	54	0	12	0	11	226
		学外者総数	2,486	4,740	837	506	530	15	212	228	770	10,324
		卒業生(内数)	1,088	2,554	548	496	370	13	208	228	246	5,751
一般市民(内数)	1,051	-	-	-	-	-	-	-	498	1,549		
参考調査	参考調査件数	2,856	3,772	2,845	2,738	2,548	411	2,133	1,692	1,747	20,742	
	利用者別	学生	2,601	2,226	2,301	2,231	2,220	153	818	1,216	1,063	14,828
		教職員	102	226	117	209	310	169	799	135	80	2,147
		学外者	153	1,320	427	298	18	89	516	341	604	3,766
複写相互利用	来館複写件数	2,859	5,208	6,532	6,634	1,314	2,337	5,703	1,956	346	32,889	
	利用者別	学内者	2,345	4,493	4,709	6,392	1,176	2,026	3,541	1,274	241	26,197
		学外者	514	715	1,823	242	138	311	2,162	682	105	6,692
	学内相互利用	ILL文献複写 受付	46	134	60	186	100	38	99	72	94	829
		ILL文献複写 依頼	404	143	58	92	144	7	44	79	12	983
	図書配送	発送申込冊数	10,113	7,603	2,154	2,380	4,538	484	606	1,380	3,078	32,336
		受取申込冊数	6,156	5,354	4,368	9,223	3,554	307	587	887	1,900	4,361
		申込者数	1,050	863	823	677	445	32	120	164	187	4,361
	学外相互利用	ILL文献複写 受付	176	3,023	1,089	456	382	188	1,392	604	180	7,490
		ILL文献複写 依頼	778	2,007	481	778	918	9	575	812	77	6,435
		ILL現物貸借 受付	517	1,546	149	563	228	25	17	9	65	3,119
ILL現物貸借 依頼		299	385	140	600	171	16	8	13	8	1,640	
海外ILL	文献複写 受付	0	47	0	0	0	0	1	0	0	48	
	文献複写 依頼	0	0	2	9	0	0	4	0	2	17	
	現物貸借 受付	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	
	現物貸借 依頼	0	1	0	5	0	0	0	0	0	6	

電子的情報サービスの現況(平成28・2016年度)

※「電子ジャーナルアクセス状況」「データベースアクセス状況」は次年度より年度統計とするため、ここでは15か月分を掲載。

電子ジャーナルタイトル数  
26,189(洋:24,833+和:1,356)

電子ジャーナルアクセス状況 ※基盤整備費にかかるもの

フルテキストへのアクセス数

	2016.1	2016.2	2016.3	2016.4	2016.5	2016.6	2016.7	2016.8	2016.9	2016.10	2016.11	2016.12	2017.1	2017.2	2017.3	合計
ACS	6,303	5,805	4,760	6,346	8,061	8,016	8,051	4,506	5,838	7,807	7,712	5,924	5,862	5,497	4,024	92,512
APS	1,572	1,488	658	706	852	961	858	722	817	1,070	850	1,046	1,495	1,177	1,132	15,404
Cambridge UP	591	731	380	502	528	552	516	346	447	761	478	634	736	563	694	8,459
Elsevier ScienceDirect	50,651	42,593	36,218	45,365	51,810	57,442	41,926	36,621	40,180	47,447	49,515	43,444	46,150	43,373	34,961	667,696
HeinOnline	730	586	536	489	682	577	527	1,642	851	624	764	1,044	580	594	358	10,584
IEEE CSDL	36	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48
JSTOR	3,665	2,569	2,543	3,761	3,595	3,464	3,118	2,022	2,181	3,062	3,542	3,632	3,515	2,544	2,472	45,685
Nature	8,751	7,744	6,962	7,830	8,513	9,808	8,106	6,848	7,805	9,228	6,455	8,195	10,056	7,570	7,515	121,386
Ovid	1,155	967	839	948	996	954	893	742	779	1,052	844	777	807	859	731	13,343
Oxford UP	3,746	3,273	2,785	3,305	3,762	4,462	3,569	3,009	3,070	3,661	3,461	3,410	4,480	4,637	3,258	53,898
Science Online	1,152	1,065	788	1,224	1,360	1,490	1,274	1,091	1,024	1,388	1,376	1,279	1,490	1,164	1,117	18,282
SpringerLINK	7,450	6,384	5,130	6,715	7,480	7,759	8,441	6,973	6,938	8,499	8,778	8,254	8,743	7,945	6,590	112,079
Wiley Online Library	12,158	10,778	8,935	11,880	13,430	12,992	12,824	10,808	11,280	13,466	14,488	12,968	14,868	12,617	10,713	184,205

導入データベース数 ※図書館HP「データベース一覧」より(一般公開分を除く)

全学利用	44	WWW7アクセス(外部サーバ:40)(内部サーバ:4:IMF統計関係)
キャンパス限定(医学)	5	医学4(医中誌、EBMR、MEDLINE、Up to date) 保健1(最新看護索引Web)

データベースアクセス状況 ※基盤整備費およびe-study資料費にかかるもの

各項上段がセッション数、下段(カッコ)が検索数

	2016.1	2016.2	2016.3	2016.4	2016.5	2016.6	2016.7	2016.8	2016.9	2016.10	2016.11	2016.12	2017.1	2017.2	2017.3	合計
Business Source Premier	471 (722)	342 (522)	374 (516)	495 (824)	794 (1,496)	686 (1,353)	578 (1,129)	401 (645)	561 (653)	727 (868)	727 (767)	678 (1,180)	488 (669)	357 (459)	373 (434)	8,000 (12,237)
CINAHL	26 (138)	18 (74)	30 (205)	38 (189)	71 (235)	130 (553)	92 (306)	76 (219)	164 (270)	192 (322)	180 (337)	64 (100)	75 (154)	116 (194)	76 (211)	1,348 (3,507)
CINii	6,765 (20,388)	4,795 (15,893)	3,597 (10,721)	6,647 (20,337)	8,484 (27,373)	7,704 (24,579)	7,714 (24,471)	4,632 (15,708)	3,968 (12,353)	7,372 (22,885)	6,651 (21,221)	5,965 (20,310)	6,010 (19,504)	3,838 (11,407)	3,165 (9,999)	87,307 (277,149)
EconLit	85 (407)	42 (196)	67 (263)	85 (322)	100 (385)	79 (432)	164 (414)	89 (285)	183 (328)	223 (344)	164 (313)	90 (164)	108 (322)	124 (213)	97 (268)	1,700 (4,656)
Index to Legal Periodicals & Books(ERSObook)	20 (111)	9 (41)	10 (70)	8 (31)	29 (115)	22 (108)	47 (73)	34 (71)	130 (134)	172 (190)	103 (114)	58 (80)	77 (87)	107 (96)	98 (103)	924 (1,424)
JCR	88 (104)	83 (76)	97 (124)	97 (90)	64 (79)	127 (198)	75 (101)	73 (90)	62 (57)	117 (53)	175 (67)	168 (132)	154 (75)	93 (59)	65 (35)	1,538 (760)
JDreamIII	166 (403)	180 (401)	150 (375)	507 (1,086)	225 (550)	337 (1,131)	159 (525)	173 (551)	114 (445)	292 (688)	223 (639)	158 (557)	117 (414)	140 (482)	129 (542)	3,070 (8,789)
KOD(研究社オンライン-ディクショナリー)	37	53	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90
Lexis/Nexis.com	(273)	(68)	(46)	(66)	(258)	(208)	(82)	(26)	(87)	(63)	(119)	(140)	(433)	(278)	(171)	(2,318)
MAGAZINEPLUS	92 (135)	78 (145)	69 (119)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	239 (399)
MathSciNet	2,987	4,251	3,736	8,147	3,067	2,847	3,183	2,269	3,241	3,805	2,652	2,489	3,963	2,737	3,178	52,552
OECD iLibrary	67	66	19	54	47	69	119	55	37	108	52	79	40	32	22	866
PhycARTICLES	197 (948)	104 (341)	155 (498)	195 (607)	247 (858)	216 (685)	285 (855)	149 (517)	297 (563)	408 (703)	392 (771)	370 (697)	311 (1,060)	251 (558)	246 (548)	3,823 (10,209)
PhycINFO	128 (948)	59 (326)	68 (429)	91 (520)	128 (830)	103 (618)	165 (792)	101 (494)	235 (591)	346 (665)	336 (749)	267 (622)	236 (943)	207 (509)	190 (543)	2,660 (9,579)
Proquest, dissertations & Theses Complete	12 (25)	5 (10)	5 (22)	10 (31)	10 (24)	7 (21)	11 (38)	8 (18)	10 (51)	14 (50)	19 (65)	19 (43)	11 (29)	5 (19)	8 (17)	154 (463)
Readers Guide to Periodical Literature (RCSObook)	31 (137)	12 (51)	11 (76)	10 (30)	47 (166)	30 (142)	46 (68)	37 (75)	132 (137)	173 (191)	103 (114)	58 (82)	63 (87)	85 (96)	55 (111)	893 (1,563)
SciFinder	550 (2,574)	545 (3,088)	471 (2,344)	850 (3,810)	693 (3,205)	1,723 (12,505)	921 (4,574)	602 (2,999)	872 (4,232)	918 (4,251)	891 (3,816)	792 (3,737)	810 (3,736)	764 (3,552)	444 (2,535)	11,846 (60,958)
Web of Science Core Collection	1,241 (4,465)	923 (2,908)	937 (3,346)	1,468 (5,801)	1,526 (5,848)	1,567 (6,455)	1,747 (6,903)	1,791 (7,358)	1,722 (7,179)	2,271 (10,136)	2,134 (9,675)	1,750 (7,952)	1,922 (9,094)	1,897 (9,535)	1,226 (4,852)	24,122 (101,508)
Westlaw Next	182 (281)	288 (628)	144 (379)	362 (912)	252 (452)	425 (1,225)	287 (1,081)	162 (609)	269 (795)	261 (829)	370 (1,092)	471 (1,402)	370 (1,573)	554 (969)	199 (784)	4,373 (13,011)
医学中央雑誌	3,338 (7,216)	3,442 (8,603)	3,297 (8,886)	4,521 (12,796)	4,828 (11,511)	5,242 (11,934)	3,981 (9,194)	3,533 (7,494)	4,349 (9,320)	4,622 (10,254)	4,573 (10,222)	3,258 (7,493)	3,533 (7,851)	3,400 (8,567)	3,730 (8,768)	59,647 (140,109)
人間IIビジュアル	814 (13,819)	437 (5,449)	368 (4,472)	496 (5,877)	602 (9,671)	634 (10,037)	582 (7,137)	558 (7,017)	319 (5,247)	547 (8,759)	593 (9,759)	680 (12,506)	818 (10,497)	572 (9,213)	541 (44,658)	8,561 (164,118)
ざっさくプラス	—	—	—	50 (89)	56 (124)	29 (99)	61 (199)	35 (84)	7 (30)	14 (30)	20 (82)	17 (49)	17 (171)	12 (121)	18 (188)	336 (1,266)
ジャパンナレッジLib	742 (6,465)	428 (2,781)	369 (2,492)	830 (8,079)	1,301 (12,728)	1,249 (9,312)	1,222 (10,061)	468 (3,280)	443 (3,379)	1,106 (12,087)	1,203 (11,428)	1,167 (10,989)	998 (9,047)	616 (4,845)	372 (4,212)	12,514 (111,185)
ナクソス・ミュージック・ライブラリー	456	502	787	439	653	505	462	473	368	351	218	292	371	288	218	6,383
日経子レコン	313,182	88,854	109,135	245,555	257,166	200,845	170,456	159,471	147,729	172,712	206,952	254,627	230,180	117,409	65,868	2,740,141
毎葉	426 (18,383)	249 (7,461)	166 (4,547)	428 (10,836)	363 (13,255)	706 (23,881)	436 (11,117)	425 (13,251)	222 (18,146)	307 (12,616)	460 (32,233)	436 (49,907)	409 (16,592)	288 (10,480)	294 (14,233)	5,615 (256,918)
メディカルオンライン	5,272	4,744	5,135	5,071	5,888	6,858	5,018	4,301	5,077	5,597	5,606	4,889	5,639	6,128	6,082	81,305
ヨミダス歴史館	956	408	274	322	450	416	408	490	336	480	524	646	749	565	849	7,873

※情報は統計データ未公開

図書館ホームページ、OPAC等アクセス統計

	2016.4	2016.5	2016.6	2016.7	2016.8	2016.9	2016.10	2016.11	2016.12	2017.1	2017.2	2017.3	合計
図書館トップページ	56,569	75,601	63,025	61,404	51,985	—	40,044	40,487	37,841	39,170	33,167	26,524	525,817
OPAC延べ検索回数	154,161	194,153	170,132	173,256	114,284	196,364	248,275	292,357	187,161	193,049	166,652	214,817	2,304,661
震災文庫トップページ	1,369	1,535	1,766	1,511	1,113	945	729	736	733	614	410	666	12,127
→うち学内	153	164	278	146	148	620	410	316	368	386	206	326	3,521
→うち学外	1,216	1,371	1,488	1,365	965	325	319	420	365	228	204	340	8,606
新聞記事文庫トップページ	5,306	6,014	6,714	6,315	6,160	3,942	2,946	2,882	2,897	2,177	2,109	2,274	49,736
→うち学内	162	220	443	316	337	2,872	1,988	1,723	1,709	1,327	1,312	1,256	13,665
→うち学外	5,144	5,794	6,271	5,999	5,823	1,070	958	1,159	1,188	850	797	1,018	36,071

※システム更新により「図書館トップページ」9月分は数値なし

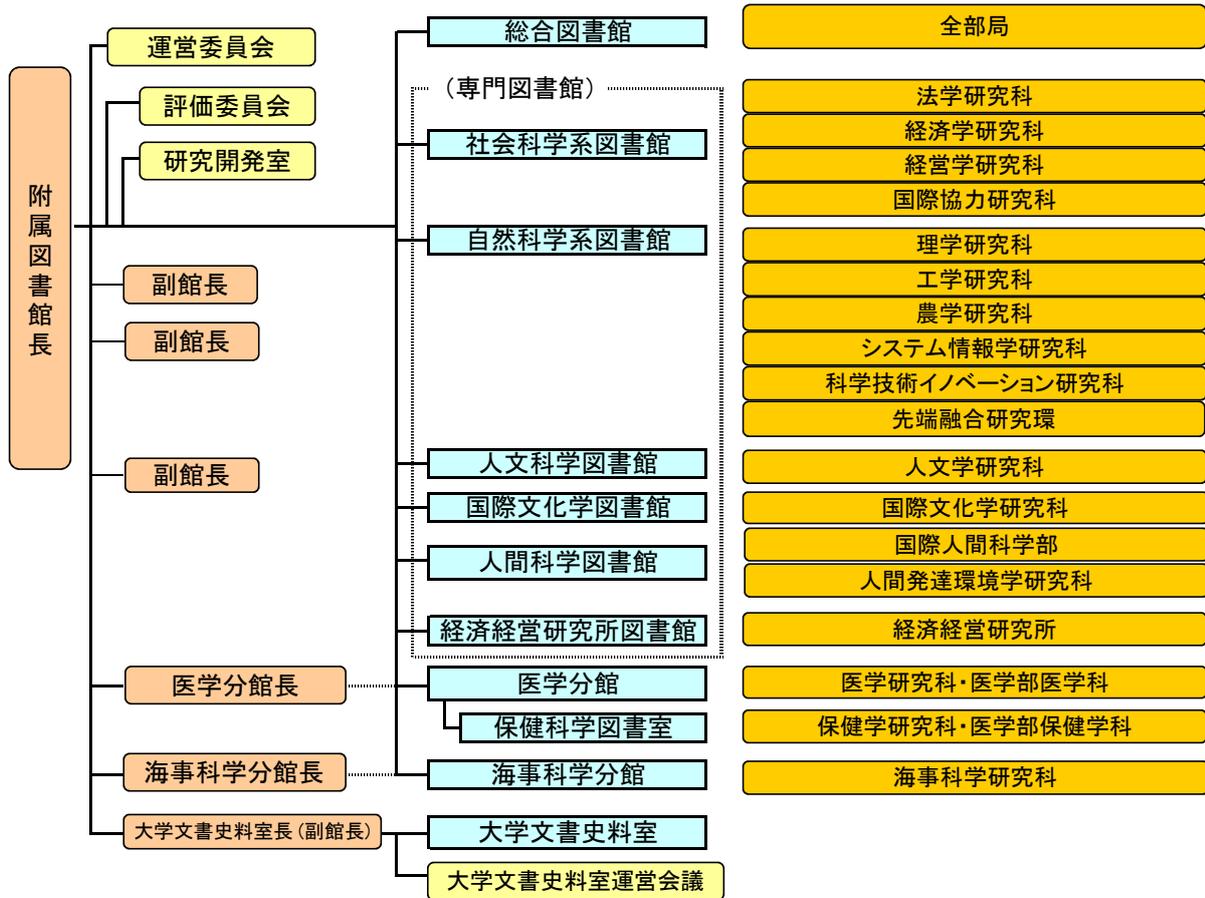
リンクリゾルバ(SFX)利用統計

	2016.4	2016.5	2016.6	2016.7	2016.8	2016.9	2016.10	2016.11	2016.12	2017.1	2017.2	2017.3	合計
電子リソースアクセス数	17,537	19,873	20,007	16,703	12,079	13,648	16,515	16,329	13,891	13,979	12,304	11,018	183,883
電子リソースリストDBからのアクセス数	4,119	5,403	5,089	4,029	3,414	3,303	3,860	3,400	2,508	3,519	2,581	3,200	44,425
→フルテキスト	8,460	10,105	9,949	7,410	6,163	6,852	8,046	7,548	6,721	6,795	5,893	5,809	89,751
→所蔵検索数	1,211	1,124	1,453	1,398	779	1,456	2,350	2,376	1,743	1,508	1,142	1,027	17,567
→文献複写依頼	349	328	304	249	206	340	318	319	231	175	204	205	3,228

※アクセス数:電子リソースリストやDBからのSFXリンクアイコン総アクセス数、所蔵検索数:OPAC、Webcatのアクセス回数  
各DB(CINii、WoS、JDreamIII、PubMed、医中誌など)へのSFXのリンク設定

# 附属図書館組織

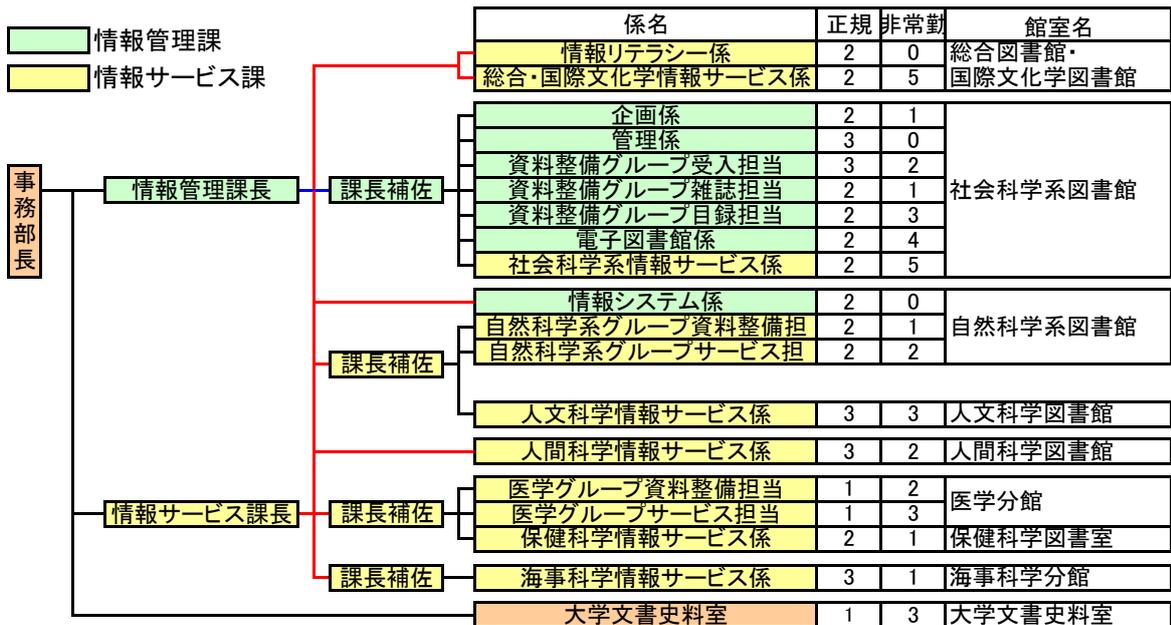
(平成29年7月現在)



各専門図書館、分館及び保健科学図書室に、各館(室)の図書委員会を置く。

# 事務組織と職員配置

(平成29年7月現在)



附属図書館 正規職員46名 非常勤職員36名  
 大学文書史料室 特命職員 1名 非常勤職員 3名  
 \* 非常勤職員数は、夜間開館要員等、特定事業に関わるものを除く

経済経営研究所事務長	研究所図書係	3	0	経済経営研究所図書館
------------	--------	---	---	------------

## 平成28年度附属図書館諸会議一覧

### <附属図書館運営委員会>

第1回： 6月29日（水）15:10～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

#### 協議事項

- (1) 平成27年度決算について
- (2) 平成28年度電子図書館事業について
- (3) 平成28年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) デジタルコンテンツ削除依頼について
- (6) その他

#### 報告事項

- (1) 2017年外国雑誌購読調査について
- (2) Wiley Online Book トライアル結果について
- (3) 大学文書史料室報告について
- (4) 平成27事業年度に係る業務の実績について
- (5) 図書館システムの更新について
- (6) 学生選書ツアー実施報告
- (7) 平成28年度前期図書館ガイダンスについて
- (8) 平成28年度協同学修シリーズ実施報告
- (9) 熊本地震への対応について
- (10) 各図書館・室報告について
- (11) その他

第2回： 7月21日（木）～26日（火）（メール回議）

#### 審議事項

- (1) 神戸大学附属図書館規則の一部改正について
- (2) 神戸大学附属図書館運営委員会規程の一部改正について

第3回： 11月17日（木）10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

#### 協議事項

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 平成28年度附属図書館予算の修正について
- (3) 資料の不用決定について
- (4) その他

#### 報告事項

- (1) 外国雑誌センターでの購入誌について
- (2) 各部局等年次計画の進捗状況の報告について
- (3) 平成28年度附属図書館資料展について
- (4) 平成28年度後期図書館ガイダンスについて
- (5) 書評・キャッチコピーコンテストについて
- (6) 各図書館・室報告について
- (7) 大学文書史料室報告について
- (8) その他

第4回： 1月30日（月）13:20～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成29年度附属図書館予算要求について
- (2) 平成29年度学生用資料費について
- (3) 平成29年度E-Study資料について
- (4) 平成29年度における附属図書館サービスの変更について
- (5) 総合図書館学生用資料整備計画及び選定基準の改定について
- (6) 神戸大学機関リポジトリ運用指針の改定について
- (7) その他

報告事項

- (1) 神戸大学オープンアクセス方針の策定について
- (2) 神戸大学出版会準備委員会について
- (3) 第2回書評・キャッチコピーコンテスト実施報告について
- (4) (12/19実施)館長と図書館学生チーム”ULiCS”メンバーとの懇談会実施報告について
- (5) うりこのLINEスタンプ販売開始について
- (6) 障害者雇用に係る事務体制について
- (7) (2/15開催)学術英語スキルアップセミナー～Take a New Step!～について
- (8) 各図書館・室報告について
- (9) 大学文書史料室報告について
- (10) その他

第5回： 3月29日（水）10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成29年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成29年度附属図書館学生用資料費について
- (3) 総合図書館購読 継続図書・雑誌の見直しについて
- (4) 平成27年度総合図書館学生用図書選定結果と評価について
- (5) 資料の不用決定について
- (6) その他

報告事項

- (1) 神戸大学出版会の発足について
- (2) 附属中等教育学校の図書に関する申合せについて
- (3) 情報リテラシー事業 平成28年度報告・平成29年度計画について
- (4) 附属図書館事務組織の変更について
- (5) 各図書館・室報告について
- (6) 大学文書史料室報告について
- (7) 独立行政法人日本学術振興会の事業における論文のオープンアクセス化に関する実施方針
- (8) 平成29年度版附属図書館利用案内について
- (9) その他

## <附属図書館長・副館長・分館長懇談会>

第1回： 6月23日（木）8：50～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

### 協議事項

- (1) 平成27年度決算について
- (2) 平成28年度電子図書館事業について
- (3) 平成28年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (4) その他

第2回： 11月14日（月）13：20～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

### 協議事項

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 平成28年度附属図書館予算の修正について
- (3) その他

第3回： 1月27日（金）8：50～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

### 協議事項

- (1) 平成29年度附属図書館予算要求について
- (2) 平成29年度学生用資料について
- (3) 平成29年度E-study資料について
- (4) 平成29年度における附属図書館サービスの変更について
- (5) 総合図書館学生用図書整備計画及び選定基準の改定について
- (6) 神戸大学機関リポジトリ運用指針の改定について
- (7) その他

### 報告事項

- (1) 神戸大学オープンアクセス方針の策定について
- (2) 神戸大学出版会準備委員会について
- (3) その他

第4回： 3月27日（月）13：20～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

### 協議事項

- (1) 平成29年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成29年度附属図書館学生用資料費について
- (3) 総合図書館購読 継続図書・雑誌の見直しについて
- (4) 平成27年度総合図書館学生用図書選定結果と評価について
- (5) その他

## <附属図書館評価委員会>

第1回： 7月25日（火）～28日（木） （メール回議）

### 議題

- (1) 附属図書館年次報告について

第2回： 9月26日（月）～28日（水） （メール回議）

議題

- (1) 部局年次計画の進捗状況の報告等について

第3回： 10月26日（水）～28日（金）（メール回議）

議題

- (1) 平成28年度年度計画の進捗状況並びに平成29年度年度計画等の作成について

第4回： 3月28日（火）～30日（木）（メール回議）

議題

- (1) 平成28事業年度に係る業務の実績について

<附属図書館研究開発室会議>

第1回： 5月16日（月）～20日（金）（メール回議）

報告事項

- (1) 平成27年度電子図書館事業報告
- (2) 平成27年度学術成果リポジトリ事業報告
- (3) 平成27年度教育研究支援部会活動報告

協議事項

- (1) 平成28年度電子図書館事業計画（案）

教育研究支援部会懇談会 第1回： 8月 4日（木）（於：総合・国際文化学図書館）

議題

- (1) 2016年度ライティングセミナー報告と今後の学修支援活動について
- (2) TA 配置について
- (3) その他

教育研究支援部会懇談会 第2回： 2月28日（火）（於：総合・国際文化学図書館）

議題

- (1) 平成28年度附属図書館による学修支援実施報告
- (2) 平成29年度附属図書館による学修支援年間計画について
- (3) その他
  - ・SA/TAの雇用について
  - ・図書館のアウトリーチ活動について

<附属図書館大学文書史料室運営会議>

第1回： 5月9日（月）10:30～12:20（於：自然科学系図書館4階会議室）

協議事項

- (1) 平成27年度決算について
- (2) 平成28年度予算について
- (3) 平成28年度特別展の企画について
- (4) 大学文書史料室利用の今後について

(5) その他

報告事項

- (1) 大学文書史料室報告（平成28年1月～3月）
- (2) その他

第2回： 5月12日（木）～13日（金） （メール回議）

協議事項

- (1) 大学文書史料室の今後について

第3回： 3月14日（火）10：30～12：10（於：自然科学系図書館4階会議室）

協議事項

- (1) 平成28年度法人文書の移管協議について
- (2) 平成29年度事業計画について
- (3) その他

報告事項

- (1) 内閣府公表「平成27年度における公文書等の管理等の状況について」
- (2) 大学文書史料室報告（平成28年4月～12月）
- (3) その他

<附属図書館運営委員会委員名簿>

	職名	氏名	任期等
附属図書館長	理・教授	野海 正俊	H27. 4. 1～H29. 3. 31
副館長 (社会科学系・図書委員長)	法・教授	山本 弘	H27. 4. 1～H29. 3. 31
副館長 (自然科学系・図書委員長)	システム・教授	桔梗 宏孝	H27. 4. 1～H29. 3. 31
副館長 (附属図書館評価委員長)	文・教授	大津留 厚	H27. 4. 1～H29. 3. 31
医学分館長	医・教授	中村 俊一	H28. 4. 1～H29. 3. 31
海事科学分館長	海・教授	今井 昭夫	H27. 4. 1～H29. 3. 31
大学教育推進機構	教授	山内 乾史	H27. 4. 1～H29. 3. 31
人文学研究科	教授	岸本 秀樹	H27. 4. 1～H29. 3. 31
国際文化学研究科	教授	塚原 東吾	H28. 4. 1～H30. 3. 31
人間発達環境学研究科	教授	浅野 慎一	H28. 4. 1～H30. 3. 31
法学研究科	教授	大内 伸哉	H27. 4. 1～H29. 3. 31
経済学研究科	教授	永合 位行	H28. 4. 1～H30. 3. 31
経営学研究科	教授	小川 進	H28. 4. 1～H30. 3. 31
理学研究科	教授	大槻 圭史	H28. 4. 1～H30. 3. 31
保健学研究科	教授	塩谷 英之	H28. 4. 1～H30. 3. 31
工学研究科	教授	森井 昌克	H27. 4. 1～H29. 3. 31
システム情報学研究科	教授	坪倉 誠	H28. 4. 1～H30. 3. 31
農学研究科	教授	野村 啓一	H28. 4. 1～H30. 3. 31
国際協力研究科	教授	松並 潤	H28. 4. 1～H30. 3. 31
科学技術イノベーション研究科	経営・教授	尾崎 弘之	H28. 4. 1～H30. 3. 31
先端融合研究環	経済・教授	柳川 隆	H28. 4. 1～H30. 3. 31
経済経営研究所	教授	瀧 俊毅	H27. 4. 1～H29. 3. 31
情報基盤センター	教授	鳩野 逸生	H28. 4. 1～H30. 3. 31
附属図書館	事務部長	北村 照夫	-----

<附属図書館評価委員会委員名簿>

職名 (委員は全て官職指定)	氏名	備考
附属図書館長	野海 正俊	
副館長	山本 弘	
副館長	桔梗 宏孝	
副館長	大津留 厚	委員長
医学分館長	中村 俊一	
海事科学分館長	今井 昭夫	
事務部長	北村 照夫	
情報管理課長	湖内 夏夫	
情報サービス課長	磯谷 峰夫	

<附属図書館研究開発室室員名簿>

所 属	職 名	氏 名	任期・関連する事業
総括	附属図書館長	野海 正俊	室長
電子化部会	文・教授	奥村 弘	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (震災関連資料電子化)
	文・教授	福長 進	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (国文学研究資料館古典籍データベース)
	研究所・准教授	高槻 泰郎	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (新聞記事文庫電子化)
	図・電子図書館係長	井庭 朗子	H28. 7. 1～H30. 3. 31
教育研究支援部会	大教・教授	山内 乾史	H27. 4. 1～H29. 3. 31 (アクティブ・ラーニング支援)
	大教・教授	近田 政博	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (グローバル教育支援)
	国文・准教授	清光 英成	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (アクティブ・ラーニング支援)
	図・情報サービス課長補佐	中山 貴弘	H28. 4. 1～H30. 3. 31
	図・情報リテラシー係長	三谷 拓也	H28. 4. 1～H30. 3. 31
(部会に属さず)	基盤セ・教授	鳩野 逸生	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (情報システム)

<附属図書館大学文書史料室運営会議委員名簿>

	所 属 等	職名	氏 名	任 期 等
議長 1号委員	館長・理学研究科	教授	野海 正俊	H27. 4. 1～H29. 3. 31
室長 2号委員	副館長・人文学研究科	教授	大津留 厚	H27. 4. 1～H29. 3. 31
室員 3号委員	大学文書史料室	室長補佐兼 専門調査員	野邑理栄子	H27. 4. 1～H29. 3. 31
4号委員	附属図書館	事務部長	北村 照夫	H28. 4. 1～H29. 3. 31
5号委員	人間発達環境学研究科	教授	船寄 俊雄	H27. 4. 1～H29. 3. 31
5号委員	農学研究科	教授	金子 治平	H27. 4. 1～H29. 3. 31
5号委員	人文学研究科	准教授	河島 真	H27. 4. 1～H29. 3. 31
5号委員	総務部総務課	専門職員	中満 航一	H27. 4. 1～H28. 7. 31
		課長補佐	中村 秀幸	H28. 8. 1～H29. 3. 31

平成28年度 附属図書館決算

単位:円

事 項	平成28年度 予算配分額 (当初) (A)	平成28年度 予算配分額 (修正) (B)	平成28年度 予算配分額 (当初+修正) (C)	平成28年度 決算額(案) (D)	残額 (D-C)	摘 要
<b>A. 経常運営費</b>						
(1) 備品・消耗品費	7,100,000		7,100,000	6,410,755	689,245	備品類(630)※内訳1、事務用品(1,533)、図書館用品(2,375)、用紙類(415)、電算用品(685)、蛍光灯類(556)、雑用品(217)
(2) 事務用図書費	400,000		400,000	412,334	△ 12,334	事務用図書、事務用雑誌
(3) 印刷製本費	400,000		400,000	405,432	△ 5,432	利用案内、封筒
(4) 光熱水料	30,000,000	△ 3,894,000	26,106,000	25,460,167	645,833	電気代(20,069)、ガス代(2,335)、上下水道代(3,056)、生協電気代(△106)
(5) 通信運搬費	7,000,000		7,000,000	7,283,845	△ 283,845	切手代(1,454)、郵便料(2,112)、電話料(311)、学内資料搬送(3,407)
(6) 借料及び損料	1,500,000		1,500,000	1,228,156	271,844	複写機(1,215)、タクシー代(13)
(7) 雑役等諸経費	33,000,000		33,000,000	32,643,456	356,544	警備請負(3,440)、清掃請負(9,230)、電話交換保守業務(190)、EV保守(6,393)、特高設備保守(1,143)、空調機保守(155)、桶団地設備保守(2,200)、消防設備保守(772)、水質検査(70)、廃棄物処理(1,471)、蔵書点検業務(1,423)、諸会費(236)、備品修理(1,065)、各種営繕(4,183)※内訳2、書庫作業等(334)、その他(338)
(8) 非常勤職員給与等	85,000,000	1,500,000	86,500,000	86,512,001	△ 12,001	
(9) 電子計算機維持経費	85,000		85,000	144,000	△ 59,000	情報基盤センター利用負担金
(10) 職員旅費	1,200,000		1,200,000	1,217,763	△ 17,763	会議・研修会・講習会旅費(1,098)、バス地下鉄私鉄カード(120)
(1)～(10)小計	165,685,000	△ 2,394,000	163,291,000	161,717,909	1,573,091	予算修正 △2,500,000 + 生協電気代 106,000
<b>B. 経常事業費</b>						
(1) 時間外開館経費	22,100,000		22,100,000	21,248,191	851,809	業者委託(12,159)、学生非常勤(9,089)
(2) 電子図書館事業	8,100,000		8,100,000	7,361,097	738,903	震災資料・学内研究成果・貴重資料等の電子化等、研究開発室会議案件として別途報告
(3) その他事業費	792,000		792,000	389,622	402,378	
展示会経費	450,000		450,000	389,622	60,378	
資料修復経費	342,000		342,000	0	342,000	
(4) 図書館資料費	83,755,000	1,000,000	84,755,000	83,576,344	1,178,656	
学生用資料費	42,360,000	3,500,000	45,860,000	46,163,076	△ 303,076	
e-study事業費	5,345,000		5,345,000	5,345,348	△ 348	
震災文庫資料費	450,000		450,000	449,765	235	
外国雑誌センター館経費	32,000,000		32,000,000	31,112,811	887,189	
電子的情報基盤資料整備経費	3,600,000	△ 2,500,000	1,100,000	505,344	594,656	
(5) 製本費	6,578,000	1,500,000	8,078,000	8,077,600	400	
(6) 附属図書館長裁量経費	2,185,000	4,389,137	6,574,137	9,343,228	△ 2,769,091	【医学】空調機更新(2,808)、【人文】マイクロフィルムスキャナ(1,393)、【人間】カーペット張替(691)、web構築(670)、【保健】AVブース更新(661)、【社会】ブラインド新設(605)、【人間】書庫扉取替(361)、【総図】書架増設(330)、職員出張(英国)(254)(韓国)(227)、【医学・海事】プロジェクト(151)、【海事】ラベルプリンタ(200)、ほか
(1)～(6)小計	123,510,000	6,889,137	130,399,137	129,996,082	403,055	予算修正 2,500,000 + 振替 4,389,137
運営費+事業費	289,195,000	4,495,137	293,690,137	291,713,991	1,976,146	
<b>C. 大学文書史料室</b>						
運営経費	7,098,000		7,098,000	7,098,000	0	決算は別途史料室運営会議にて報告
小計	7,098,000		7,098,000	7,098,000	0	
附属図書館+大学文書史料室 既定経費 計	296,293,000	4,495,137	300,788,137	298,811,991	1,976,146	
<b>D. 電算機借料</b>						
図書館システム	61,553,000	△ 4,557,422	56,995,578	56,995,578	0	繰越対象外のため、残額をマイナス予算として報告
小計	61,553,000	△ 4,557,422	56,995,578	56,995,578	0	
経常経費 計	357,846,000	△ 62,285	357,783,715	355,807,569	1,976,146	

※内訳1(備品類)：【人間】書架(100)、【企画・管理・システム】パソコン更新(452) ほか

※内訳2(各種営繕)：【総図】鶴甲1地区管理の経費負担(903)、【社会】六甲台1地区管理の経費負担(304)、各館室フィルター清掃等(476)、【自然】空調機室外機風向調整(206)、【社会】貴重書庫空調機修理(454)、【社会】マイクロ室空調機修理(183)、【海事】館長室空調更新(157)、【医学】ブラインド更新(156)、【人文】監視カメラHD保守(194)、【保健】雨漏補修(78) ほか

事 項	平成28年度 予算配分額	平成28年度 追加予算	平成28年度 最終予算	平成28年度 決算額(案) (D)	残額 (D-C)	摘 要
<b>E. 臨時的経費</b>						
教育研究基盤資料整備費	367,000,000	△ 8,130,126	358,869,874	358,869,874	0	外国雑誌を含む電子ジャーナル及びデータベースの維持及び整備のための経費
SciFinder 利用者負担金	0	5,912,000	5,912,000	5,912,000	0	SciFinder受益者負担
学内ワースタディ実施経費	572,000	△ 113,816	458,184	458,184	0	学務部より予算振替 人文・総図・人間各館SA作業
営繕関係費(施設部営繕事業)	0	1,434,178	1,434,178	1,434,178	0	鶴甲1北側法面階段増設工事、同L棟他屋上防水改修工事
施設費交付事業費	0	65,387	65,387	65,387	0	鶴甲1L棟他屋上防水改修工事
全学経費(共通経費-調査委託費)	0	772,152	772,152	772,152	0	外壁調査業務(社系書庫A棟、B棟)
全学経費(共通経費-建物等修繕費)	0	83,685	83,685	83,685	0	鶴甲1B棟トイレブース改修工事
防災管理点検	0	66,960	66,960	66,960	0	
環境整備G経費	0	390,471	390,471	390,471	0	
機能強化促進分(経済社会グローバル人材)	0	1,400,000	1,400,000	1,400,000	0	グローバル関係図書費(各館室で執行)
教員等館内複写料金	0	2,249,690	2,249,690	0	2,249,690	
収入確保インセンティブ経費	0	6,347,000	6,347,000	2,148,553	4,198,447	ILL費用計上
平成27年度繰越金	0	137,000	137,000	0	137,000	
人勸実施に伴う予算引き上げ	0	△ 2,196,000	△ 2,196,000	0	△ 2,196,000	
館長裁量経費へ振替	0	△ 4,389,137	△ 4,389,137	0	△ 4,389,137	
小計	367,572,000	4,029,444	371,601,444	371,601,444	0	
<b>F. 外部資金</b>						
科学研究費補助金(研究成果公開促進費)	8,700,000	△ 597,859	8,102,141	8,102,141	0	戦前期新聞経済記事文庫データベース 残額597,859は返金
国文学研究資料館(撮影費)		2,910,657	2,910,657	2,910,657	0	日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク(医学分野)
国文学研究資料館(一般管理費)		109,555	109,555	109,555	0	日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク(医学分野)
山口誓子奨学寄付金		300,000	300,000	69,147	230,853	山口文庫資料購入
小計	8,700,000	2,722,353	11,422,353	11,191,500	230,853	
臨時的経費等 計	376,272,000	6,751,797	383,023,797	382,792,944	230,853	

図書館セグメント 計	734,118,000	6,689,512	740,807,512	738,600,513	2,206,999	
				繰越対象額	1,976,146	※奨学寄付金残額を除く
				繰越額	1,976,000	

平成28年度 図書資料費実績

(附属図書館セグメント)

単位:千円

館室名	学生用資料				震災文庫 資料費	外国雑誌 センター	e-study 事業費	機能強化促進費 (グローバル 図書)	** その他	*** 教育研究基盤 資料整備費	計 ****
	予算額 *	決算額 *	比較増減	図書購入冊数							
総合図書館	8,274	8,306	△ 32	3,375			5,345	698	505	358,869	373,725
社会科学系図書館	8,049	8,196	△ 147	3,728	449	31,112		270	36		40,066
自然科学系図書館	10,612	10,611	1	1,425				69			10,681
人文科学図書館	2,341	2,465	△ 124	499				54			2,519
国際文化学図書館	2,393	2,392	1	328				0			2,392
人間科学図書館	3,165	3,164	1	981				82			3,247
経済経営研究所図書館	844	844	0	209				0			844
医学分館	4,358	4,357	1	833				121			4,479
保健科学図書室	2,922	2,921	1	886				68			2,989
海事科学分館	2,902	2,901	1	1,405				34			2,936
小計	45,860	46,163	△ 303	13,669	449	31,112	5,345	1,400	542	358,869	443,883

注\* 図書その他 雑誌・新聞・電子資料などを含む

注\*\* 総合: 電子的情報基盤資料整備経費、社会: 電子図書館(消耗品扱)

注\*\*\* 電子ジャーナル経費・外国雑誌購読料補填経費

注\*\*\*\* これ以外に、電子コンテンツ作成費 5,229,291円がある

(部局セグメント)

単位:千円

館室名	一般財源 図書資料費		
	館室備付 共同利用	研究室等 備付	計
総合図書館	1,006	1,728	2,735
社会科学系図書館	107,598	11,196	118,794
自然科学系図書館	3,981	43,710	47,692
人文科学図書館	13,323	4,426	17,750
国際文化学図書館	4,679	6,590	11,269
人間科学図書館	5,877	4,205	10,083
経済経営研究所図書館	21,167	172	21,340
医学分館	36,648	1,604	38,253
保健科学図書室	5,925	765	6,691
海事科学分館	6,699	1,133	7,833
計	206,907	75,535	282,443

(部局セグメント)

単位:千円

館室名	補助金等による購入				
	科研費	委任経理	受託研究	その他	計
総合図書館	744	0	0	5,959	6,704
社会科学系図書館	32,586	3,159	1,291	6,649	43,686
自然科学系図書館	7,461	5,211	966	911	14,550
人文科学図書館	10,191	239	2,026	537	12,995
国際文化学図書館	7,377	18	453	228	8,077
人間科学図書館	4,770	87	84	239	5,181
経済経営研究所図書館	1,584	354	0	26	1,964
医学分館	913	3,600	2,386	40	6,941
保健科学図書室	682	119	59	17	879
海事科学分館	1,631	263	0	392	2,287
計	67,943	13,054	7,269	15,001	103,269

単位:千円

合計
383,165
202,548
72,923
33,264
21,740
18,512
24,149
49,674
10,560
13,057
829,595

\* 千円未満切捨のため、合計等は一致しません

## 平成28年度附属図書館活動日誌

### < 4月 >

- 1 (金) 新規採用職員合同研修 <於：医学部 講師：サービス課長補佐(医学)>
- 4 (月) 国際文化学研究所新入生ガイダンス <於：国際文化学部>
- 5 (火) 入学式 <於：神戸ポートアイランドホール 出席 館長>  
留学生向け図書館ツアー <於：人文科学図書館 来館：15名>
- 5 (火) ~ 26 (火) 地理学教室主催ミニ展示 <於：人文科学図書館 LC、百年記念館>
- 7 (木) 神戸大学新任教職員研修 <於：瀧川記念館  
講師：サービス課長、室長補佐 受講：係員3名>
- 7 (木) ~ 15 (金) 新入生対象図書館ツアー <於：人文科学図書館>
- 8 (金) 経済学部初年次セミナー図書館ツアー <於：社会科学系図書館>  
新入生対象図書館ツアー <於：海事科学分館>  
理学部生物学科安全講習会 <於：基盤センター 講師：係員>  
オーダーガイダンス <於：保健科学図書室>
- 11 (月) オーダーガイダンス <於：基盤センター>
- 11 (月) ~ 15 (金) 新入生対象図書館ツアー <於：総合・国際文化学図書館、  
社会科学系図書館、人間科学図書課、医学分館>
- 12 (火) 神大ニュースネット委員会による取材(社会科学系図書館について)  
<於：社会科学系図書館 対応：管理課長、管理課長補佐>
- 14 (木) オーダーガイダンス <於：基盤センター>  
立正大学図書館による LC 見学 <社会科学系→総合・国際→人文図  
対応：サービス課長、サービス課長補佐(自然)>
- 15 (金) 経済学部初年次セミナー図書館ツアー <於：社会科学系図書館>  
国際文化学部初年次セミナー図書館ツアー <於：国際文化学図書館>  
オーダーガイダンス <於：発達科学部>  
新入生対象図書館ツアー <於：保健科学図書室、海事科学分館>  
兵庫県下教育機関事務系職員(新規採用者)研修  
<於：瀧川記念館 受講：係員3名>  
兵庫県大学図書館協議会役員会・企画委員会合同会議  
<於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長 他>  
神大ニュースネット委員会による取材(うりこについて)  
<於：自然科学系図書館 対応：サービス課長補佐(自然)、係員1名>
- 18 (月) ~ 20 (水) 兵庫県下教育機関事務系職員(新規採用者)研修  
<於：国立淡路青少年交流の家 受講：係員3名>
- 18 (月) ~ 22 (金) 新入生対象図書館ツアー <於：自然科学系図書館>
- 19 (火) オーダーガイダンス <於：自然科学系図書館>  
文学部ゼミによる図書館ツアー <於：人文科学図書館>
- 21 (木) オーダーガイダンス <於：保健科学情報処理教室>
- 22 (金) 経済学部初年次セミナー図書館ツアー <於：社会科学系図書館>  
国際文化学部初年次セミナー図書館ツアー <於：国際文化学図書館>  
新入生対象図書館ツアー <於：保健科学図書室>  
大分県中津市との連携協定調印式、壁画見学 <於：事務局、  
社会科学系図書館 出席、案内：室長補佐 見学：14名>  
第1回係長研修、係長会議 <於：社会科学系図書館>

- 26 (火) 第1回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会  
 <於：社会科学系図書館 出席：サービス課長補佐（海事）>
- 27 (水) 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験実施委員会  
 <於：大阪大学総合図書館 出席：部長>  
 国立大学図書館協会近畿地区加盟館図書系人事担当課長・事務部長懇談会  
 <於：大阪大学総合図書館 出席：管理課長>  
 国立大学図書館協会近畿地区協会総会  
 <於：大阪大学総合図書館 出席：館長、部課長>

< 5月 >

- 2 (月) 法学部初年次セミナー図書館ツアー <於：社会科学系図書館>
- 6 (金) 国際文化学部初年次セミナー図書館ツアー<於：総合・国際文化学図書館>
- 9 (月) 第1回大学文書史料室運営会議 <於：自然科学系図書館>  
 共通教育「情報基礎」授業開始
- 9 (月)～6月30日 地理学教室主催サテライト巡回展 <於：社会科学系図書館>
- 10 (火) 外国雑誌センター館会議 <於：東京工業大学 出席：管理課長、雑誌係長>
- 11 (水) 地理学教室授業による展示見学 <於：社会科学系図書館 来館：70名>  
 オーダーガイダンス <於：六甲台第三学舎>  
 ガイダンス「雑誌論文の探し方」<於：海事科学研究科>  
 中津市議会議員による視察 <於：社会科学系図書館 案内：室長補佐>  
 オーダーガイダンス <於：発達科学部情報処理教育室>
- 16 (月) オーダーガイダンス <於：六甲台第三学舎>
- 16 (月)～6月11日 総合・国際文化学図書館クイズラリー
- 18 (水) 第1回海事科学分館 図書委員会  
 就職活動スタートセミナー <於：六甲ホール 出講：情報リテラシー係>
- 19 (木) 第1回ライティングセミナー <於：国際文化学部 LC  
 講師：総合・国際文化学情報サービス係員>  
 第110回日本医学図書館協会近畿地区例会  
 <於：滋慶医療科学大学院大学 出席：サービス課長補佐（医学）>  
 兵庫県大学図書館協議会企画委員会  
 <於：神戸女子大学図書館 出席：部長、管理課長 他>  
 延世大学学生による見学 <於：社会科学系図書館 来館：52名>
- 20 (金) 文学部初年次セミナーによる図書館検索実習 <於：人文科学図書館>  
 韓国国家報勲処功勳審査課による新聞記事文庫調査  
 <於：経済経営研究所図書館、社会科学系図書館 来館：2名>
- 23 (月) 第2回ライティングセミナー <於：国際文化学部 LC  
 講師：国際コミュニケーションセンター 石川慎一郎先生>
- 23 (月)～26 (木) ガイダンス「秘書さん・職員さんのための図書館利用入門」(計8回)  
 <於：医学分館>
- 23 (月)～27 (金) 第1回社会科学系図書館 図書委員会（メール回議）
- 24 (火) 地理学教室展示解説①  
 <於：社会科学系図書館 講師：人文学研究科 菊地真先生>  
 ガイダンス「参考文献の書き方」<於：自然科学系図書館>  
 第2回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会  
 <於：大阪大学附属図書館 出席：サービス課長補佐（海事）>

- 24 (火) ~ 27 (金) 第75回近畿地区中堅係員研修 <於:中之島合同庁舎 受講:係員1名>  
 25 (水) ガイダンス「雑誌論文の探し方」<於:自然科学系図書館>  
 Web of Science Core Collection 説明会 <於:海事情報処理演習室>  
 26 (木) 第3回ライティングセミナー <於:国際文化学部 LC  
 講師:国際教育総合センター 齊藤美穂先生>  
 26 (木) ~ 27 (金) 大学図書館近畿イニシアティブ初任者研修  
 <於:大阪大学附属図書館 実施担当:サービス課長補佐(海事)、  
 講師:図書受入係長 受講:係員5名>  
 第87回医学図書館協会通常総会・第1回学術集会  
 <於:ホテルアバローム紀の国 出席:サービス課長補佐(医学)>  
 NII 学術情報基盤オープンフォーラム2016  
 <於:学術総合センター 出席:係員1名>  
 27 (金) 文学部初年次セミナーによる図書館検索実習 <於:人文科学図書館>  
 30 (月) 第4回ライティングセミナー <於:国際文化学部 LC  
 講師:システム情報学研究科 谷口隆晴先生>  
 31 (火) 第1回国際文化学図書館 図書委員会  
 地理学教室展示解説②  
 <於:社会科学系図書館 講師:人文学研究科 菊地真先生>  
 31 (火) ~ 6月3日 ガイダンス「秘書さん・職員さんのための図書館利用入門」  
 <於:医学分館>  
 オーダーガイダンス <於:六甲台V棟情報処理教室>
- <6月>
- 1 (水) ORCID についての情報収集 <於:名古屋学院大学図書館  
 参加:情報リテラシー係長(同行:URA 岩崎先生)>  
 2 (木) 第1回人文科学図書館 図書委員会  
 3 (金) 経営協議会委員による視察 <於:社会科学系図書館 案内:室長補佐>  
 6 (月) 第1回大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会  
 <於:京都大学附属図書館 出席:部長、サービス課長>  
 7 (火) 地理学教室展示解説③  
 <於:社会科学系図書館 講師:人文学研究科 菊地真先生>  
 第1回医学分館 図書委員会  
 第1回自然科学系図書館 図書委員会  
 8 (水) 第1回保健科学図書室 図書委員会  
 オーダーガイダンス <於:自然科学系図書館>  
 9 (木) SciFinder 講習会(オーダーメイド) <於:自然科学系図書館>  
 第1回人間科学図書館 図書委員会  
 学生選書ツアー <於:ジュンク堂書店三宮店>  
 9 (木) ~ 10 (金) 全国公文書館長会議 <於:コンgresクエア日本橋  
 出席:室長、室長補佐>  
 10 (金) 障害者雇用計画に関する視察 <於:岡山大学 視察:課長2名>  
 11 (土) 神戸大学育友会文学部懇談会 <於:文学部 対応:係員1名>  
 13 (月) オーダーガイダンス <於:自然科学系図書館>  
 14 (火) 地理学教室展示解説④  
 <於:社会科学系図書館 講師:人文学研究科 菊地真先生>

- ガイダンス「雑誌論文の探し方」＜於：社会科学系図書館＞  
 15 (水) ガイダンス「参考文献の書き方」＜於：社会科学系図書館＞  
 16 (木) オーダーガイダンス ＜於：保健科学情報処理教室＞  
 第63回国立大学図書館協会総会 ＜於：ホテルメトロポリタン仙台  
 出席：館長、部長、管理課長、係員1名＞  
 17 (金) 第63回国立大学図書館協会総会、マネジメントセミナー  
 ＜於：ホテルメトロポリタン仙台  
 出席：館長、部長、管理課長 発表：係員1名(海外派遣事業)＞  
 18 (土) 大阪凌霜クラブ創立40周年記念式典・講演会  
 ＜於：六甲台本館 来賓出席：室長補佐＞  
 20 (月) 法学部による見学 ＜於：社会科学系図書館 来館：22名＞  
 就職活動スタートセミナー（主催：キャリアセンター）  
 ＜於：六甲ホール 出講：情報リテラシー係＞  
 21 (火) うりこ LINE スタンプに関する広報課との打合せ  
 ＜於：本部 出席：管理課長、サービス課長補佐（自然）、係員1名＞  
 地理学教室展示解説⑤  
 ＜於：社会科学系図書館 講師：人文学研究科 菊地真先生＞  
 ガイダンス「雑誌論文の探し方」＜於：自然科学系図書館＞  
 22 (水) 附属小学校保護者による見学  
 ＜於：社会科学系図書館 来館：20名＞  
 EndNote basic 説明会 ＜於：自然科学系図書館＞  
 23 (木) 第1回館長・副館長・分館長懇談会 ＜於：社会科学系図書館＞  
 オーダーガイダンス ＜於：保健科学図書室＞  
 24 (金) SciFinder 講習会（オーダーメイド）＜於：情報基盤センター＞  
 科学技術イノベーション研究科設置記念式典  
 ＜於：六甲ホール 出席：館長、部長＞  
 27 (月) 法学部による見学 ＜於：社会科学系図書館 来館：5名＞  
 27 (月)～7月1日 第2回海事科学分館 図書委員会（メール回議）  
 28 (火) EBSCOhost 説明会 ＜於：社会科学系図書館＞  
 29 (水) Jin Moon 氏 (UC San Diego Geisel Library) による見学  
 ＜於：社会科学系図書館 案内：課長補佐2名、係員1名＞  
 ガイダンス「雑誌論文の探し方」＜於：社会科学系図書館＞  
 29 (水)～7月1日 第17回西洋古典資料保存講習会 ＜於：一橋大学 受講：係長1名＞  
 30 (木) 大阪国際大和田中学高等学校保護者による見学  
 ＜於：社会科学系図書館 来館：60名＞

## ＜7月＞

- 1 (金) くまもと森都心プラザ図書館長による視察  
 ＜於：社会科学系図書館震災文庫 同行：(株)金剛  
 応対：管理課長、電子図書館係＞  
 徳島県城北高等学校保護者による見学  
 ＜於：社会科学系図書館 来館：7名＞  
 大阪大学理事による視察 ＜於：社会科学系図書館 応対：管理課長＞  
 2 (土) オーダーガイダンス ＜於：六甲台第三学舎＞  
 4 (月) 地域歴史遺産論講義「大学史資料と史料室」

- 4 (月) ~ 1 5 (金) 4 (火) <於: 人文学研究科 講師: 室長補佐>  
 大学図書館職員長期研修 <於: 筑波大学 受講: 係長 1 名>  
 徳島県立富岡東高等学校保護者による見学  
 <於: 社会科学系図書館 来館: 3 5 名>  
 第 1 回大学文書史料室員研修による見学  
 <於: 大阪大学アーカイブズ、大阪大学博物館 参加: 史料室員 4 名>  
 6 (水) ガイダンス「雑誌論文の探し方」<於: 人文科学図書館>  
 8 (金) ジョージア工科大学教員講演会 <於: 本部大会議室 受講: 係員 1 名>  
 ガイダンス「雑誌論文の探し方」 <於: 人間科学図書館>  
 1 1 (月) オーダーガイダンス <於: 自然科学系図書館>  
 三木北高等学校生徒による見学 <於: 社会科学系図書館 来館: 4 0 名>  
 明石城西高等学校生徒による見学  
 <於: 社会科学系図書館 来館: 4 0 名>  
 1 2 (火) オーダーガイダンス <於: 国際文化学部教室>  
 障害学生支援講演会  
 <於: 瀧川記念館 参加: 係長 1 名、係員 1 名>  
 国立大学協会近畿地区支部研修「キャリアデザイン研修」  
 <於: 大阪教育大学天王寺キャンパス西館 受講: 係員 1 名>  
 1 2 (火) ~ 1 3 (水) 第 1 回経済経営研究所図書館 図書委員会 (メール回議)  
 1 3 (水) ジャパンナレッジ Lib 説明会 <於: 人文科学図書館>  
 1 3 (水) ~ 1 9 (火) 第 1 回附属図書館安全衛生会議 (メール回議)  
 1 5 (金) 監事と各部局長等との個別懇談  
 <於: 社会科学系図書館 出席: 館長、部課長>  
 POP ワークショップ <於: 総合・国際文化学図書館 担当: 選書 WG>  
 国際交流基金キャンパスツアーによる見学  
 <於: 社会科学系図書館 来館: 3 0 名>  
 2 0 (水) 賢明学院高校生徒による見学 <於: 社会科学系図書館 来館: 6 名>  
 2 2 (金) E-Cats 操作説明会 <於: 社会科学系図書館 担当: 情報システム係>  
 2 6 (火) オーダーガイダンス <於: 発達科学部情報処理教育室>  
 2 7 (水) 附属図書館職員研修講演会「UMass における学習支援と図書館の変革」  
 <於: 社会科学系図書館 参加: 2 5 名  
 講師: Sharon Domier 氏 ((East Asian Studies Librarian,  
 University of Massachusetts Amherst)>  
 2 8 (木) 富山県立砺波高校生徒による見学 <於: 社会科学系図書館 参加: 1 5 名>  
 国際協力研究科主催「北極国際法シンポジウム」参加者による見学  
 <於: 社会科学系図書館 来館: 1 7 名>  
 第 2 回大学文書史料室員研修による見学  
 <於: 神戸市文書館、竹中大工道具館 参加: 資料室員 4 名>  
 2 9 (金) 兵庫県大学図書館協議会総会 <於: 神戸女子大学図書館  
 出席: 副館長 (人文)・部長・両課長・管理課長補佐・企画係長>  
 3 0 (土) キャンパスツアー (御影高校) <於: 社会科学系図書館  
 案内: 学生ガイド 来館: 5 0 名>
- < 8 月 >  
 3 (水) 第 2 回人文科学図書館 図書委員会

- 雲雀ヶ丘学園高校生徒による見学  
 <於：社会科学系図書館 案内：係長 来館：14名>  
 第1回学術資料整備委員会 <於：名古屋大学附属図書館 出席：部長>  
 4 (木) 第1回研究開発室教育支援部会懇談会 <於：総合・国際文化学図書館>  
 5 (金) 第3回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発委員会  
 <於：立命館大学衣笠キャンパス平井嘉一郎記念図書館  
 出席：サービス課長補佐(海事)>  
 8 (月) 土佐高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：15名>  
 東京学芸大学大学史資料室からの訪問  
 <於：社会科学系図書館 対応：管理課長、室長補佐>  
 10 (水) ベルカン主催キャンパスツアー「経済・オープンキャンパスの日」  
 <於：社会科学系図書館 来館：275名>  
 神戸凌霜午餐会第1499回例会  
 <於：湊川神社楠公会館 講演：室長補佐>  
 11 (木・祝) 広報課主催キャンパスツアー「山の日制定記念ハイキングツアー」  
 <於：社会科学系図書館 開館対応：係長 来館：38名>  
 12 (金) キャンパスツアー  
 <於：総合・国際文化学図書館 案内：ULiCSメンバー>  
 ベルカン主催キャンパスツアー「法学・オープンキャンパスの日」  
 <於：社会科学系図書館 来館：334名>  
 産経新聞による写真撮影 <於：社会科学系図書館大閲覧室ほか>  
 15 (月)～17 (水) 夏季一斉休業  
 18 (木) オープンキャンパスによる見学 <於：社会科学系図書館 来館：12名>  
 19 (金) 資金管理に関する内部監査 <於：人間科学図書館>  
 入試見学会による見学 <於：社会科学系図書館 来館：13名>  
 オープンキャンパスによる見学 <於：社会科学系図書館 来館：20名>  
 20 (土) 広報課主催キャンパスツアー「神大さんぽ：5つの文化財をそえて」  
 <於：社会科学系図書館 来館：24名>  
 22 (月) 広報課主催キャンパスツアー「神大生なりきりコース」(高校生)  
 <於：総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館 来館：17名>  
 オープンキャンパスによる見学 <於：社会科学系図書館 来館：11名>  
 23 (火) 広報課主催キャンパスツアー <於：社会科学系図書館 来館：18名>  
 オープンキャンパスによる見学 <於：社会科学系図書館 来館：4名>  
 24 (水) 広報課主催キャンパスツアー <於：社会科学系図書館 来館：6名>  
 25 (木) ベルカン主催キャンパスツアー「経営・オープンキャンパスの日」  
 <於：社会科学系図書館 来館：302名>  
 26 (金) 広報課主催キャンパスツアー「神大生なりきりコース」(高校生)  
 <於：総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館 来館：11名>  
 29 (月) 智辯学園高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：10名>  
 31 (水)～9月1日 図書館システム更新に伴う一部サービス停止
- <9月>  
 1 (木) 図書館システム更新・Web サイトリニューアル  
 2 (金) 米国ブラウン大学による見学 <於：社会科学系図書館 来館：8名>  
 5 (月) 基盤センタープリンタ操作説明会 <於：基盤センター 受講：13名>

- 5 (月) ~ 6 (火) 神戸大学係長相当職研修 <於:理学研究科教室 受講:係長3名>  
6 (火) 学内会計監査 <於:社会科学系図書館>  
セキュリティ研修(ネットワーク) <於:瀧川記念館 受講:係員1名>  
資金管理に関する内部監査 <於:医学分館>
- 7 (水) ~ 8 (木) JUSTICE2016 年度版元提案説明会 <於:一橋大学 出席:雑誌情報係長>  
8 (木) 事務職員国際業務研修(中級)実習 <於:京都市内 参加:補佐員1名>  
9 (金) 愛知教育大学教育学部生による見学  
<於:大学文書史料室、社会科学系図書館 来館:7名>
- 10 (土) キャンパスツアー「神大さんぽ:5つの文化財をそえて」  
<於:社会科学系図書館 主催:総務部広報課 来館:13名>
- 12 (月) 指定国立大学法人に関する講演会 <於:理学部教室 出席:館長>  
12 (月) ~ 自己啓発休業による英国留学  
H29年9月27日 <於:イギリス・Sheffield大学 係員1名>
- 13 (火) 全国遺跡報告総覧実務者会議 <於:奈良文化財研究所 出席:係長1名>  
13 (火) ~ 14 (水) 機関リポジトリ新任担当者研修  
<於:神戸松蔭女子学院大学 講師派遣:係員1名>
- 13 (火) ~ 29 (木) 第2回保健科学図書館 図書委員会(メール回議)  
15 (木) ベルカ賞記念レリーフ写真パネル設置 <於:社会科学系図書館>  
15 (木) ~ 16 (金) 第6回大学図書館学生協働シンポジウム  
<於:香川大学 出席:係員1名、学生チーム(ULiCS)メンバー2名>
- 20 (火) 台風16号接近のため神戸市全域に避難準備情報、  
暴風警報発表に伴い臨時閉館
- 20 (火) ~ 26 (月) 第3回海事科学分館 図書委員会(メール回議)  
24 (土) 広報課主催キャンパスツアー「神大さんぽ:5つの文化財をそえて」  
<於:社会科学系図書館 来館:30名>  
近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験  
<於:京都大学 対応:部課長>
- 25 (日) ~ 10月2日 英国視察 <2名>  
26 (月) 学生広報ボランティアによる取材  
<於:兼松記念館 対応:野邑先生>
- 27 (火) 信州大学附属図書館による図書館訪問  
<於:社会科学系図書館、人文科学図書館 来館:2名>
- 28 (水) 総務関係実務担当者研修  
<於:瀧川記念館 受講:主任1名、補佐員1名>
- 29 (木) 高津高校 PTA による見学 <於:社会科学系図書館 来館:90名>  
29 (木) ~ 30 (金) 図書館等職員著作権実務講習会 <於:京都大学 受講:係員2名>  
30 (金) 第3回人文科学図書館 図書委員会  
学内会計監査 <於:海事科学分館>  
追手門学院高校生徒による見学 <於:社会科学系図書館 来館:16名>
- <10月>
- 3 (月) ~ 7 (金) 漢籍担当職員講習会(初級) <於:京都大学 受講:係員1名>  
3 (月) ~ 31 (月) 第2回 書評・キャッチコピーコンテスト 作品募集  
4 (火) ~ 7 (金) 大学図書館職員短期研修 <於:京都大学 受講:係員2名>  
5 (水) 台風18号の接近による暴風警報発令のため臨時閉館

- 大阪市立大学学術情報総合センターによる訪問  
 <於：社会科学系図書館震災文庫室 対応：電子図書館係>
- 6 (木) ~ 7 (金)  
 学内会計監査 <於：医学分館>
- 7 (金)  
 多読図書オリエンテーション (7回) <於：海事科学分館>  
 日本医図協等共催シンポジウム「国内 e-Book について」  
 <於：大阪医科大学 出席：サービス課長補佐 (医学)、係員 1 名>  
 兵庫県大学図書館協議会施設見学会  
 <於：立命館大学衣笠キャンパス平井嘉一郎記念図書館  
 参加：サービス課長補佐 1 名、係長 2 名、係員 2 名>
- 11 (火)  
 人事関係事務処理状況調査 <於：社会科学系図書館>
- 11 (火) ~ 17 (月)  
 第2回社会科学系図書館 図書委員会 (メール回議)
- 12 (水)  
 広報課原稿依頼に伴う試写会  
 <於：東宝マーケティング試写室 出席：広報課、室長補佐>
- 13 (木)  
 和歌山大学等による訪問ヒアリング <於：社会科学系図書館震災文庫>
- 13 (木) ~ 28 (金)  
 第3回保健科学図書室 図書委員会 (メール回議)
- 14 (金)  
 国文学研究資料館古典籍共同研究事業第1回拠点連携委員会  
 <於：主婦会館 出席：係長 1 名>
- 14 (金) ~ 12月20日  
 高校生による見学 <於：社会科学系図書館 引率：入試課 来館：5 名>  
 附属図書館資料展  
 「モダン神戸の光と影～『新聞記事文庫』データベースより～」  
 <於：社会科学系図書館展示ホール 主催：附属図書館>
- 17 (月)  
 文学部景観文化財学ゼミ学生による附属図書館資料展見学  
 <於：社会科学系図書館 来館：12 名>  
 読売新聞社による震災文庫の取材  
 <於：社会科学系図書館 対応：管理課長、電子図書館係長>
- 18 (火)  
 個人情報保護及び情報セキュリティに関する研修①  
 <於：六甲ホール 受講：2 名>  
 ガイダンス「雑誌論文の探し方」 <於：自然科学系図書館>
- 19 (水)  
 ガイダンス「参考文献の書き方・見方」 <於：自然科学系図書館>
- 19 (水) ~ 20 (木)  
 国立大学協会近畿地区支部「中堅職員研修」  
 <於：京都大学 受講：係員 1 名>
- 19 (水) ~ 21 (金)  
 第4回人文科学図書館 図書委員会 (メール回議)
- 20 (木)  
 オーダーガイダンス <於：海事科学研究科>  
 EndNote Basic 説明会 <於：自然科学系図書館>  
 経済生活設計セミナー <於：瀧川記念館 受講：補佐員 1 名>
- 21 (金)  
 京都大学大学文書館による訪問  
 <於：大学文書史料室 来館：1 名 対応：室長補佐>  
 文部科学省による見学 <於：社会科学系図書館 来館：3 名  
 随員：本部より 3 名、経済経営研究所より 6 名>  
 近畿地区財務部課長会議参加者による見学  
 <於：社会科学系図書館 案内：管理課長>  
 国大図協近畿地区協会講演会「オープンサイエンス推進状況下での  
 大学図書館の役割を考える」  
 <於：京都大学 参加：課長補佐 1 名、係長 1 名、係員 1 名>  
 近畿イニシアティブ能力開発専門委員会打合せ

- 23 (日) <於：同志社大学 出席：サービス課長補佐(海事)>  
 広報課主催キャンパスツアー「神大さんぽ：5つの文化財をそえて」  
 <於：社会科学系図書館 来館：45名>
- 25 (火) ガイダンス「雑誌論文の探し方」 <於：社会科学系図書館>
- 26 (水) 鳥取東高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：37名>  
 ガイダンス「参考文献の書き方・見方」 <於：社会科学系図書館>  
 資金管理に関する内部監査 <於：保健科学図書室>  
 第2回 SPARC Japan セミナー2016  
 <於：国立情報学研究所 参加：係員1名>
- 26 (水)～28 (金) 韓国海洋大学校等への視察  
 <於：韓国海洋大学校ほか 視察：館長、部長、係員1名>
- 26 (水)～11月1日 第2回医学分館 図書委員会(メール回議)
- 27 (木) EndNote basic 説明会 <於：社会科学系図書館>  
 文部科学省研修生等による見学 <於：社会科学系図書館 来館：2名>
- 27 (木)～11月11日 神戸大学史・特別展「近代にみる港町の神戸大学：神戸開港150年記念」  
 <於：百年記念館展示ホール>
- 28 (金) 岸和田高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：46名>  
 星陵高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：23名>  
 ULiCS ミーティング <於：自然科学系図書館>
- 28 (金)～11月3日 第2回自然科学系図書館 図書委員会(メール回議)
- 29 (土) 第11回神戸大学ホームカミングデー  
 <於：社会科学系図書館、大学文書史料室 資料展見学受入>

## <11月>

- 1 (火) ガイダンス「図書館HPで学術情報を手に入れよう！」  
 <於：総合・国際文化学図書館 説明：情報リテラシー係>  
 第2回国際文化学図書館 図書委員会
- 1 (火)～4 (金) 第2回人間科学図書館 図書委員会(メール回議)
- 2 (水) ガイダンス「雑誌論文の探し方」 <於：総合・国際文化学図書館>
- 4 (金) 産業医職場巡視 <於：保健科学図書室 対応：係長1名>
- 7 (月)～10 (木) 職場体験学習「KUトライやる」(神戸大学附属中等教育学校 2名)  
 <於：自然科学系図書館>
- 7 (月)～11 (金) トライやるウィーク(神戸市立上野中学校 2名)  
 <於：社会科学系科学図書館>
- 8 (火)～10 (木) 第18回図書館総合展ポスターセッション参加  
 <於：パシフィコ横浜 参加：部長、係長1名、係員2名  
 招聘：係員1名(機関リポジトリ推進委員会より)>
- 9 (水)～11月30日 第2回書評・キャッチコピーコンテスト 一般投票期間
- 10 (木) 綾部高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：20名>
- 11 (金) 明石西高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：20名>  
 救急講習会 <於：保健管理センターTHP ルーム 受講：補佐員1名>
- 14 (月) 内部統制部局長インタビュー <於：社会科学系図書館  
 インタビュアー4名 対応：館長、部長 同席：課長>  
 第2回附属図書館館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館>  
 兵庫高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：70名>

- 15 (火) 大阪大学職員研修「学習支援担当者のためのティーチング&ライティング支援入門講座」<於：大阪大学 受講：係長1名、係員2名>  
個人情報保護及び情報セキュリティに関する研修  
<於：六甲ホール 受講：4名>
- 16 (水)～18 (金) 第36回西洋社会科学古典資料講習会  
<於：一橋大学佐野書院 受講：係長1名>
- 17 (木) 第3回附属図書館運営委員会 <於：社会科学系図書館>  
開智高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：24名>
- 18 (金) 兵庫県大学図書館協議会研修会「図書館職員のための手作りPOP入門」  
<於：フロンティア館プレゼンテーションホール  
講師：片山茂氏 参加：37名(館内より9名)>  
→参加者による見学 <於：社会科学系図書館 来館：25名>
- 21 (月)～25 (金) 第4回海事科学分館 図書委員会(メール回議)
- 21 (月)～1月25日 海事博物館サテライト巡回展 <於：百年記念館>
- 22 (火) 個人情報保護及び情報セキュリティに関する研修  
<於：医学部 受講：係長1名、補佐員1名>
- 24 (水) (九州)みんなでまもる文化財/ミュージアム事業団による見学  
<於：社会科学系図書館震災文庫 来館：12名  
講師：奥村先生、佐々木先生 対応：電子図書館係>
- 25 (金) 国立大学図書館協会近畿地区加盟館図書系人事担当課長・事務長懇談会  
<於：奈良女子大学 出席：管理課長>  
国立大学図書館協会近畿地区協会事務連絡会  
<於：奈良女子大学 出席：部長、両課長>
- 27 (日) 広報課主催キャンパスツアー「神大さんぽ：5つの文化財をそえて」  
<於：社会科学系図書館 来館：25名>
- 28 (月) 全国遺跡報告総覧シンポジウム <於：奈良文化財研究所 出席：係長1名>
- 28 (月)～12月14日 神戸大学史・巡回展「近代にみる港町の神戸大学：神戸開港150年記念」  
<於：海事博物館>
- 29 (火)～30 (水) 学内会計事務研修 <於：理学研究科 受講：係員3名>
- 30 (水)～12月8日 第5回人文科学図書館 図書委員会(メール回議)

## <12月>

- 2 (金) 神戸大学スキルアップ研修「窓口対応力向上研修」  
<於：理学研究科 受講：係長2名、係員1名>  
公文書管理研修II(第2回)  
<於：大手町サンスカイルーム、国立公文書館本館 部分受講：係長1名>  
第4回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会  
<於：大阪芸術大学スカイキャンパスセミナールーム  
出席：サービス課長補佐(海事)>  
産業医職場巡視 <於：保健科学図書室 対応：係長1名>
- 2 (金)～11 (日) 第66回三商ゼミ発表会関連企画展示 <於：社会科学系図書館2階壁画前>
- 5 (月) メンタルヘルス・マネジメントII種検定試験対策セミナー  
<於：瀧川記念館 受講：サービス課長、補佐1名>
- 6 (火) 国立公文書館(行政管理研究センター)によるヒアリング  
<於：社会科学系図書館館長室 対応：管理課長、係長1名>

- 第111回日本医学図書館協会近畿地区例会  
 <於：日本麻酔科学会麻酔博物館 出席：サービス課長補佐（医学）>  
 8（木） 高大連携事業主催相生高校生徒による見学  
 <於：社会科学系図書館 随行者：教育推進課職員 来館：25名>  
 9（金） 開明高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：40名>  
 部局年次計画等に関するヒアリング  
 <於：本部大会議室 出席：館長、副館長1名、部課長、管理課長補佐>  
 第2回係長会議、海外出張報告会  
 <於：社会科学系図書館6階会議室 報告者：4名 参加：40名>  
 10（土） オーダーガイダンス（経済学研究科）<於：六甲台第三学舎>  
 12（月） メンタルヘルス・マネジメント II 種検定試験  
 <於：瀧川記念館 受講：サービス課長、補佐1名>  
 神戸大学ニュースネット委員会による取材  
 <於：社会科学系図書館館長室 対応：電子図書館係>  
 第1回神戸大学出版会準備委員会 <於：自然科学系図書館会議室>  
 13（火） 資金管理に関する内部監査 <於：総合・国際文化学図書館>  
 13（火）～14（水） 障害者サービス担当職員向け講座  
 <於：国立国会図書館関西館 受講：係員2名>  
 14（水） 第2回書評・キャッチコピーコンテスト授賞式  
 <於：総合・国際文化学図書館グループ学習室  
 贈呈：館長 担当：選書WG イベント班>  
 15（木） 六甲台3地区合同消防訓練 <於：人文A棟中庭 参加：補佐員2名>  
 JICA 関西との包括的対話 <於：百年記念館会議室 出席：部長>  
 15（木）～16（金） 国立国会図書館レファレンス・サービス研修  
 <於：国立国会図書館関西館 受講：係長1名>  
 16（金） 神戸大学スキルアップ研修「セルフケア研修」  
 <於：工学研究科多目的会議室 受講：補佐員1名>  
 19（月） 北須磨高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館 来館：24名>  
 資金管理に関する内部監査 <於：海事科学分館>  
 館長と学生チーム ULiCS との懇談会  
 <於：自然科学系図書館 学生参加：6名  
 出席：館長、部長、課長1名、補佐2名、係員1名>  
 21（水） 附属図書館マスコットキャラクターうりこのLINE スタンプ販売開始  
 <アイデア：ULiCS、企画・制作：アウトリーチWG>  
 22（木）～1月8日 広報課主催 映画「海賊とよばれた男」公開記念特別展  
 <於：社会科学系図書館>  
 28（金） 宝塚中学校教諭による訪問 <於：大学文書史料室 来館：1名>
- <1月>  
 6（金）～13（金） 第3回医学分館 図書委員会（メール回議）  
 11（水） 第2回神戸大学出版会準備委員会 <於：自然科学系図書館会議室>  
 12（木） オーダーガイダンス（経済学研究科）  
 資金管理に関する内部監査  
 <実施：人文科学図書館、大学文書史料室、自然科学系図書館>  
 12（木）～2月1日 阪神・淡路大震災関連展示 <於：社会科学系図書館展示ホール>

- 1 2 (木) ~ 2 月 1 0 日 地理学教室小企画展 <於：社会科学系図書館展示ホール>  
 1 3 (金) 地理学教室小企画展 <於：人文科学図書館 LC>  
 センター試験に伴い 1 3 時で臨時閉館 (保健科学図書館)  
 センター試験に伴い 1 7 時で臨時閉館 (研究所、医学、保健を除く)  
 1 4 (土) ~ 1 5 (日) センター試験に伴い臨時休館  
 1 6 (月) ~ 2 6 (木) 神戸大学史・巡回展「近代にみる港町の神戸大学：神戸開港 1 5 0 年記念」  
 <於：神戸大学東京六甲クラブ>  
 1 7 (火) 京都新聞社による取材  
 <於：社会科学系図書館震災文庫 来館：稲葉洋子氏、  
 対応：管理課長、電子図書館係>  
 1 9 (木) 経営学部ゼミ生による動画撮影 <於：社会科学系図書館>  
 2 2 (日) (第 6 回被災地図書館情報交換会関連行事)  
 フィールドワーク「阪神・淡路大震災のまち・歴史まちあるき」  
 <於：神戸港～新長田・神戸新聞本社ビル  
 参加：部長、管理課長、補佐員(震災文庫担当)>  
 2 3 (月) 第 6 回被災地図書館との震災資料の収集・公開に係る情報交換会  
 <於：社会科学系図書館会議室  
 出席：館長、部長、管理課長、係長 1 名、係員 1 名、補佐員 1 名  
 発表(報告)：係員 (電子図書館係) >  
 公開シンポジウム「海賊の選択：出光佐三の企業家精神」  
 <於：出光佐三記念六甲台講堂 主催：経済経営研究所 講師：室長補佐>  
 2 4 (火) 大学図書館近畿イニシアティブ第 5 回能力開発専門委員会  
 <於：大谷大学図書館 出席：サービス課長補佐 (海事) >  
 2 4 (火) ~ 2 6 (木) 京都大学大学文書館研修 <於：京都大学大学文書館 受講：室長補佐>  
 2 6 (木) ~ 2 7 (金) 障害者職業生活相談員資格認定講習  
 <於：兵庫県中央労働センター、総合リハビリテーションセンター  
 受講：業務指導員 1 名>  
 2 7 (金) 第 3 回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館>  
 3 0 (月) 第 4 回附属図書館運営委員会 <於：社会科学系図書館>  
 機関リポジトリ推進委員会第 2 回広報作業部会  
 <於：国立情報学研究所 出席：係員 1 名>  
 3 1 (火) ~ 3 月 2 9 日 地理学教室企画展 <於：百年記念館展示ホール>

## < 2 月 >

- 1 (水) 海外日本研究司書研修 (見学・実習・意見交換会)  
 <於：社会科学系図書館 主催：国立国会図書館関西館  
 来館：受講生 3 名、聴講生 1 名、随行 2 名>  
 2 (木) 第 3 回神戸大学出版会準備委員会 <於：自然科学系図書館会議室>  
 3 (金) 事業計画等に関する学長ヒアリング <於：自然科学総合研究棟>  
 平成 2 9 年度大学図書館近畿イニシアティブ中級研究講師事前打合せ  
 <於：大阪芸術大学 出席：サービス課長補佐 (海事) >  
 インターネットラジオ「神戸大学 Radio! ~ 等神大の私たち ~」放送  
 <テーマ：映画「海賊とよばれた男」公開記念！出光佐三と  
 神戸高等商業学校 取材：室長補佐>  
 6 (月) 文書管理者・文書管理担当者等研修

- 6 (月) ~ 24 (金) <於：理学研究科 講師：室長補佐、受講：補佐員1名>  
神戸大学史・巡回展「近代にみる港町の神戸大学：神戸開港150年記念」
- 9 (木) <於：社会科学系図書館展示ホール>  
資金管理に関する内部監査 <於：社会科学系図書館>
- 15 (水) 学術英語スキルアップセミナー「Take a New Step！」  
<於：瀧川記念館、主催：附属図書館、  
共催：大学教育推進機構国際コミュニケーションセンター、  
学術研究推進本部男女共同参画推進室、受講：73名>
- 16 (木) 総括シンポジウム <於：六甲ホール 出席：館長、部課長>  
監査法人による第2回期中監査 <於：社会科学系図書館>  
自衛消防訓練 <於：海事科学分館>
- 17 (金) 熊本大学附属図書館職員による訪問  
<於：社会科学系図書館震災文庫  
来館：1名 対応：管理課長、電子図書館係>  
第13回レファレンス協同データベース事業フォーラム  
<於：国立国会図書館関西館  
事例発表：管理課長補佐 出席：係員2名>  
LCプロジェクトに関する打合せ  
<於：大阪大学総合図書館 出席：サービス課長補佐（自然系）>
- 17 (金) ~ 22 (水) 第4回医学分館 図書委員会（メール回議）
- 20 (月) 国立大学図書館協会シンポジウム「これからの大学図書館環境を考える」  
<於：九州大学附属図書館 出席：係長2名>
- 21 (火) 自衛消防訓練 <於：総合・国際文化学図書館>
- 22 (水) 六甲台第一地区6部局合同・自衛消防訓練 <於：六甲台本館>  
Alma ワークショップ  
<於：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター  
主催：ExLibris社 出席：サービス課行補佐（自然系）>
- 23 (木) 自衛消防訓練 <於：大学文書史料室、医学分館>  
大学図書館近畿イニシアティブ第2回運営委員会  
<於：近畿大学中央図書館 出席：部長、サービス課長、  
サービス課長補佐（海事）>
- 24 (金) 自衛消防訓練  
<於：人間科学図書館、自然科学系図書館、保健科学図書室>  
前期入学試験に伴い13時で閉館（保健科学図書室）  
前期入学試験に伴い17時で閉館（医学分館を除く）
- 25 (土) 前期入学試験に伴い休館（医学分館を除く）
- 27 (月) 第4回神戸大学出版会準備委員会 <於：自然科学系図書館会議室>  
自衛消防訓練 <於：社会科学系図書館>
- 28 (火) 第2回研究開発室教育支援部会懇談会 <於：総合・国際文化学図書館>
- 28 (火) ~ 3月1日 第4回オープンサイエンスデータ推進ワークショップ  
<於：京都大学 受講：係員1名>
- <3月>
- 1 (水) ~ 7 (火) 第3回自然科学系図書館 図書委員会（メール回議）
- 6 (月) ~ 14 (火) 第6回人文科学図書館 図書委員会（メール回議）

- 6 (月) ~ 4月6日 海事博物館サテライト巡回展 <於:社会科学系図書館展示ホール>
- 7 (火) 第3回大学文書史料室員研修 <於:大学文書史料室>  
神戸大学ニュースネット委員会による取材  
<於:大学文書史料室 取材:室長補佐>
- 8 (水) JPCOAR 第1回総会 <於:学術総合センター 運営:係員1名>  
機関リポジトリ推進委員会研修作業部会  
<於:国立情報学研究所 出席:係員1名>
- 9 (木) 帝塚山高校生徒による見学 <於:社会科学系図書館 来館:37名>  
千葉大学 ALPS プログラム「学生:学修の理解」コース対面実習  
<於:千葉大学 受講:係員1名>  
第2回経済経営研究所図書館 図書委員会  
第4回保健科学図書館 図書委員会(メール回議)
- 9 (木) ~ 15 (水) ハーバード大学ライシャワー研究所員による見学、研究会・意見交換会  
10 (金) <於:社会科学系図書館震災文庫 来館:1名>  
随行動:地域連携推進室2名 対応:館長、管理課長、管理課長補佐、係員>  
千葉大学 ALPS プログラム「教育方法・教育評価」コース対面実習  
<於:千葉大学 受講:係員1名>  
国文学研究資料館古典籍共同研究事業第2回拠点連携委員会  
<於:ホテルグランドヒル市ヶ谷 出席:係員1名>  
後期入学試験に伴い13時で閉館(保健科学図書館)  
後期入学試験に伴い17時で閉館(社会科学系図書館)
- 11 (土) ~ 12 (日) 後期入学試験に伴い休館(社会科学系図書館)
- 13 (月) ~ 16 (木) 第5回医学分館 図書委員会(メール回議)
- 14 (火) 自衛消防訓練 <於:人文科学図書館>  
第3回大学文書史料室運営会議
- 14 (月) ~ 21 (火) 第3回社会科学系図書館 図書委員会(メール回議)
- 15 (水) 神戸市玉津南公民館内歴史サークルによる見学  
<於:大学文書史料室、社会科学系図書館 来館:20名 案内:室長補佐>
- 16 (木) ~ 21 (火) 第3回人間科学図書館 図書委員会(メール回議)
- 17 (金) ~ 23 (木) 第5回海事科学分館 図書委員会(メール回議)
- 21 (火) 第3回国際文化学図書館 図書委員会
- 23 (木) 神戸大学博士学位記授与式 <於:六甲台講堂>
- 24 (金) 兵庫神戸大分県人会による見学  
<於:社会科学系図書館 来館:4名 案内:室長補佐>
- 25 (金) 神戸大学学位授与式 <於:ワールド記念ホール>
- 27 (月) 第5回神戸大学出版会準備委員会 <於:自然科学系図書館会議室>  
第4回附属図書館館長・副館長・分館長懇談会 <於:社会科学系図書館>  
名誉教授称号授与式、永年勤続者表彰式 <於:六甲ホール>
- 29 (水) 第5回附属図書館運営委員会 <於:社会科学系図書館>
- 31 (木) 附属図書館離任式  
中国西南地区防災訪日団(四川大学等)による見学  
<於:社会科学系図書館震災文庫 来館:40名 引率:国際交流課>